

安全・健康・コミュニティに関する調査
報告書

令和8年1月

厚木市

I 調査の概要

1. 調査目的	3
2. 調査対象と調査方法	3
3. 配布・回収結果	3
4. 調査項目	3
5. 集計方法について	4
6. 回答者（世帯）の基本属性	4
7. 回答者（個人）の基本属性	5

II 調査結果の分析

1. 市民生活の安心・安全に関する意識

(1) 市のセーフコミュニティの取組の認知状況	9
(2) 市民と行政等が協力して安心安全に取り組む活動に関する意識	10
(3) 居住地域の安心・安全に関する意識	11
(4) 近所付き合いの状況	14

2. 自宅外での事故やけがの状況

(1) 過去1年間の自宅外でのけがの状況	16
(2) 過去1年間に自宅外でけがをした原因	17
(3) 過去1年間に自宅外でけがをした場所	19

3. 自宅での事故やけがの状況

(1) 過去1年間の自宅でのけがの状況	21
(2) 過去1年間に自宅で一番大きなけがをした原因と場所	23

4. こども（15歳未満）の事故やけがの状況

(1) 自宅外でのけがの状況	26
(2) 自宅でのけがの状況	28

5. 体感不安（犯罪被害等含む）に関する実態

(1) 市の治安の変化に対する意識	30
(2) 治安の変化を感じる地域	31
(3) 犯罪等被害や不安を感じる事項と程度	33
(4) 犯罪等被害にあう不安を感じる状況	39
(5) 犯罪被害に巻き込まれないためにとっている対策の状況	41
(6) 犯罪被害に巻き込まれないためにとっている住居の対策の状況	43
(7) 犯罪防止のために重要と考える対策	45
(8) 青色回転灯搭載車両による巡回を見た経験	47
(9) 青色回転灯搭載車両による巡回の安心感	49

目 次

6. ストレスについて

- (1) ストレスの状況 50
- (2) 生きているのが辛くなることの有無 51
- (3) 自分に対しての好意的な感情 52

7. 高齢者について

- (1) 地域とのつながり 53
- (2) 地域で高齢者がいきいきと暮らすために大切な取組 54
- (3) 市が実施している認知症に関する取組の認知状況 55

8. 自転車の利用に関する意識と事故やけがの状況

- (1) 自転車の利用状況 56
- (2) 自転車の利用目的 57
- (3) 自転車利用時のルール認知と実行状況 59
- (4) 自転車利用時に感じる不安や危険 65
- (5) 自転車利用時のけがや事故の経験 67
- (6) 自転車利用時のけがや事故の状況と原因 68
- (7) 自転車利用時にけがをした体の箇所 71
- (8) 自転車利用の不安や危険を改善するために必要なこと 72

9. 災害についての意識

- (1) 家庭で不安を感じる自然災害 73
- (2) 家庭で重要だと思ふ災害時の対策や備え 75
- (3) 家庭で実践している災害対策 77
- (4) 家庭の食料備蓄量 80
- (5) 災害発生時の情報伝達手段の認知状況 81
- (6) 市民・行政・関係団体が一体となって活動を推し進めるべき分野 83

Ⅲ 調査票と集計結果

- 世帯票 87
- 個人票 89

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査目的

市民の安全・健康・コミュニティに対する考えやその現状を調査するとともに、集計、分析を行い、今後のセーフコミュニティ活動等の資料とすることを目的とする。

2. 調査対象と調査方法

令和7年7月18日現在、厚木市に住民登録している世帯主5,500人を無作為抽出（地域・年齢バランスを考慮）し、世帯主及び同居家族（世帯票1通＋個人票3通同封）を対象とする。（配布・回収ともに郵送）

3. 配布・回収結果

配布対象 （調査実施期間）	配布数	配布数	有効回収数（有効回収率）
厚木市内の世帯 （令和7年8月1日～22日）	世帯票	5,500世帯	1,310世帯（23.8%）
	個人票	16,500人	2,356票

4. 調査項目

【世帯票】（世帯の代表者が記入）

- （1）世帯属性（居住地区、居住年数、家族構成、住居の種類、犯罪被害対策の実施状況）
- （2）災害（自然災害不安、重要な災害時の対策や備え・災害対策の実践状況、食料備蓄の状況）
- （3）こどもの外傷実態（こどもの年齢、自宅外・自宅における外傷経験）

【個人票】（15歳以上の世帯構成員全員が回答）

- （1）基本属性（性別、年齢）
- （2）「セーフコミュニティ」について（認知、推進の必要性、居住地域の安心・安全度、近所付き合いの状況）
- （3）自宅外における過去1年以内の外傷実態（外傷経験、医療機関への受診状況、外傷の原因、外傷の場所）
- （4）自宅における過去1年以内の外傷実態（外傷経験、医療機関への受診状況、一番大きな外傷の原因、一番大きな外傷の場所）
- （5）体感不安（1年前と比べた体感治安、体感不安場所、事例別の犯罪被害の状況や犯罪被害への不安、不安を感じる地域の状況、犯罪被害対策の実施状況、犯罪抑止対策の重要度、青色回転灯搭載車両を見た経験・安心感）
- （6）ストレス（ふだんの状況、生きているのが辛くなることの有無、自分に対しての好意的な感情）
- （7）高齢者（地域とのつながり、地域で高齢者がいきいきと暮らすために大切な取組、認知症に関する取組の認知状況）
- （8）自転車利用（自転車の利用状況・目的、自転車利用時のルール認知と実行状況、自転車利用時の不安や危険、過去5年以内のけがや事故の経験・状況、原因、けがの箇所、不安や危険を改善するために必要なこと）

5. 集計方法について

- (1) 集計結果を表すグラフには、回答者数（n）も併せて表記する。
- (2) 無回答や不明な回答は除く。このため、項目により回答者数（n）は異なる。
- (3) 複数回答の場合の回答者数（n）は、設問に回答した人数を表記する。
- (4) 集計表およびグラフ中の構成比は、四捨五入の関係で合計が100%とならないことがある。

6. 回答者（世帯）の基本属性

(1) 居住地区

	n	構成比 (%)
厚木北	141	11.0
厚木南	142	11.1
依知北	81	6.3
依知南	68	5.3
睦合北	52	4.1
睦合南	83	6.5
睦合西	62	4.9
荻野	125	9.8
小鮎	74	5.8
南毛利	190	14.9
南毛利南	63	4.9
玉川	31	2.4
森の里	58	4.5
相川	70	5.5
緑ヶ丘	38	3.0
合計	1,278	100.0

(2) 居住年数

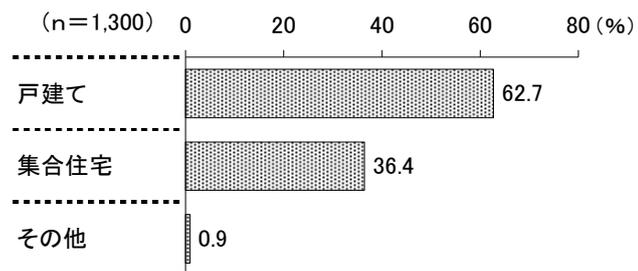
	n	構成比 (%)
1年未満	48	3.7
1年以上5年未満	143	11.0
5年以上10年未満	135	10.4
10年以上15年未満	107	8.2
15年以上20年未満	98	7.5
20年以上	771	59.2
合計	1,302	100.0

(3) 家族構成

	n	構成比 (%)
夫婦	459	35.3
親子（二世代）	428	32.9
親子孫（三世代）	52	4.0
単身	339	26.1
その他	23	1.8
合計	1,301	100.0

(4) 住宅の種類

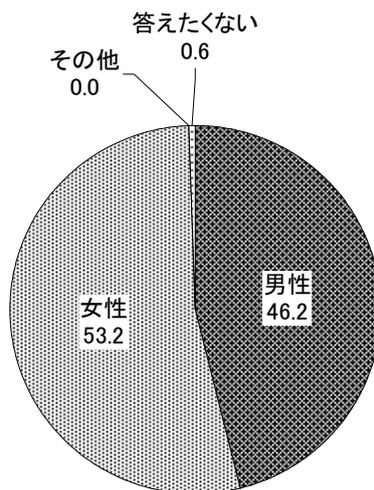
	n	構成比 (%)
戸建て	815	62.7
集合住宅	473	36.4
その他	12	0.9
合計	1,300	100.0



7. 回答者（個人）の基本属性

(1) 性別

	n	構成比 (%)
男性	1,059	46.2
女性	1,221	53.2
その他	-	-
答えたくない	14	0.6
合計	2,294	100.0



(n=2,294)

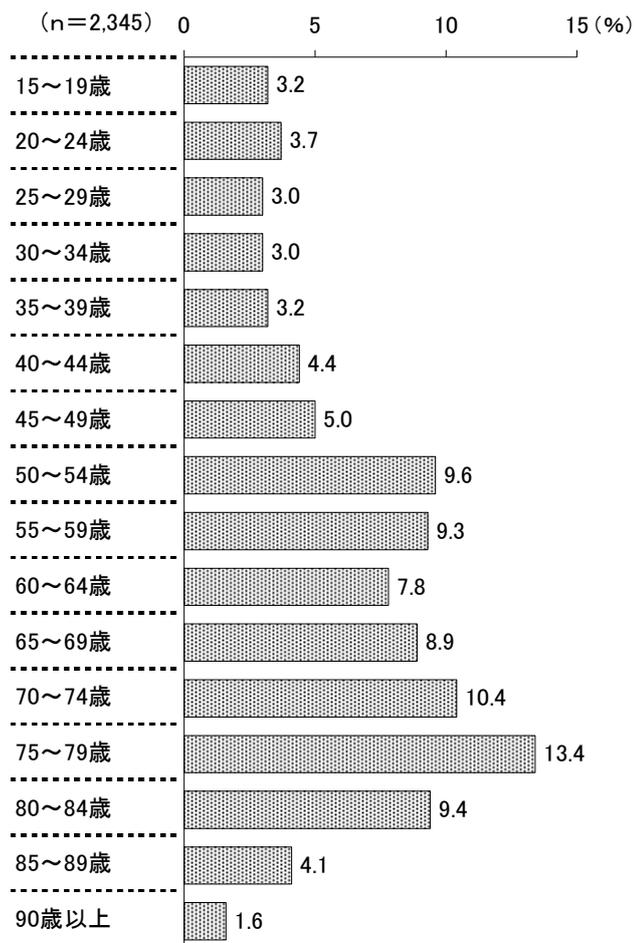
(%)

(2) 性別（居住地区別）

	男性		女性		その他		答えたくない	
	n	構成比 (%)	n	構成比 (%)	n	構成比 (%)	n	構成比 (%)
厚木北	105	45.9	120	52.4	-	-	4	1.7
厚木南	98	42.6	132	57.4	-	-	-	-
依知北	77	54.2	65	45.8	-	-	-	-
依知南	60	47.6	66	52.4	-	-	-	-
睦合北	43	44.8	52	54.2	-	-	1	1.0
睦合南	63	45.3	76	54.7	-	-	-	-
睦合西	56	49.1	58	50.9	-	-	-	-
荻野	104	46.6	117	52.5	-	-	2	0.9
小鮎	50	37.6	83	62.4	-	-	-	-
南毛利	155	46.8	173	52.3	-	-	3	0.9
南毛利南	60	48.0	64	51.2	-	-	1	0.8
玉川	28	49.1	29	50.9	-	-	-	-
森の里	47	48.5	50	51.5	-	-	-	-
相川	51	45.1	62	54.9	-	-	-	-
緑ヶ丘	22	43.1	28	54.9	-	-	1	2.0
合計	1,059	46.2	1,221	53.2	-	-	14	0.6

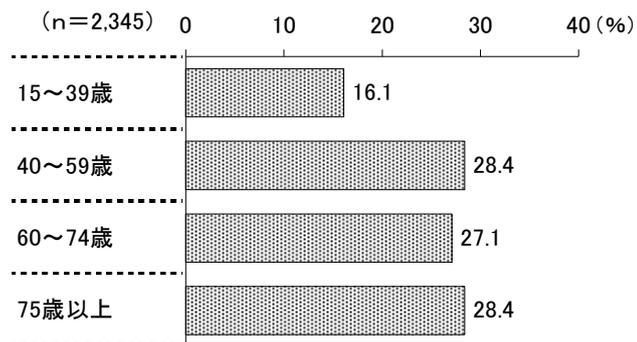
(3) 年齢

	n	構成比 (%)
15～19歳	76	3.2
20～24歳	86	3.7
25～29歳	71	3.0
30～34歳	70	3.0
35～39歳	75	3.2
40～44歳	104	4.4
45～49歳	118	5.0
50～54歳	225	9.6
55～59歳	218	9.3
60～64歳	182	7.8
65～69歳	208	8.9
70～74歳	245	10.4
75～79歳	314	13.4
80～84歳	221	9.4
85～89歳	95	4.1
90歳以上	37	1.6
合計	2,345	100.0



<年齢階層>

	n	構成比 (%)
15～39歳	378	16.1
40～59歳	665	28.4
60～74歳	635	27.1
75歳以上	667	28.4
合計	2,345	100.0



II 調査結果の分析

Ⅱ 調査結果の分析

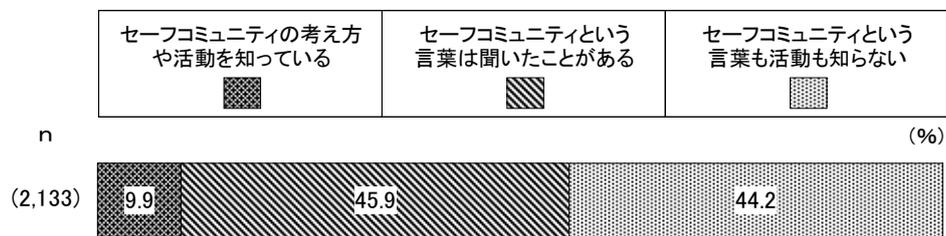
1. 市民生活の安心・安全に関する意識

(1) 市のセーフコミュニティの取組の認知状況

◇「セーフコミュニティ」の認知度は55.8%

市のセーフコミュニティの取組の認知状況は、「セーフコミュニティの考え方や活動を知っている」が9.9%、「セーフコミュニティという言葉は聞いたことがある」は45.9%となっており、認知度は55.8%となっている。

図表1-1 市のセーフコミュニティの取組の認知状況

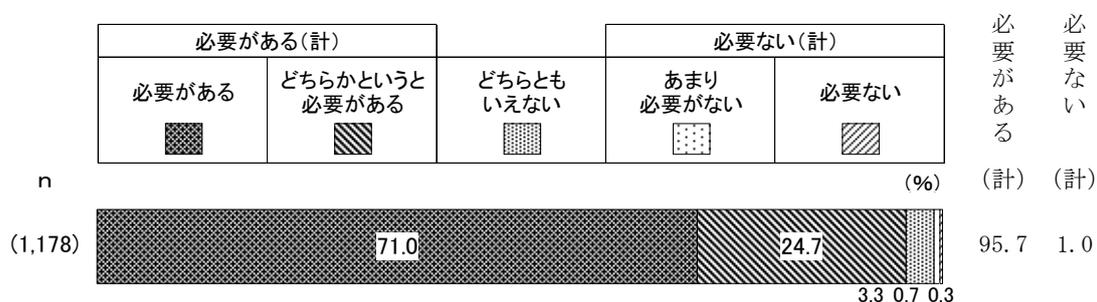


(2) 市民と行政等が協力して安心安全に取り組む活動に関する意識

◇市民と行政等が協力して安心安全に取り組む活動に関する意識について、『必要がある(計)』は95.7%

市民と行政等が協力して安心安全に取り組む活動に関する意識について、「必要がある」(71.0%)と「どちらかという必要がある」(24.7%)を合わせた『必要がある(計)』は95.7%となっている。一方、「あまり必要がない」(0.7%)と「必要ない」(0.3%)を合わせた『必要ない(計)』は1.0%となっている。また、「どちらともいえない」は3.3%となっている。

図表1-2 市民と行政等が協力して安心安全に取り組む活動に関する意識



(3) 居住地域の安心・安全に関する意識

◇居住地域が安心・安全かどうかについて、安心・安全だと思う人の割合は65.6%

居住地域が安心・安全かどうかについて、「そう思う」(15.1%)と「どちらかといえばそう思う」(50.5%)を合わせた『そう思う(計)』は65.6%となっている。一方、「どちらかといえば思わない」(7.2%)と「まったくそう思わない」(2.7%)を合わせた『そう思わない(計)』は9.9%となっている。また、「どちらともいえない」は24.6%となっている。

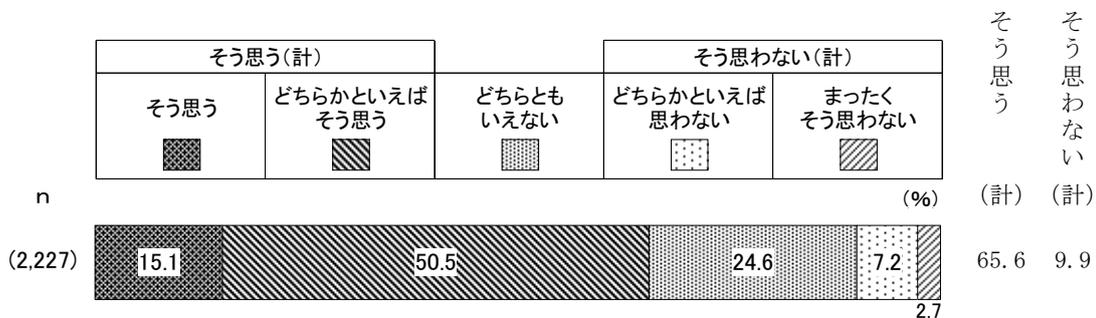
◇居住地区別では、居住地域が安心・安全だと思う人の割合は、森の里地区で80.8%と最も高い

居住地区別でみると、居住地域が安心・安全だと思う人の割合は、森の里地区で80.8%と最も高く、次いで玉川地区で75.4%、南毛利南地区で75.2%となっている。

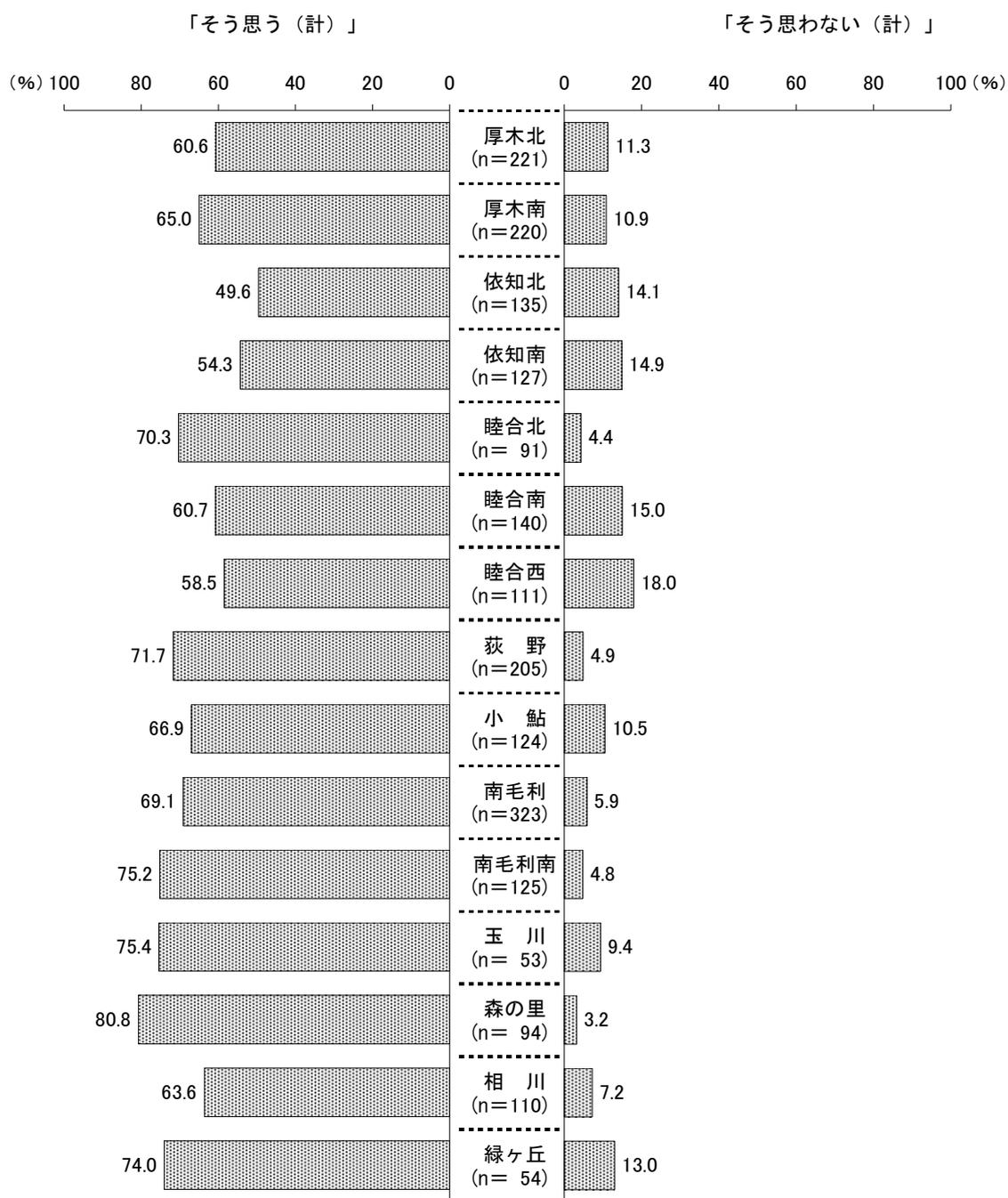
◇近所付き合いの状況別では、居住地域が安心・安全だと思う人の割合は、“互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度”で77.5%と最も高い

近所付き合いの状況別でみると、居住地域が安心・安全だと思う人の割合は、近所付き合いが密接な人ほど割合が高く、“互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度”で77.5%と最も高くなっている。

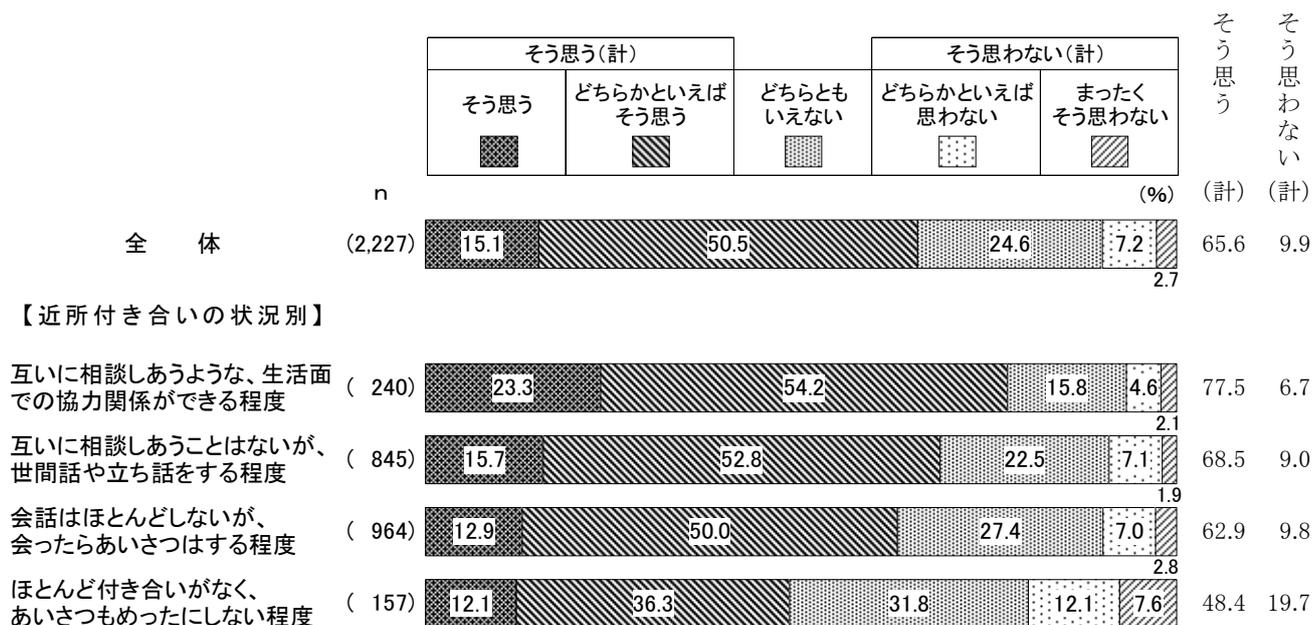
図表1-3 居住地域の安心・安全に関する意識



図表 1-4 居住地域の安心・安全に関する意識（居住地区別）



図表 1-5 居住地域の安心・安全に関する意識（近所付き合いの状況別）



(4) 近所付き合いの状況

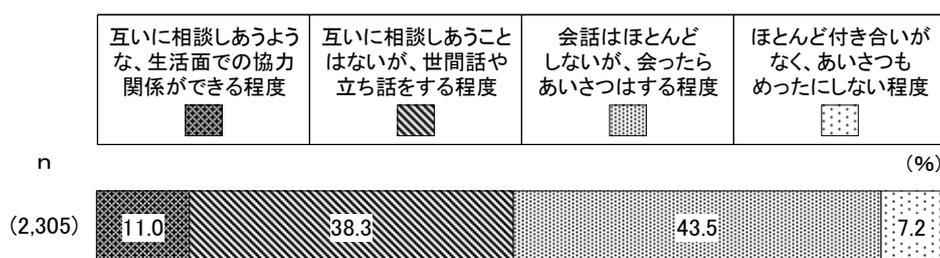
◇現在の近所付き合いの状況は、ある程度の近所付き合いのある人の割合が49.3%

近所付き合いは、「会話はほとんどしないが、会ったらあいさつはする程度」が43.5%で最も高くなっている。また、「互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度」(11.0%)と「互いに相談しあうことはないが、世間話や立ち話をする程度」(38.3%)を合わせた、ある程度の近所付き合いのある人の割合は49.3%となっている。

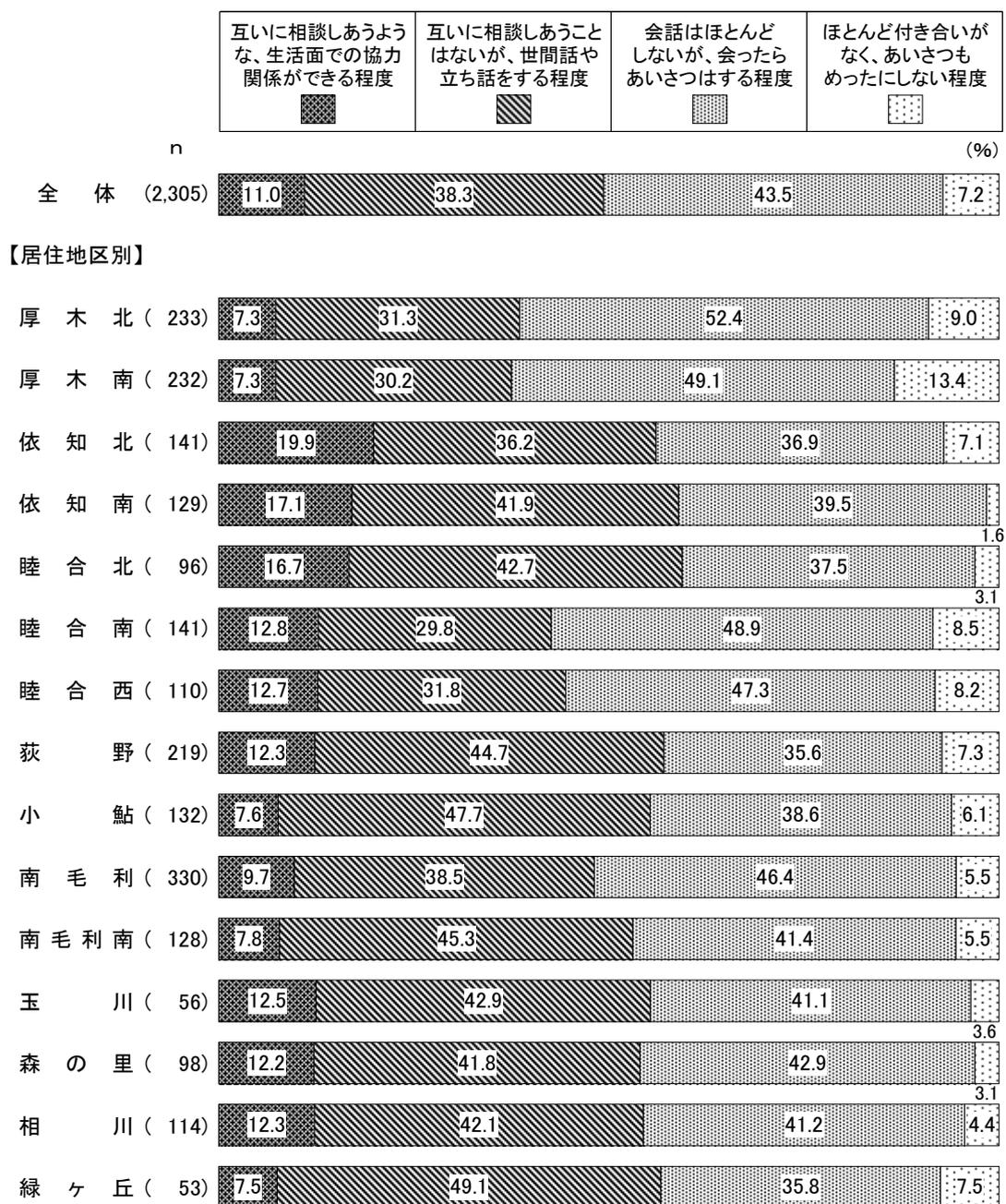
◇居住地区別でみると、ある程度の近所付き合いのある人の割合は、睦合北地区で59.4%と最も高い

居住地区別でみると、ある程度の近所付き合いのある人の割合は、睦合北地区で59.4%と最も高く、次いで依知南地区で59.0%となっている。

図表1-6 近所付き合いの状況



図表 1-7 近所付き合いの状況（居住地区別）



2. 自宅外での事故やけがの状況

(1) 過去1年間の自宅外でのけがの状況

◇過去1年間に自宅外でけがをした人は12.9%、このうち半数以上が医療機関を利用した

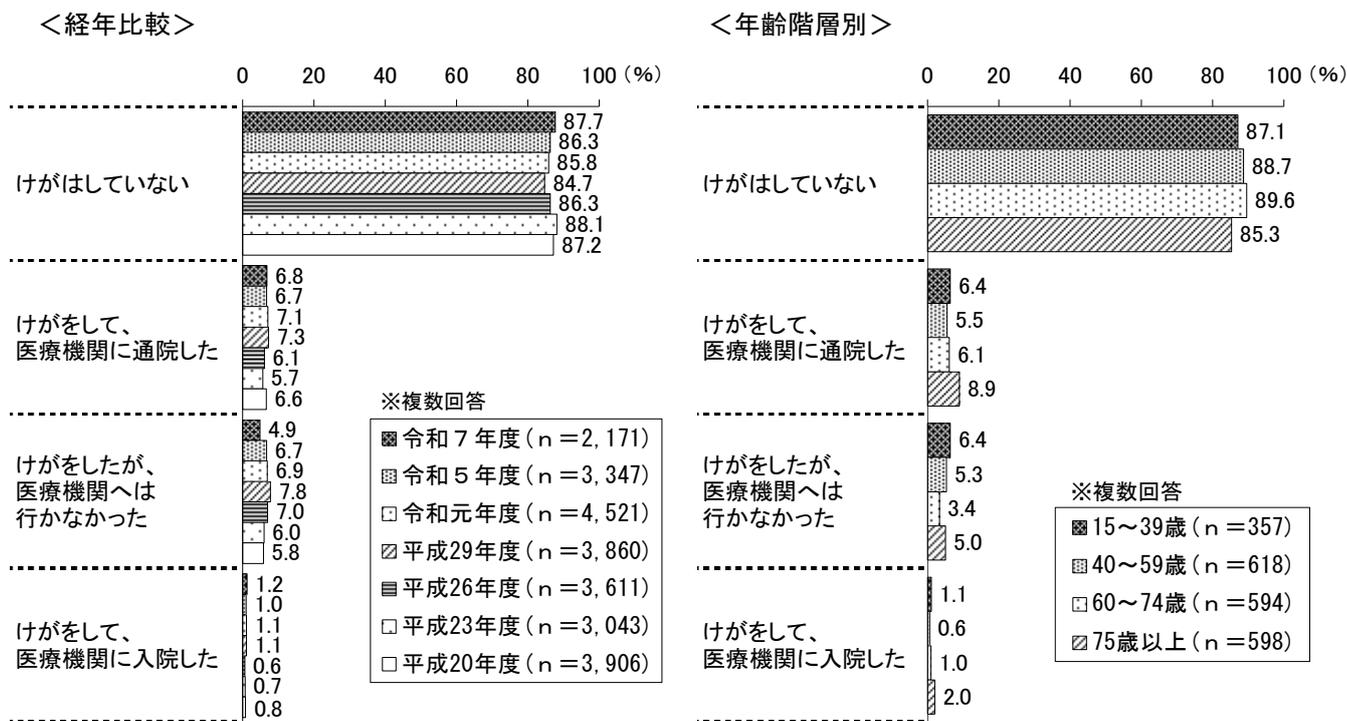
過去1年間に自宅外でけがをした人は12.9%となっており、このうち医療機関を利用した人は半数を超える8.0%となっている。

過年度調査と比較すると、過去1年間に自宅外でけがをした人は、平成29年度調査以降減少傾向にある。

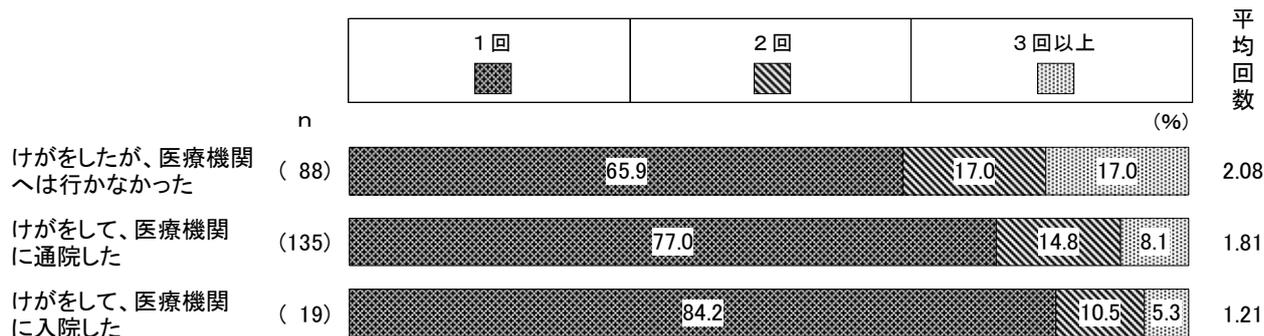
◇過去1年間に自宅外でけがをした人は、75歳以上の後期高齢者で15.9%と最も高い

年齢階層別でみると、過去1年間に自宅外でけがをした人は、75歳以上の後期高齢者で15.9%と最も高く、次いで15～39歳で13.9%となっている。

図表2-1 過去1年間の自宅外でのけがの状況（経年比較、年齢階層別）



図表2-2 けがをした回数（過去1年間の自宅外でのけがの状況別）



(2) 過去1年間に自宅外でけがをした原因

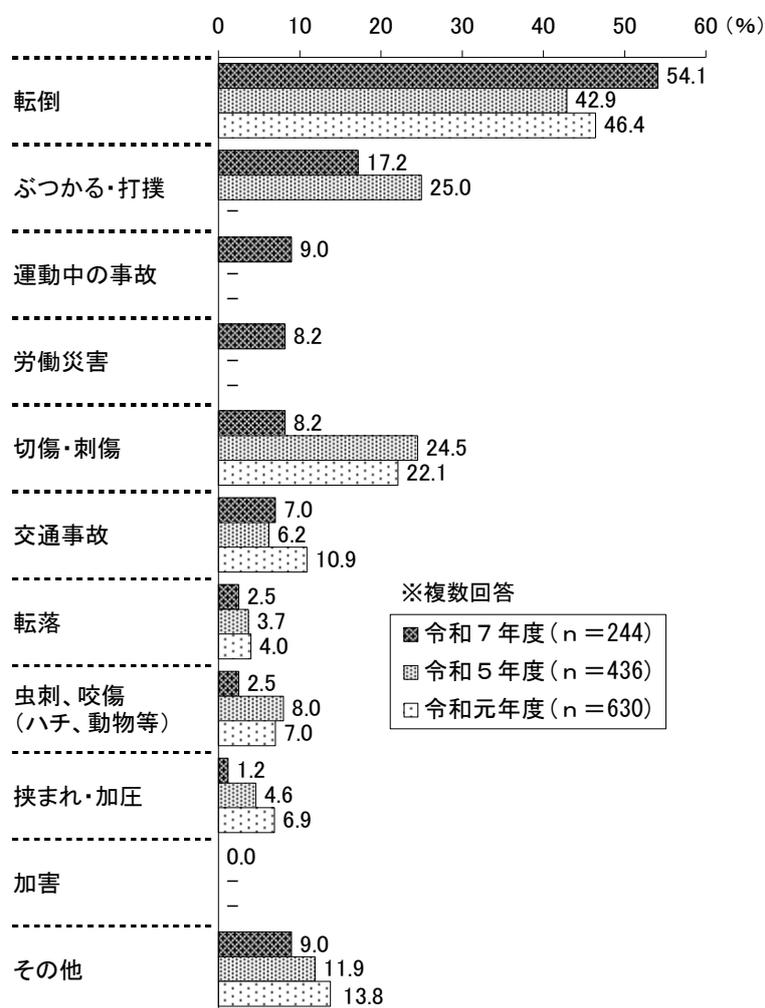
◇過去1年間に自宅外でけがをした原因は、「転倒」が54.1%で最も高い

過去1年間に自宅外でけがをした原因は、「転倒」が54.1%で最も高く、次いで「ぶつかる・打撲」が17.2%、「運動中の事故」が9.0%となっている。

過年度調査と比較すると、「転倒」は令和5年度調査より11.2ポイント増加し、引き続き1位となっている。一方、「切傷・刺傷」は令和5年度調査より16.3ポイント減少している。

上位3位を年齢階層別で見ると、「転倒」は年齢階層が上がるほど割合が高くなっている。一方、「運動中の事故」は年齢階層が下がるほど割合が高くなっている。

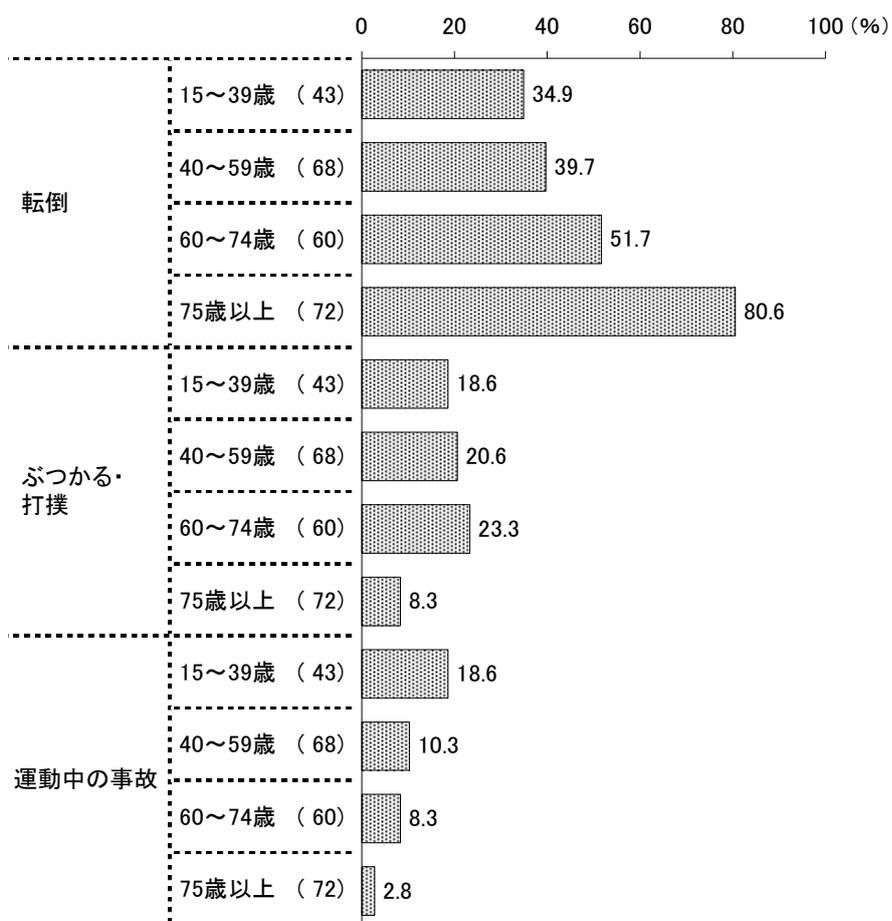
図表2-3 過去1年間に自宅外でけがをした原因（経年比較）



※「ぶつかる・打撲」は、令和5年度から追加された選択肢

※「運動中の事故」、「労働災害」、「加害」は、令和7年度から追加された選択肢

図表 2-4 過去 1 年間に自宅外でけがをした原因（年齢階層別）－上位 3 位



(3) 過去1年間に自宅外でけがをした場所

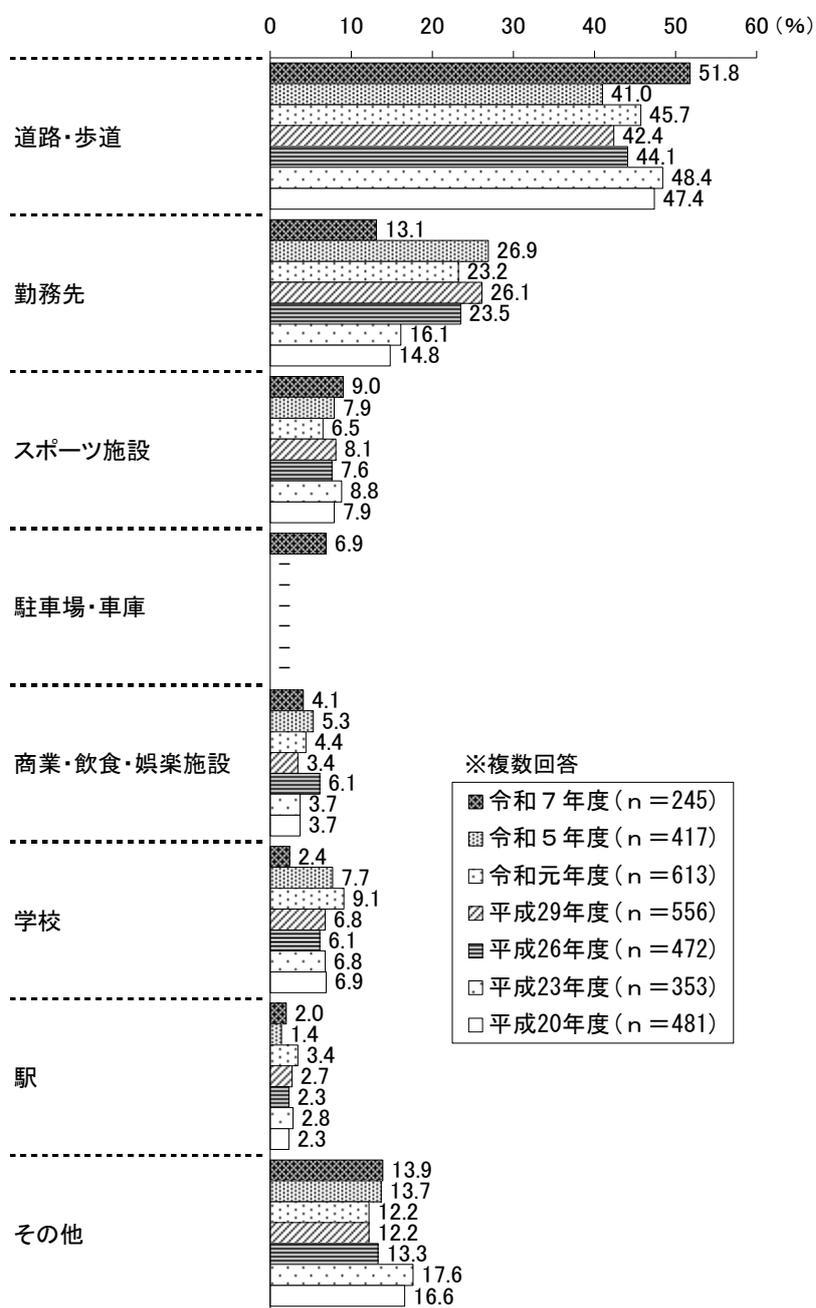
◇過去1年間に自宅外でけがをした場所は、「道路・歩道」が51.8%で最も高い

過去1年間に自宅外でけがをした場所は、「道路・歩道」が51.8%で最も高く、次いで「勤務先」が13.1%、「スポーツ施設」が9.0%となっている。

過年度調査と比較すると、平成20年度調査以降、上位2位は同様の項目となっている。また、「道路・歩道」は令和5年度調査より10.8ポイント増加し、「勤務先」は令和5年度調査より13.8ポイント減少している。

「転倒」の上位5位を年齢階層別で見ると、「道路・歩道」は全ての年代で最も多くなっている。

図表2-5 過去1年間に自宅外でけがをした場所（経年比較）



※「駐車場・車庫」は、令和7年度から追加された選択肢

図表 2-6 過去 1 年間に自宅外でけがをした場所（年齢階層別）－上位 5 位【転倒のみ】

(件)

	n	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	130	道路・歩道 89	駐車場・車庫 14	商業・飲食・ 娯楽施設 9	勤務先 6	駅 3
15～39 歳	14	道路・歩道 12	スポーツ施設 2	商業・飲食・娯楽施設/勤務先/学校 1		
40～59 歳	27	道路・歩道 17	商業・飲食・ 娯楽施設 3	勤務先/駐車場・車庫 2		駅 1
60～74 歳	31	道路・歩道 20	勤務先 3	駅/駐車場・車庫 2		商業・飲食・ 娯楽施設 1
75 歳以上	57	道路・歩道 40	駐車場・車庫 10	商業・飲食・ 娯楽施設 4	/	

3. 自宅での事故やけがの状況

(1) 過去1年間の自宅でのけがの状況

◇過去1年間に自宅でけがをした人は9.6%、このうち半数が医療機関を利用した

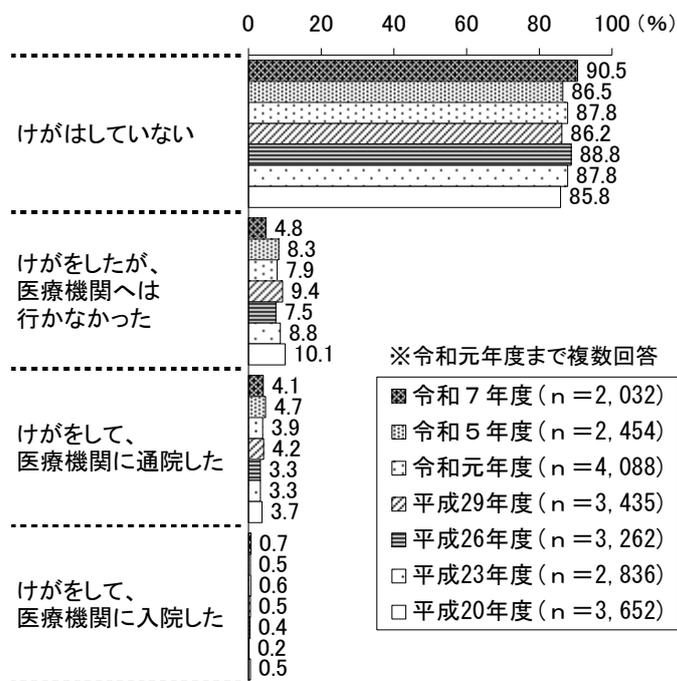
過去1年間に自宅でけがをした人は9.6%となっており、このうち医療機関を利用した人は半数の4.8%となっている。

過年度調査と比較すると、過去1年間に自宅でけがをした人は、令和5年度調査より3.9ポイント減少している。

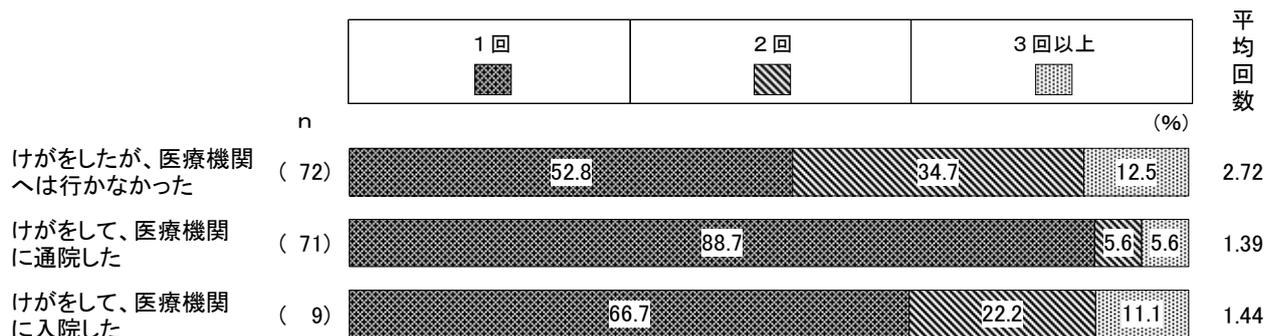
◇過去1年間に自宅でけがをした人は、75歳以上の後期高齢者で14.8%と最も高い

年齢階層別でみると、過去1年間に自宅でけがをした人は、75歳以上の後期高齢者で14.8%と最も高く、次いで40～59歳で9.3%となっている。

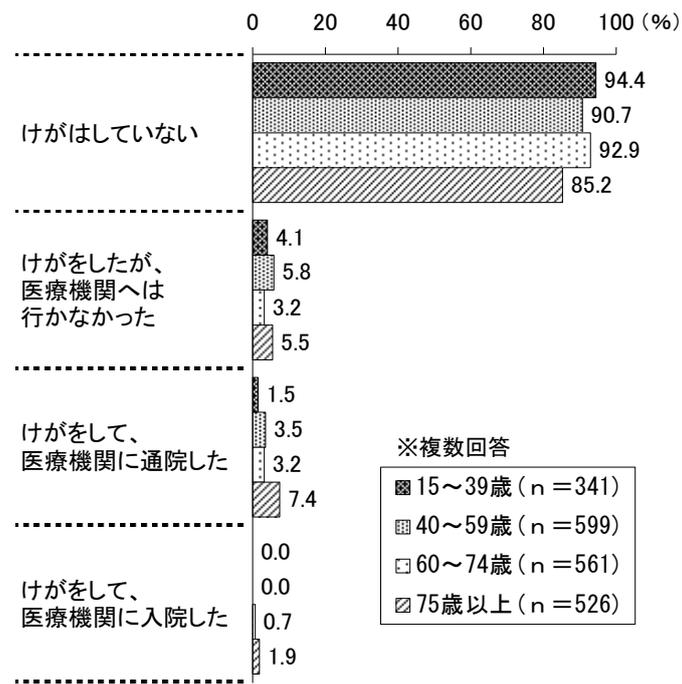
図表3-1 過去1年間の自宅でのけがの状況（経年比較）



図表3-2 けがをした回数（過去1年間の自宅でのけがの状況別）



図表 3-3 過去1年間の自宅でのけがの状況（年齢階層別）



(2) 過去1年間に自宅で一番大きなけがをした原因と場所

◇過去1年間に自宅で一番大きなけがをした原因は、「転倒」が38.3%で最も高い

過去1年間に自宅で一番大きなけがをした原因は、「転倒」が38.3%で最も高く、次いで「ぶつかる・打撲」が21.7%、「切傷・刺傷」が17.2%となっている。

過年度調査と比較すると、「転倒」は令和5年度調査より13.1ポイント増加し、「切傷・刺傷」は令和5年度調査より12.4ポイント減少している。

上位3位を年齢階層別でみると、「転倒」は75歳以上で63.8%と最も高くなっている。

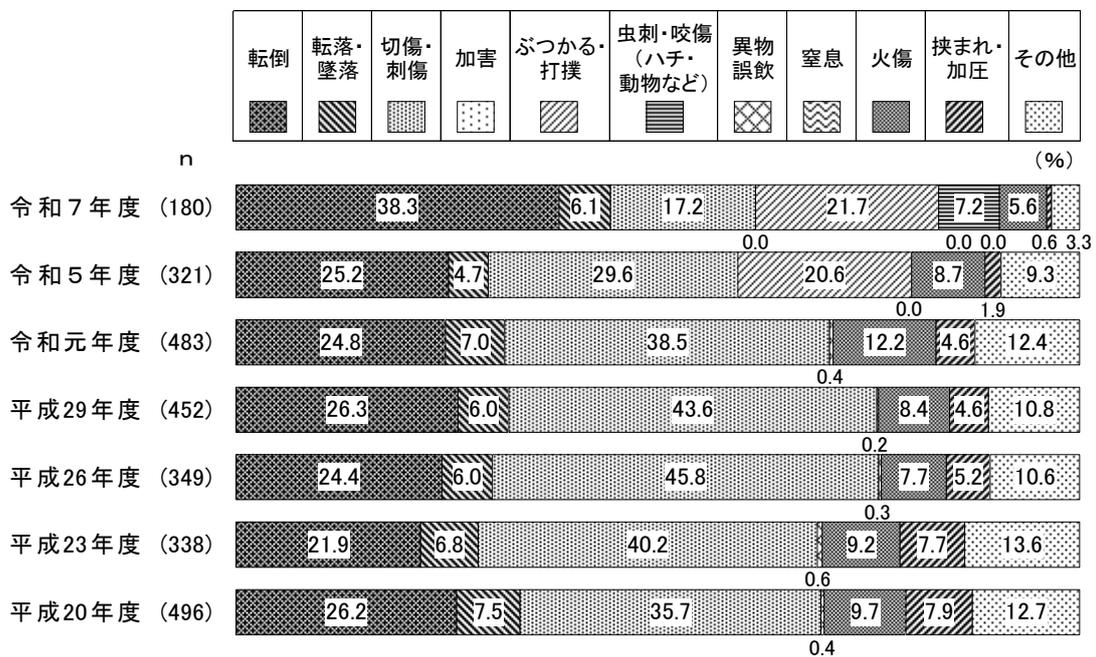
◇過去1年間に自宅で一番大きなけがをした場所は、「居室」と「台所」がともに21.9%で高い

過去1年間に自宅で一番大きなけがをした場所は、「居室」と「台所」がともに21.9%で高く、次いで「庭・敷地内」が20.0%となっている。

過年度調査と比較すると、「階段」は令和5年度調査より5.6ポイント増加し、「台所」は令和5年度調査より9.1ポイント減少している。

過去1年間に自宅で一番大きなけがをした場所とけがの原因の関係は、「転倒」では「居室」が最も多く、「切傷・刺傷」では「台所」が最も多くなっている。

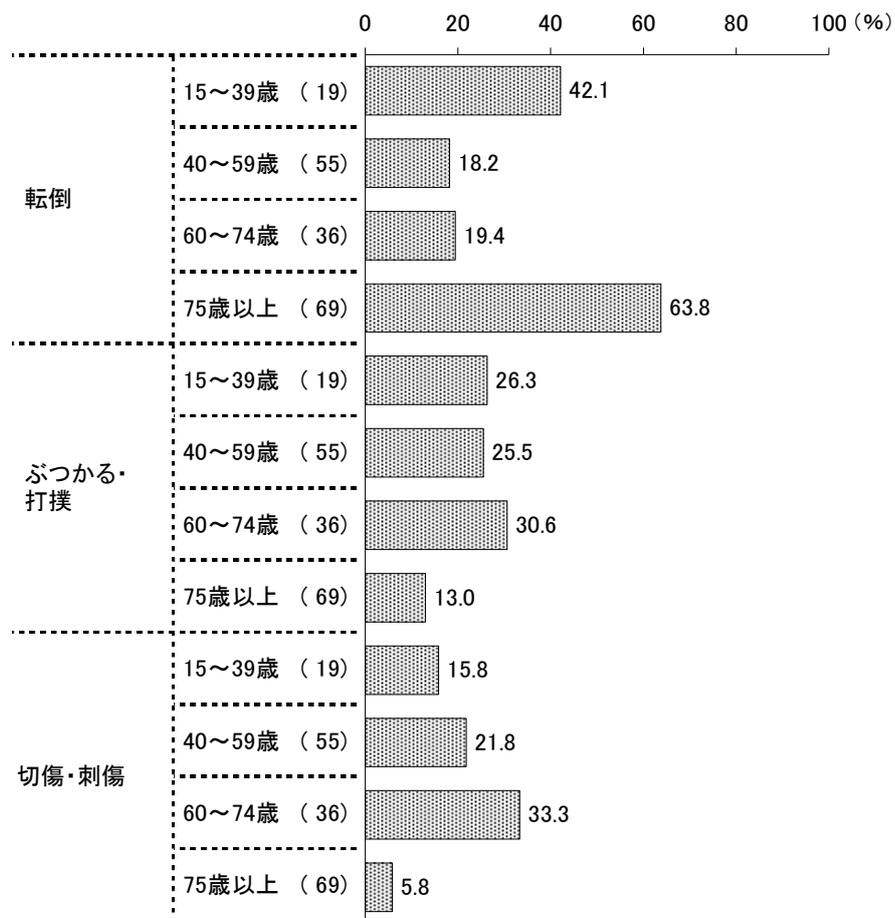
図表3-4 自宅でのけがの原因（経年比較）



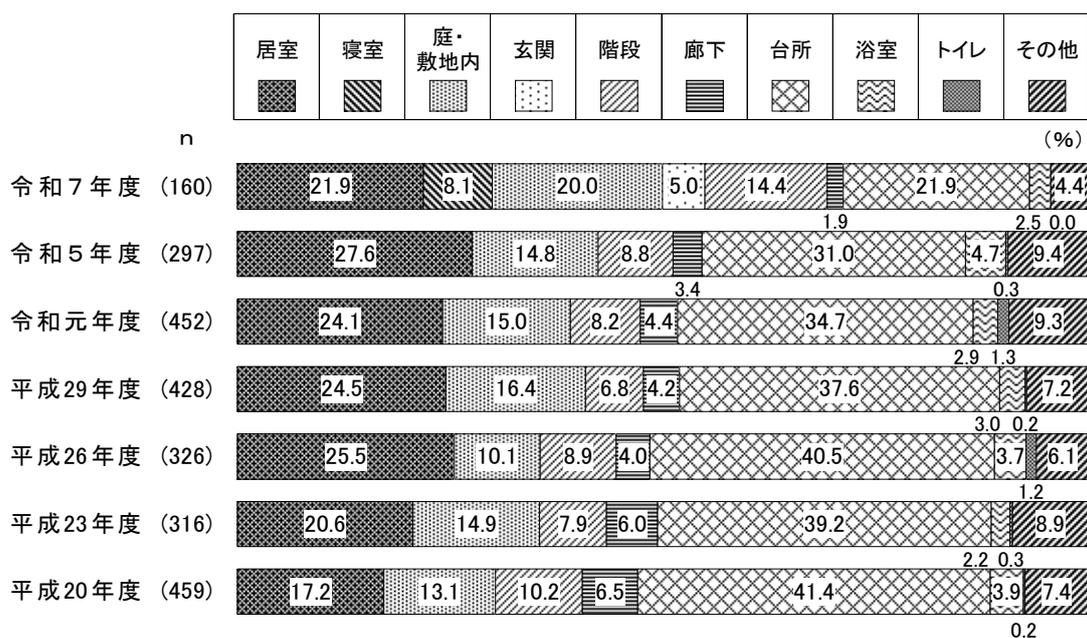
※「加害」、「虫刺・咬傷（ハチ・動物など）」、「窒息」は、令和7年度から追加された選択肢

※「ぶつかる・打撲」は、令和5年度から追加された選択肢

図表 3-5 自宅でのけがの原因（年齢階層別）－上位3位



図表3-6 自宅だけがをした場所（経年比較）



※「寝室」と「玄関」は、令和7年度から追加された選択肢

図表3-7 自宅だけがをした場所（年齢階層別）－上位5位【転倒のみ】

	n	1位	2位	3位	4位	5位
全体	54	居室 16	庭・敷地内/階段 10	台所 4	寝室/玄関/廊下 3	
15～39歳	8	居室/庭・敷地内/階段 2	寝室 1			
40～59歳	10	居室/階段 3	浴室 2	庭・敷地内/玄関 1		
60～74歳	7	階段 3	居室 2	寝室 1		
75歳以上	29	居室 9	庭・敷地内 7	台所 4	廊下 3	玄関/階段 2

図表3-8 自宅だけがをした場所とけがの原因の関係－上位3位

項目 順位	転倒	転落・墜落	切傷・刺傷	加害	ぶつかる・打撲	虫刺・咬傷 (ハチ・動物など)	異物誤飲	窒息	火傷	挟まれ・加圧	その他
1位	居室 16	階段 6	台所 19		居室 8	庭・敷地内 6			台所 7	庭・敷地内 1	居室/寝室/階段/その他
2位	庭・敷地内 10	庭・敷地内 3	庭・敷地内 6		寝室 7	居室 5			階段 1		
3位	階段 10	居室 2	居室 2		庭・敷地内/玄関/階段 5	台所 1					

4. こども（15歳未満）の事故やけがの状況

（1）自宅外でのけがの状況

◇15歳未満のこどもがいる世帯の48.1%が、自宅外で何らかのけがをしている

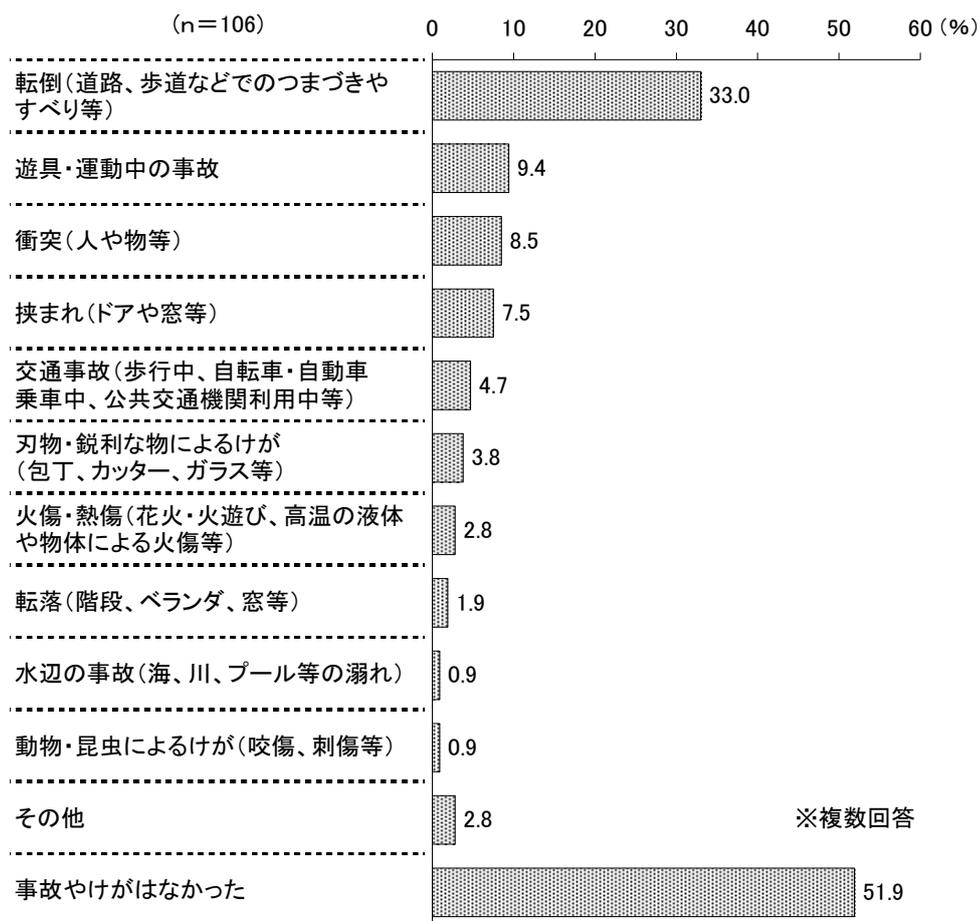
◇けがの状況は、「転倒（道路、歩道などでのつまづきやすべり等）」が33.0%で最も高い

15歳未満のこどもがいる世帯の48.1%が自宅外で何らかのけがをしており、自宅外でのけがの状況は、「転倒（道路、歩道などでのつまづきやすべり等）」が33.0%で最も高く、次いで「遊具・運動中の事故」が9.4%、「衝突（人や物等）」が8.5%となっている。

◇「転倒（道路、歩道などでのつまづきやすべり等）」は3～5歳で52.9%と最も高い

こどもの年齢別でみると、自宅外でのけがの状況は、「転倒（道路、歩道などでのつまづきやすべり等）」は3～5歳で52.9%と最も高く、次いで6～11歳で36.2%となっている。

図表4-1 自宅外でのけがの状況



図表 4-2 自宅外でのけがの状況（こどもの年齢別）

		※複数回答 (%)												
		n	転倒（道路、歩道などでのつまづきやすべり等）	遊具・運動中の事故	衝突（人や物等）	挟まれ（ドアや窓等）	交通事故 （歩行中、自転車・自動車乗車中、公共交通機関利用中等）	刃物・鋭利な物によるけが （包丁、カッター、ガラス等）	火傷・熱傷（花火・火遊び、高温の液体や物体による火傷等）	転落（階段、ベランダ、窓等）	水辺の事故 （海、川、プール等の溺れ）	動物・昆虫によるけが （咬傷、刺傷等）	その他	事故やけがはなかった
全 体		106	33.0	9.4	8.5	7.5	4.7	3.8	2.8	1.9	0.9	0.9	2.8	51.9
こどもの年齢別	0～2歳	16	18.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	81.3
	3～5歳	17	52.9	11.8	5.9	17.6	-	11.8	-	-	5.9	-	-	41.2
	6～11歳	47	36.2	12.8	12.8	4.3	4.3	2.1	2.1	2.1	-	-	2.1	44.7
	12～14歳	26	23.1	7.7	7.7	11.5	11.5	3.8	7.7	3.8	-	3.8	7.7	53.8

(2) 自宅でのけがの状況

◇15歳未満の子どもがいる世帯の29.4%が、自宅で何らかのけがをしている

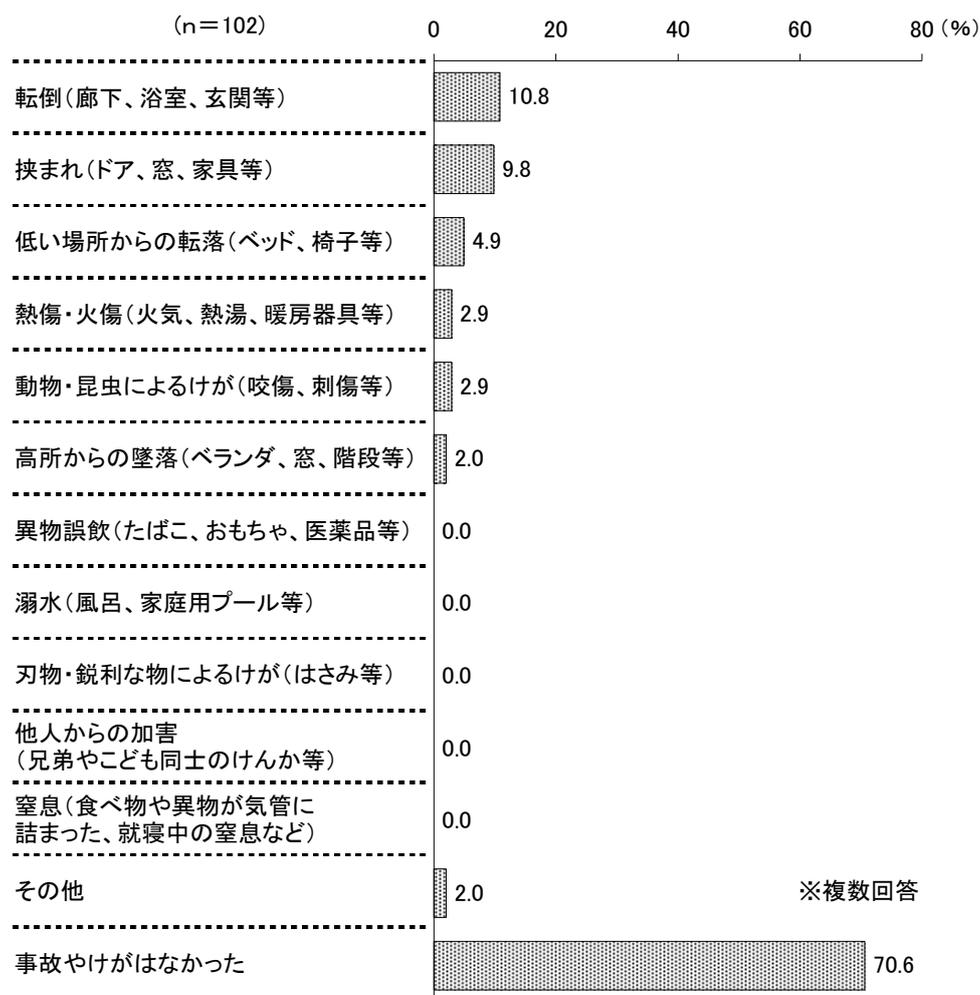
◇けがの状況は、「転倒（廊下、浴室、玄関等）」が10.8%で最も高い

15歳未満の子どもがいる世帯の29.4%が自宅で何らかのけがをしており、自宅でのけがの状況は、「転倒（廊下、浴室、玄関等）」が10.8%で最も高く、次いで「挟まれ（ドア、窓、家具等）」が9.8%となっている。

◇「低い場所からの転落（ベッド、椅子等）」は子どもの年齢が下がるほど割合が高い

子どもの年齢別でみると、自宅でのけがの状況は、「低い場所からの転落（ベッド、椅子等）」が子どもの年齢が下がるほど割合が高くなっている。また、「挟まれ（ドア、窓、家具等）」は3～5歳で29.4%と最も高くなっている。

図表4-3 自宅でのけがの状況



図表 4-4 自宅でのけがの状況（こどもの年齢別）

		※複数回答 (％)													
		n	転倒（廊下、浴室、玄関等）	挟まれ（ドア、窓、家具等）	低い場所からの転落（ベッド、椅子等）	熱傷・火傷（火気、熱湯、暖房器具等）	動物・昆虫によるけが（咬傷、刺傷等）	高所からの墜落（ベランダ、窓、階段等）	異物誤飲（たばこ、おもちゃ、医薬品等）	溺水（風呂、家庭用プール等）	刃物・鋭利な物によるけが（はさみ等）	他人からの加害（兄弟やこども同士のけんか等）	窒息（食べ物や異物が気管に詰まった、就寝中の窒息など）	その他	事故やけがはなかった
全 体		102	10.8	9.8	4.9	2.9	2.9	2.0	-	-	-	-	-	2.0	70.6
こどもの年齢別	0～2歳	16	18.8	6.3	18.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68.8
	3～5歳	17	11.8	29.4	5.9	-	5.9	5.9	-	-	-	-	-	5.9	47.1
	6～11歳	46	8.7	8.7	2.2	2.2	-	2.2	-	-	-	-	-	2.2	78.3
	12～14歳	23	8.7	-	-	8.7	8.7	-	-	-	-	-	-	-	73.9

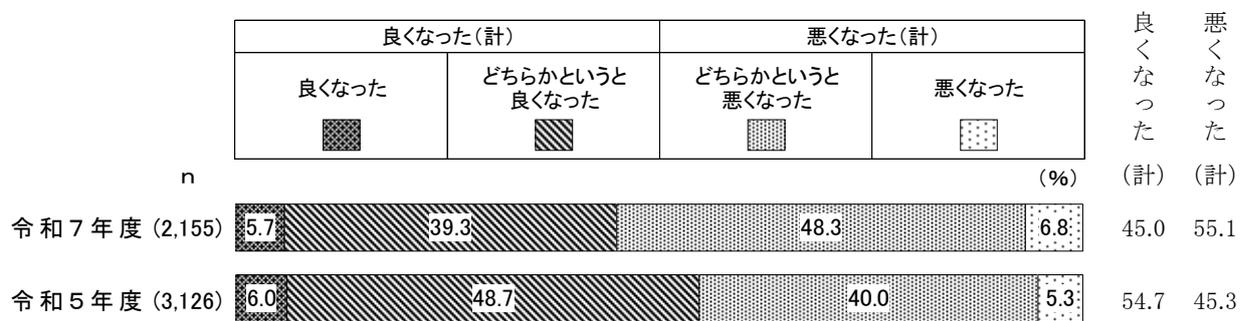
5. 体感不安（犯罪被害等含む）に関する実態

（1）市の治安の変化に対する意識

◇1年前と比べた市の治安は、『悪くなった（計）』が55.1%

1年前と比べた市の治安は、「良くなった」(5.7%)と「どちらかというと良くなった」(39.3%)を合わせた『良くなった（計）』は45.0%となっている。一方、「どちらかというと悪くなった」(48.3%)と「悪くなった」(6.8%)を合わせた『悪くなった（計）』は55.1%となっている。令和5年度調査と比較すると、『悪くなった（計）』は9.8ポイント増加している。

図表5-1 市の治安の変化に対する意識（経年比較）



(2) 治安の変化を感じる地域

◇治安の変化を感じる地域は、「本厚木駅周辺」が61.0%で最も高い

◇「本厚木駅周辺」の治安は、『悪くなった(計)』が『良くなった(計)』を22.2ポイント上回る

治安の変化を感じる地域は、「本厚木駅周辺」が61.0%で最も高く、次いで「自宅周辺」が43.7%、「愛甲石田駅周辺」が4.1%となっている。

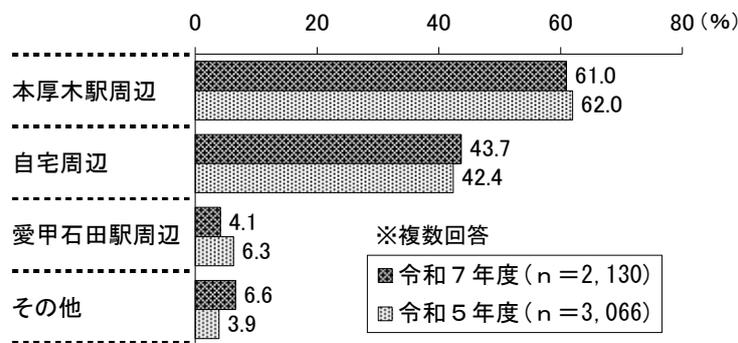
市の治安の変化に対する意識別で見ると、「本厚木駅周辺」では『悪くなった(計)』(71.4%)が『良くなった(計)』(49.2%)を22.2ポイント上回っている。一方、「自宅周辺」では『良くなった(計)』(52.9%)が『悪くなった(計)』(36.7%)を16.2ポイント上回っている。

令和5年度調査と比較すると、「愛甲石田駅周辺」は2.2ポイント減少している。

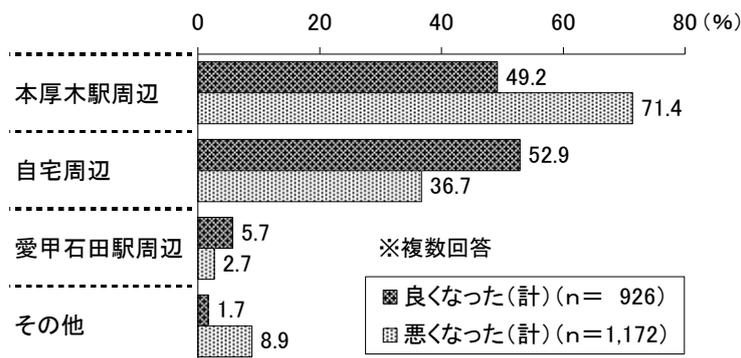
◇「自宅周辺」の治安について、居住地区別で見ると、『良くなった(計)』は玉川地区で73.9%と最も高く、『悪くなった(計)』は森の里地区で62.1%と最も高い

「自宅周辺」で治安の変化を感じる方の、市の治安の変化に対する意識を居住地区別で見ると、治安が『良くなった(計)』は玉川地区で73.9%と最も高く、次いで厚木南地区で70.6%となっている。一方、治安が『悪くなった(計)』は森の里地区で62.1%と最も高く、次いで睦合北地区で61.9%となっている。

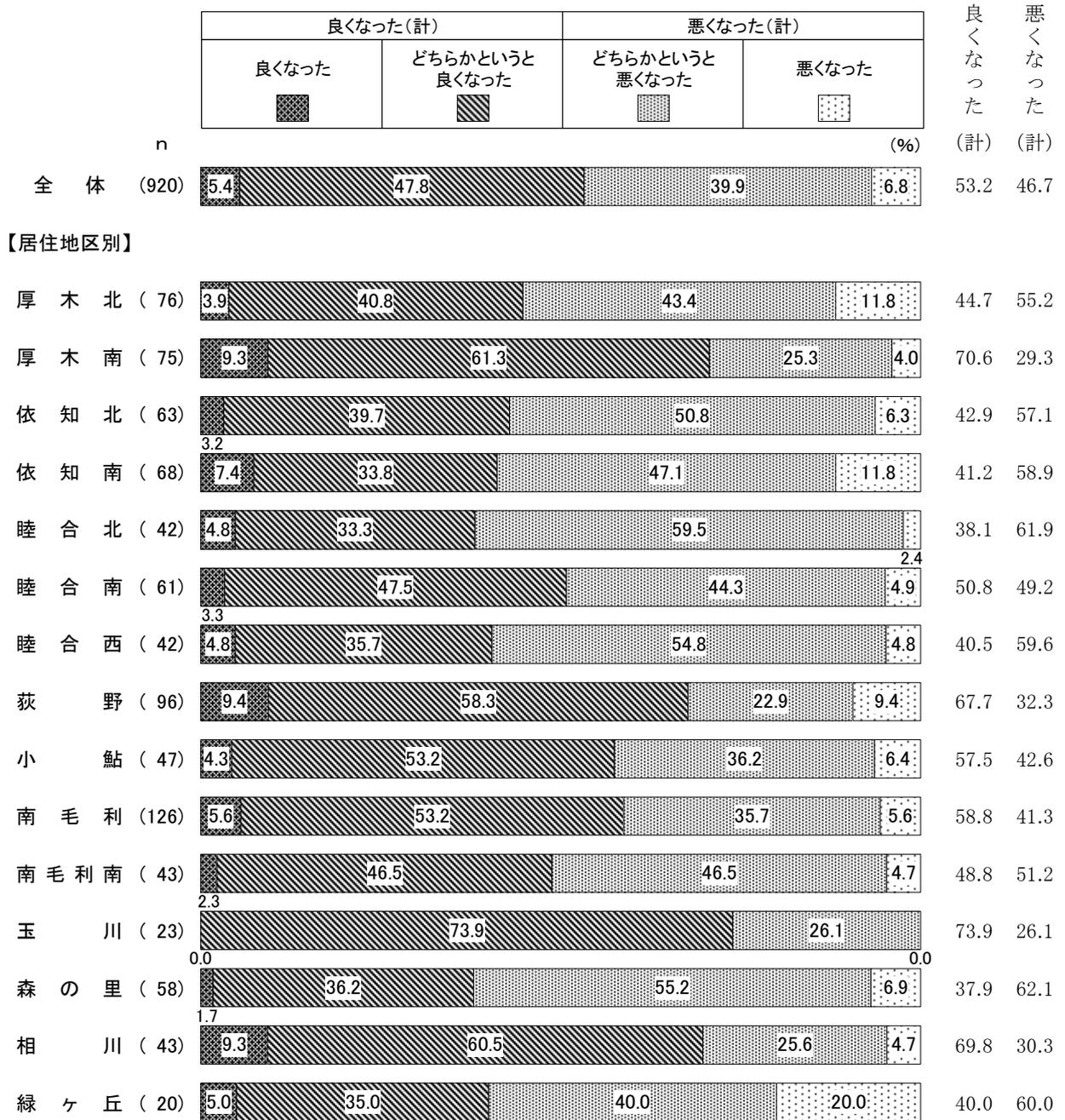
図表5-2 治安の変化を感じる地域（経年比較）



図表5-3 治安の変化を感じる地域（市の治安の変化に対する意識別）



図表5-4 市の治安の変化に対する意識（居住地区別） 【「自宅周辺」で治安の変化を感じると答えた方】



(3) 犯罪等被害や不安を感じる事項と程度

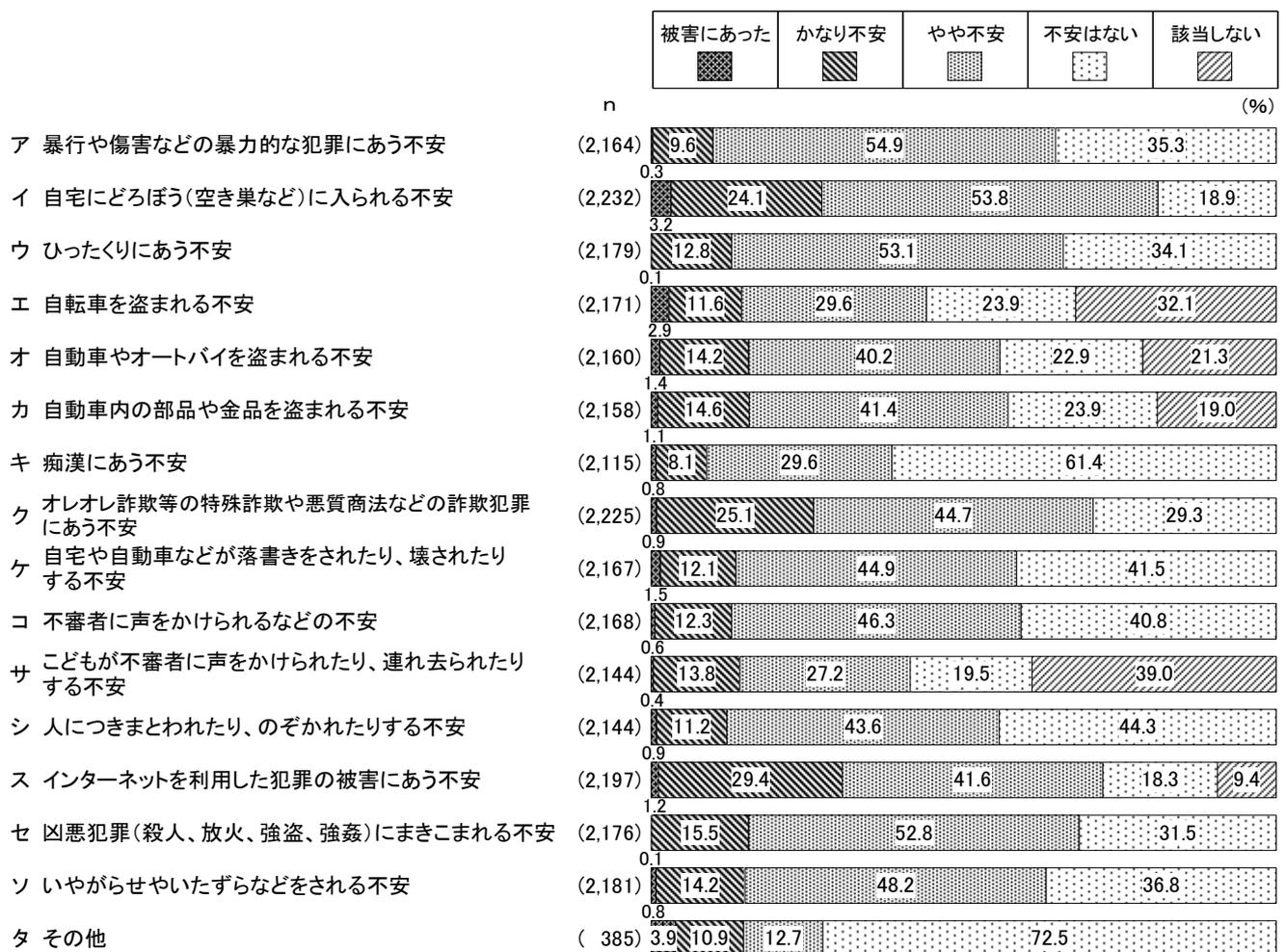
◇犯罪等被害や不安を感じる事項で、「被害にあった」「かなり不安」と答えた人の割合は、「インターネットを利用した犯罪の被害にあう不安」で30.6%と最も高い

犯罪等被害や不安を感じる事項で、「被害にあった」「かなり不安」と答えた人の割合は、「インターネットを利用した犯罪の被害にあう不安」で30.6%と最も高く、次いで「自宅にどろぼう（空き巣など）に入られる不安」で27.3%となっている。

◇居住地区別では、「被害にあった」「かなり不安」と答えた人の割合は、「インターネットを利用した犯罪の被害にあう不安」が9地区で最も高い

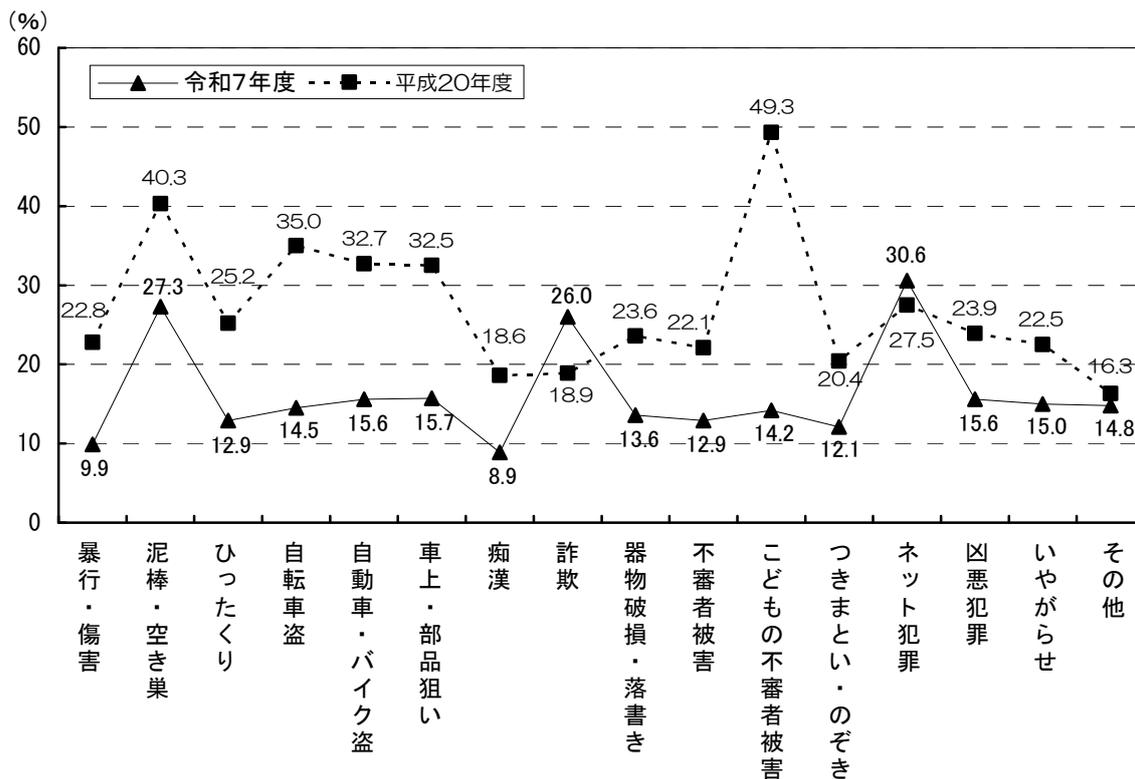
居住地区別でみると、犯罪等被害や不安を感じる事項で、「被害にあった」「かなり不安」と答えた人の割合は、「インターネットを利用した犯罪の被害にあう不安」が9地区で1位となっており、睦合西地区で40.4%と最も高くなっている。また、「自宅にどろぼう（空き巣など）に入られる不安」が5地区で1位となっており、森の里地区で41.7%と最も高くなっている。

図表5-5 犯罪等被害や不安を感じる事項と程度



※「該当しない」の選択肢は、「エ 自転車を盗まれる不安」、「オ 自動車やオートバイを盗まれる不安」、「カ 自動車内の部品や金品を盗まれる不安」、「サ こどもが不審者に声をかけられたり、連れ去られたりする不安」、「ス インターネットを利用した犯罪の被害にあう不安」のみにある選択肢

図表 5-6 犯罪等被害や不安を感じる事項と程度 <「被害にあった」+「かなり不安」> (経年比較)



※令和7年度の選択肢は「被害にあった」「かなり不安」「やや不安」「不安はない」「該当しない」、平成20年度は「非常に不安」「かなり不安」「やや不安」「不安はない」「該当しない」となっていた。令和7年度のグラフの数値は「被害にあった」「かなり不安」と答えた人を合わせた割合、平成20年度のグラフの数値は「非常に不安」「かなり不安」と答えた人を合わせた割合となっている
 ※令和7年度では“自転車盗”、“自動車・バイク盗”、“車上・部品狙い”、“こどもの不審者被害”、“ネット犯罪”に「該当しない」の選択肢を追加している

図表 5-7 犯罪等被害や不安を感じる事項と程度 <「被害にあった」+「かなり不安」> (居住地区別)

		厚木北				厚木南	
		n	(%)			n	(%)
1位	ネット犯罪	221	30.8	1位	ネット犯罪	218	28.0
2位	詐欺	220	21.9	2位	詐欺	222	22.6
3位	自転車盗	210	18.1	3位	泥棒・空き巣	225	22.2
4位	泥棒・空き巣	222	18.0	4位	ひったくり	217	14.8
5位	こどもの不審者被害	211	18.0	5位	いやがらせ	217	13.8
6位	不審者被害	211	15.6	6位	つきまとい・のぞき	212	13.2
7位	凶悪犯罪	213	12.2	7位	凶悪犯罪	216	12.5
8位	自動車・バイク盗	213	11.7	8位	不審者被害	217	12.4
9位	ひったくり	215	11.6	9位	自転車盗	216	10.6
10位	器物破損・落書き	211	11.4	10位	痴漢	213	9.0
11位	暴行・傷害	216	11.1	11位	こどもの不審者被害	212	9.0
12位	いやがらせ	216	11.1	12位	暴行・傷害	214	8.9
13位	車上・部品狙い	211	10.5	13位	車上・部品狙い	213	8.9
14位	つきまとい・のぞき	207	10.1	14位	器物破損・落書き	216	8.8
15位	痴漢	204	8.9	15位	自動車・バイク盗	215	8.4

		依知北				依知南	
		n	(%)			n	(%)
1位	泥棒・空き巣	141	32.0	1位	泥棒・空き巣	125	35.2
2位	ネット犯罪	138	30.4	2位	詐欺	123	30.9
3位	詐欺	142	26.8	3位	自動車・バイク盗	123	28.5
4位	凶悪犯罪	138	22.5	4位	ネット犯罪	122	26.2
5位	自動車・バイク盗	136	22.1	5位	車上・部品狙い	121	24.8
6位	車上・部品狙い	136	22.1	6位	器物破損・落書き	120	20.9
7位	いやがらせ	138	18.1	7位	いやがらせ	124	20.2
8位	不審者被害	136	14.7	8位	自転車盗	125	20.0
9位	こどもの不審者被害	135	14.1	9位	凶悪犯罪	121	19.8
10位	自転車盗	137	13.1	10位	こどもの不審者被害	121	19.0
11位	痴漢	133	12.8	11位	つきまとい・のぞき	118	14.4
12位	器物破損・落書き	138	11.6	12位	不審者被害	120	12.5
13位	ひったくり	138	10.9	13位	ひったくり	121	12.4
14位	つきまとい・のぞき	138	10.9	14位	暴行・傷害	120	10.8
15位	暴行・傷害	137	10.3	15位	痴漢	115	8.7

図表 5-8 犯罪等被害や不安を感じる事項と程度 <「被害にあった」+「かなり不安」> (居住地区別)

		睦合北				睦合南	
		n	(%)			n	(%)
1位	泥棒・空き巣	97	33.0	1位	詐欺	136	30.1
2位	ネット犯罪	94	31.9	2位	ネット犯罪	136	25.0
3位	詐欺	94	28.7	3位	自転車盗	134	22.4
4位	いやがらせ	94	18.1	4位	泥棒・空き巣	136	22.1
5位	車上・部品狙い	92	17.4	5位	ひったくり	136	19.1
6位	自動車・バイク盗	92	15.2	6位	凶悪犯罪	138	18.1
7位	こどもの不審者被害	92	15.2	7位	こどもの不審者被害	134	16.4
8位	自転車盗	94	14.9	8位	器物破損・落書き	135	16.3
9位	器物破損・落書き	91	14.3	9位	いやがらせ	136	15.4
10位	ひったくり	93	14.0	10位	自動車・バイク盗	130	15.3
11位	凶悪犯罪	94	13.8	11位	車上・部品狙い	133	14.3
12位	不審者被害	94	12.8	12位	不審者被害	135	13.3
13位	痴漢	90	11.1	13位	つきまとい・のぞき	134	11.9
14位	つきまとい・のぞき	93	9.7	14位	暴行・傷害	134	10.4
15位	暴行・傷害	94	7.4	15位	痴漢	131	8.4

		睦合西				荻野	
		n	(%)			n	(%)
1位	ネット犯罪	104	40.4	1位	ネット犯罪	212	29.8
2位	泥棒・空き巣	107	35.5	2位	泥棒・空き巣	215	24.6
3位	詐欺	105	29.6	3位	詐欺	214	22.9
4位	車上・部品狙い	103	28.2	4位	車上・部品狙い	214	18.2
5位	器物破損・落書き	102	25.5	5位	器物破損・落書き	211	15.2
6位	自動車・バイク盗	103	25.2	6位	自動車・バイク盗	213	14.6
7位	凶悪犯罪	103	24.3	7位	不審者被害	209	14.3
8位	自転車盗	102	22.5	8位	凶悪犯罪	210	12.9
9位	いやがらせ	104	20.2	9位	つきまとい・のぞき	209	12.0
10位	こどもの不審者被害	102	18.7	10位	ひったくり	211	11.4
11位	つきまとい・のぞき	102	16.7	11位	暴行・傷害	207	11.1
12位	不審者被害	103	16.5	12位	いやがらせ	211	10.9
13位	ひったくり	104	12.5	13位	痴漢	210	10.0
14位	暴行・傷害	102	11.8	14位	こどもの不審者被害	206	9.7
15位	痴漢	101	3.0	15位	自転車盗	210	9.5

図表5-9 犯罪等被害や不安を感じる事項と程度 <「被害にあった」+「かなり不安」> (居住地区別)

		小鮎				南毛利	
		n	(%)			n	(%)
1位	ネット犯罪	124	35.5	1位	ネット犯罪	331	31.4
2位	詐欺	128	33.6	2位	泥棒・空き巣	330	25.1
3位	泥棒・空き巣	125	32.0	3位	詐欺	332	25.0
4位	凶悪犯罪	123	17.9	4位	自転車盗	326	17.1
5位	いやがらせ	122	16.4	5位	自動車・バイク盗	324	16.6
6位	器物破損・落書き	124	14.5	6位	車上・部品狙い	323	16.1
7位	自動車・バイク盗	124	13.7	7位	器物破損・落書き	327	14.7
8位	こどもの不審者被害	122	13.1	8位	いやがらせ	328	13.7
9位	ひったくり	121	12.4	9位	こどもの不審者被害	320	13.4
10位	自転車盗	123	12.2	10位	ひったくり	328	13.1
11位	車上・部品狙い	123	11.4	11位	つきまとい・のぞき	324	12.3
12位	不審者被害	125	11.2	12位	凶悪犯罪	327	12.2
13位	つきまとい・のぞき	120	10.0	13位	不審者被害	327	11.0
14位	暴行・傷害	122	9.0	14位	痴漢	321	9.6
15位	痴漢	118	6.8	15位	暴行・傷害	326	9.2

		南毛利南				玉川	
		n	(%)			n	(%)
1位	ネット犯罪	114	29.8	1位	ネット犯罪	54	31.5
2位	泥棒・空き巣	118	29.7	2位	泥棒・空き巣	53	26.4
3位	詐欺	115	25.2	3位	こどもの不審者被害	54	20.4
4位	こどもの不審者被害	113	23.0	4位	車上・部品狙い	53	18.9
5位	凶悪犯罪	112	19.6	5位	自動車・バイク盗	53	15.1
6位	つきまとい・のぞき	111	18.0	6位	いやがらせ	54	14.8
7位	ひったくり	112	15.2	7位	詐欺	57	14.0
8位	いやがらせ	111	13.5	8位	ひったくり	53	13.2
9位	暴行・傷害	116	12.9	9位	凶悪犯罪	54	13.0
10位	不審者被害	110	12.7	10位	不審者被害	54	11.1
11位	自動車・バイク盗	113	12.4	11位	痴漢	53	9.4
12位	車上・部品狙い	110	10.9	12位	つきまとい・のぞき	54	9.3
13位	痴漢	110	10.0	13位	自転車盗	53	7.6
14位	器物破損・落書き	111	9.0	14位	器物破損・落書き	53	7.6
15位	自転車盗	115	7.9	15位	暴行・傷害	53	5.7

図表 5-10 犯罪等被害や不安を感じる事項と程度 <「被害にあった」+「かなり不安」> (居住地区別)

		森の里				相川	
		n	(%)			n	(%)
1位	泥棒・空き巣	96	41.7	1位	ネット犯罪	109	28.4
2位	ネット犯罪	94	38.3	2位	詐欺	110	26.4
3位	詐欺	95	27.4	3位	泥棒・空き巣	109	24.8
4位	凶悪犯罪	94	12.8	4位	車上・部品狙い	106	16.0
5位	いやがらせ	93	11.9	5位	自転車盗	108	14.8
6位	自動車・バイク盗	92	9.8	6位	こどもの不審者被害	106	14.2
7位	車上・部品狙い	93	9.7	7位	自動車・バイク盗	106	14.1
8位	不審者被害	94	8.5	8位	凶悪犯罪	106	13.2
9位	つきまとい・のぞき	92	7.6	9位	いやがらせ	108	11.1
10位	ひったくり	94	7.4	10位	器物破損・落書き	108	9.2
11位	痴漢	91	5.5	11位	不審者被害	107	7.5
12位	こどもの不審者被害	93	5.4	12位	ひったくり	109	7.3
13位	器物破損・落書き	94	4.3	13位	つきまとい・のぞき	105	6.7
14位	暴行・傷害	93	4.3	14位	暴行・傷害	105	5.7
15位	自転車盗	92	4.3	15位	痴漢	104	4.8

		緑ヶ丘	
		n	(%)
1位	泥棒・空き巣	46	30.5
2位	詐欺	48	29.2
3位	ネット犯罪	47	27.7
4位	器物破損・落書き	46	26.1
5位	いやがらせ	47	25.5
6位	車上・部品狙い	47	23.4
7位	ひったくり	46	21.7
8位	自動車・バイク盗	46	21.7
9位	つきまとい・のぞき	46	21.7
10位	凶悪犯罪	47	21.3
11位	痴漢	44	20.5
12位	不審者被害	45	20.0
13位	暴行・傷害	46	19.6
14位	自転車盗	46	15.2
15位	こどもの不審者被害	46	15.2

(4) 犯罪等被害にあう不安を感じる状況

◇犯罪等被害にあう不安を感じる状況は、「夜、街灯がなく暗く人通りの少ない道がある」が39.0%で最も高い

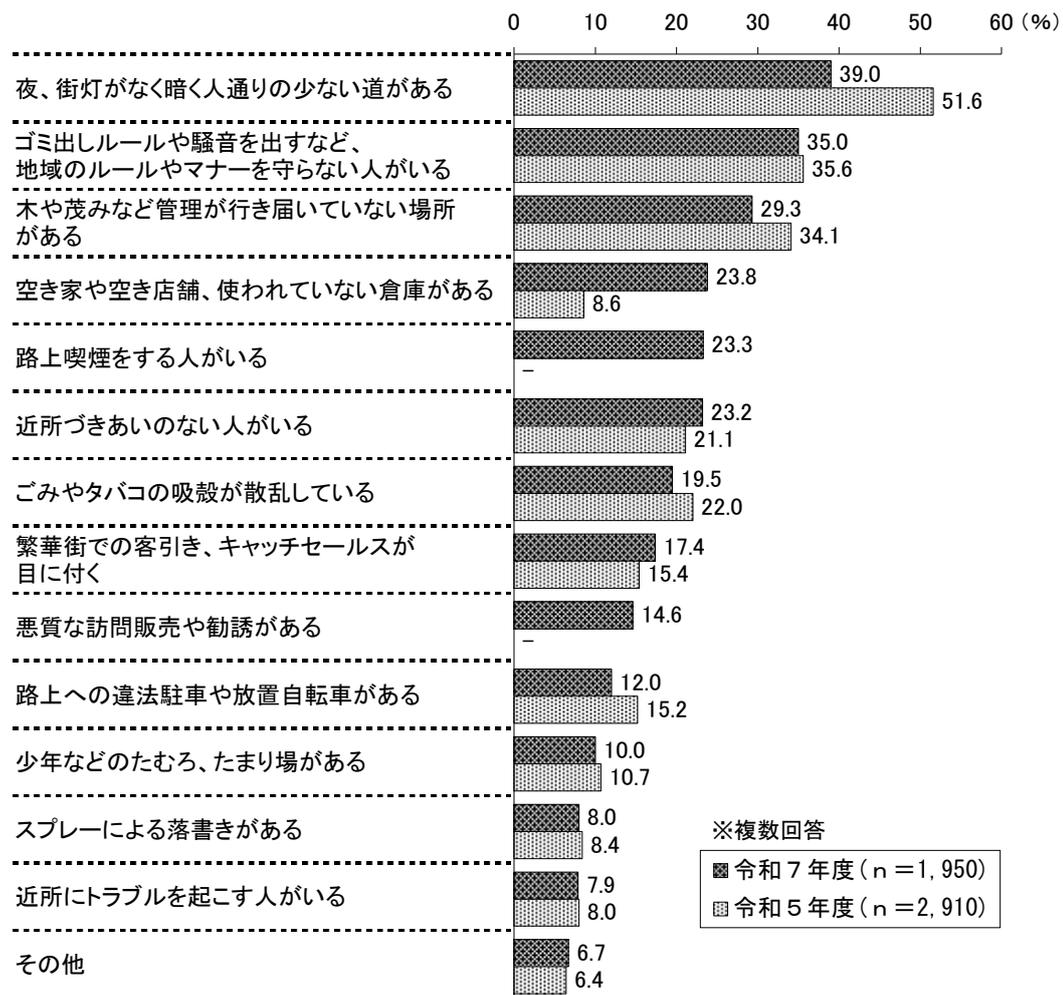
犯罪等被害にあう不安を感じる状況は、「夜、街灯がなく暗く人通りの少ない道がある」が39.0%で最も高く、次いで「ゴミ出しルールや騒音を出すなど、地域のルールやマナーを守らない人がある」が35.0%、「木や茂みなど管理が行き届いていない場所がある」が29.3%となっている。

令和5年度調査と比較すると、「空き家や空き店舗、使われていない倉庫がある」は15.2ポイント増加している。

◇性別では、女性が男性より「夜、街灯がなく暗く人通りの少ない道がある」で10.9ポイント高い

◇居住地区別では、「木や茂みなど管理が行き届いていない場所がある」は玉川地区で57.4%と最も高く、「空き家や空き店舗、使われていない倉庫がある」は森の里地区で65.8%と最も高い

図表5-11 犯罪等被害にあう不安を感じる状況（経年比較）



※「路上喫煙をする人がある」、「悪質な訪問販売や勧誘がある」は、令和7年度から追加された選択肢

※「夜、街灯がなく暗く人通りの少ない道がある」は、令和5年度では「夜、街灯が暗いところがある(51.6%)」と「人通りの少ない道(51.5%)」の2つの選択肢に分かれていた。なお、令和5年度の値は、「夜、街灯が暗いところがある(51.6%)」の値

図表5-12 犯罪等被害にあう不安を感じる状況（性別、居住地区別）

		※複数回答 (%)														
		n	夜、街灯がなく暗く人通りの少ない道がある	ゴミ出しルールや騒音を出すなど、地域のルールやマナーを守らない人がある	木や茂みなど管理が行き届いていない場所がある	空き家や空き店舗、使われていない倉庫がある	路上喫煙をする人がいる	近所づきあいのない人がいる	ごみやタバコの吸殻が散乱している	目につく繁華街での客引き、キャッチセールスが	悪質な訪問販売や勧誘がある	路上への違法駐車や放置自転車がある	少年などのたむろ、たまり場がある	スプレーによる落書きがある	近所にトラブルを起こす人がいる	その他
全 体		1,950	39.0	35.0	29.3	23.8	23.3	23.2	19.5	17.4	14.6	12.0	10.0	8.0	7.9	6.7
性別	男 性	860	33.1	36.7	29.1	22.2	24.2	23.5	18.7	17.8	15.0	13.0	10.3	9.5	7.9	6.4
	女 性	1,030	44.0	33.5	29.3	25.6	22.1	23.3	20.5	17.1	14.4	10.6	9.7	6.8	8.2	6.8
居住地区別	厚 木 北	201	32.3	32.8	20.9	24.4	36.3	19.9	29.9	45.8	12.4	12.4	13.9	8.0	7.0	7.0
	厚 木 南	200	39.0	31.0	21.5	18.0	36.5	20.5	27.0	26.0	14.0	15.5	14.5	8.5	4.0	4.0
	依 知 北	127	35.4	46.5	19.7	22.0	20.5	32.3	18.1	4.7	14.2	8.7	7.1	11.0	9.4	5.5
	依 知 南	116	48.3	46.6	40.5	23.3	26.7	26.7	23.3	6.9	18.1	12.9	7.8	13.8	11.2	8.6
	睦 合 北	87	48.3	40.2	36.8	14.9	20.7	19.5	13.8	11.5	10.3	11.5	10.3	2.3	4.6	5.7
	睦 合 南	106	32.1	48.1	25.5	14.2	23.6	23.6	19.8	14.2	16.0	11.3	7.5	15.1	6.6	12.3
	睦 合 西	102	34.3	41.2	24.5	13.7	14.7	22.5	20.6	23.5	14.7	11.8	21.6	9.8	16.7	6.9
	荻 野	179	36.3	49.2	30.7	26.3	16.2	27.4	18.4	11.2	12.3	15.6	11.2	6.1	6.7	6.7
	小 鮎	115	41.7	30.4	38.3	21.7	20.0	24.3	13.0	13.0	16.5	13.0	5.2	4.3	13.0	5.2
	南 毛 利	280	39.3	30.4	28.9	26.1	19.6	20.0	19.3	19.3	9.3	14.6	6.1	6.1	9.3	7.1
	南 毛 利 南	97	39.2	25.8	44.3	30.9	25.8	23.7	17.5	5.2	21.6	6.2	5.2	8.2	6.2	6.2
	玉 川	47	51.1	14.9	57.4	44.7	10.6	14.9	8.5	10.6	19.1	2.1	8.5	10.6	-	6.4
	森 の 里	79	43.0	16.5	46.8	65.8	7.6	26.6	2.5	5.1	13.9	7.6	5.1	3.8	3.8	3.8
	相 川	92	46.7	31.5	14.1	14.1	18.5	19.6	16.3	7.6	15.2	10.9	6.5	6.5	6.5	6.5
緑 ケ 丘	49	34.7	26.5	32.7	24.5	28.6	26.5	16.3	12.2	22.4	2.0	12.2	6.1	8.2	4.1	

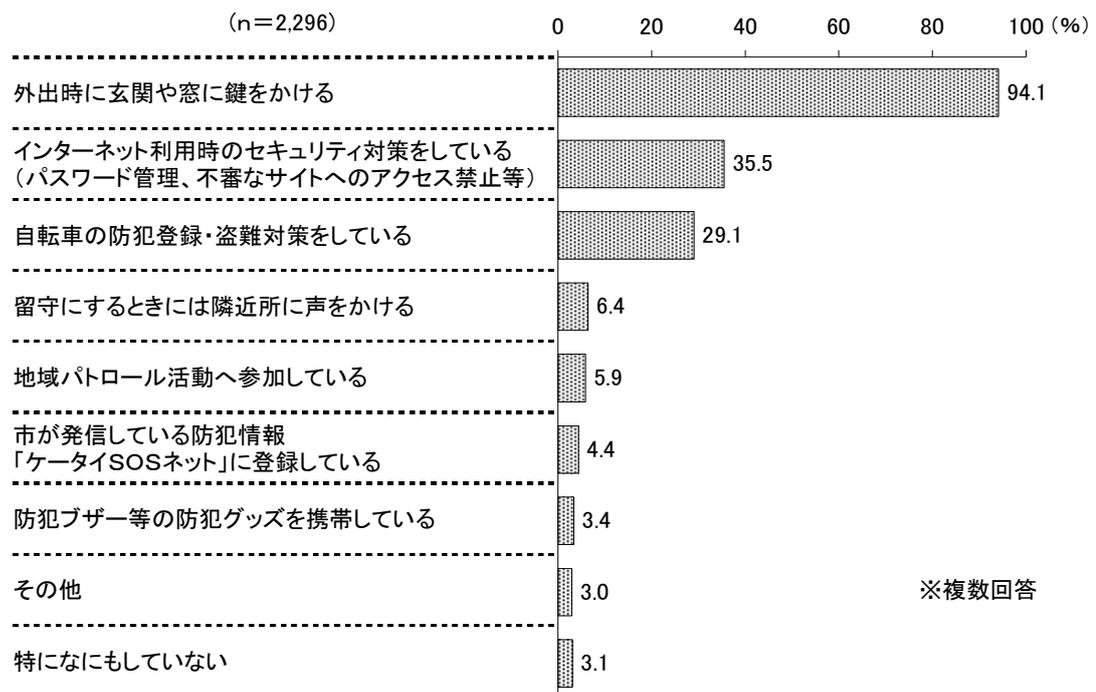
(5) 犯罪被害に巻き込まれないためにとっている対策の状況

◇犯罪被害に巻き込まれないためにとっている対策は、「外出時に玄関や窓に鍵をかける」が94.1%で最も高い

犯罪被害に巻き込まれないためにとっている対策は、「外出時に玄関や窓に鍵をかける」が94.1%で最も高く、次いで「インターネット利用時のセキュリティ対策をしている（パスワード管理、不審なサイトへのアクセス禁止等）」が35.5%、「自転車の防犯登録・盗難対策をしている」が29.1%となっている。

◇居住地区別では、「外出時に玄関や窓に鍵をかける」は小鮎地区で97.7%と最も高く、「インターネット利用時のセキュリティ対策をしている（パスワード管理、不審なサイトへのアクセス禁止等）」は森の里地区で44.9%と最も高い

図表5-13 犯罪被害に巻き込まれないためにとっている対策の状況



図表5-14 犯罪被害に巻き込まれないために行っている対策の状況（居住地区別）

		※複数回答 (%)									
		n	外出時に玄関や窓に鍵をかける	インターネット利用時のセキュリティ対策（パスワード管理、不審なサイトへのアクセス禁止等）	自転車の防犯登録・盗難対策をしている	留守にするときには隣近所に声をかける	地域パトロール活動へ参加している	市が発信している防犯情報「ケータイSOSネット」に登録している	防犯ブザー等の防犯グッズを携帯している	その他	特になにもしていない
全 体		2,296	94.1	35.5	29.1	6.4	5.9	4.4	3.4	3.0	3.1
居 住 地 区 別	厚 木 北	230	94.3	34.8	35.2	1.7	5.2	5.2	3.5	2.6	2.6
	厚 木 南	230	96.5	41.7	31.3	4.3	5.2	3.5	3.5	2.2	2.2
	依 知 北	142	95.1	27.5	24.6	8.5	2.8	4.2	2.1	4.2	1.4
	依 知 南	129	94.6	34.1	31.8	7.8	6.2	9.3	3.9	6.2	4.7
	睦 合 北	94	96.8	39.4	33.0	9.6	18.1	5.3	4.3	4.3	2.1
	睦 合 南	136	94.1	28.7	33.8	9.6	4.4	1.5	2.2	3.7	3.7
	睦 合 西	113	86.7	42.5	31.9	6.2	6.2	2.7	2.7	1.8	7.1
	荻 野	222	94.1	35.1	21.2	5.4	9.9	6.8	5.0	3.6	3.2
	小 鮎	131	97.7	29.0	27.5	4.6	9.2	3.8	3.1	3.1	1.5
	南 毛 利	332	94.0	38.6	33.1	8.4	3.3	3.6	2.7	2.4	3.0
	南 毛 利 南	125	91.2	36.8	29.6	6.4	4.8	5.6	2.4	4.8	1.6
	玉 川	58	91.4	39.7	22.4	6.9	-	3.4	5.2	1.7	3.4
	森 の 里	98	95.9	44.9	16.3	12.2	4.1	7.1	5.1	3.1	4.1
	相 川	113	92.9	36.3	33.6	3.5	5.3	1.8	1.8	0.9	5.3
緑 ケ 丘	54	96.3	22.2	27.8	7.4	11.1	1.9	5.6	1.9	-	

(6) 犯罪被害に巻き込まれないためにとっている住居の対策の状況

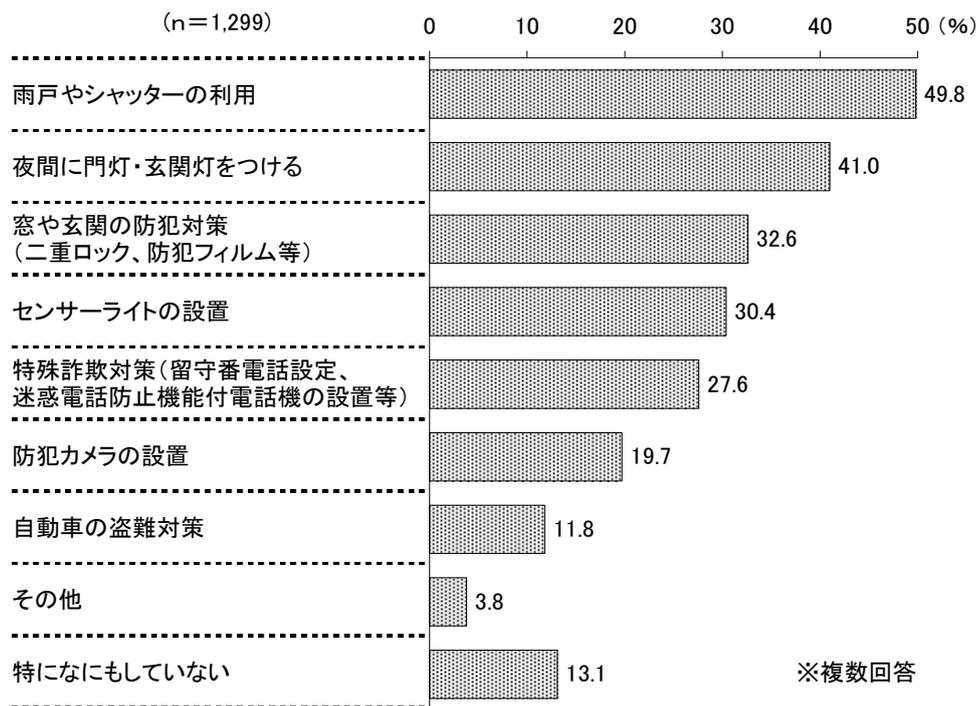
◇犯罪被害に巻き込まれないためにとっている住居の対策は、「雨戸やシャッターの利用」が49.8%で最も高い

犯罪被害に巻き込まれないためにとっている対策は、「雨戸やシャッターの利用」が49.8%で最も高く、次いで「夜間に門灯・玄関灯をつける」が41.0%、「窓や玄関の防犯対策（二重ロック、防犯フィルム等）」が32.6%となっている。

◇居住地区別では、「雨戸やシャッターの利用」は睦合北地区で69.2%と最も高く、「夜間に門灯・玄関灯をつける」でも睦合北で51.9%と最も高い

◇住居の種類別では、戸建てが集合住宅より「雨戸やシャッターの利用」で61.0ポイント、「センサーライトの設置」で32.8ポイント、それぞれ高い一方、集合住宅が戸建てより「防犯カメラの設置」で20.3ポイント高い

図表5-15 犯罪被害に巻き込まれないためにとっている住居の対策の状況



図表5-16 犯罪被害に巻き込まれないために行っている住居の対策の状況（居住地区別、住宅の種類別）

		※複数回答 (%)									
		n	雨戸やシャッターの利用	夜間に門灯・玄関灯をつける	窓や玄関の防犯対策（二重ロック、防犯フィルム等）	センサーライトの設置	防犯カメラの設置	防犯カメラの設置	自動車の盗難対策	その他	特になにもしていない
全 体		1,299	49.8	41.0	32.6	30.4	27.6	19.7	11.8	3.8	13.1
居住地区別	厚 木 北	140	30.7	38.6	30.0	22.9	14.3	32.9	7.1	4.3	17.9
	厚 木 南	141	34.8	43.3	40.4	27.0	25.5	31.9	10.6	6.4	13.5
	依 知 北	81	61.7	42.0	29.6	29.6	28.4	19.8	21.0	1.2	7.4
	依 知 南	68	55.9	41.2	23.5	35.3	33.8	17.6	16.2	5.9	10.3
	睦 合 北	52	69.2	51.9	42.3	44.2	42.3	15.4	15.4	-	5.8
	睦 合 南	82	43.9	40.2	28.0	14.6	18.3	12.2	11.0	2.4	19.5
	睦 合 西	62	58.1	40.3	32.3	35.5	25.8	19.4	11.3	1.6	16.1
	荻 野	124	55.6	35.5	29.8	29.8	30.6	15.3	10.5	2.4	15.3
	小 鮎	73	52.1	37.0	31.5	31.5	35.6	11.0	6.8	4.1	12.3
	南 毛 利	190	50.5	43.2	32.1	29.5	25.8	16.3	13.2	5.3	12.6
	南 毛 利 南	63	65.1	44.4	38.1	36.5	39.7	20.6	12.7	3.2	3.2
	玉 川	31	64.5	41.9	35.5	38.7	35.5	3.2	16.1	6.5	9.7
	森 の 里	58	60.3	46.6	43.1	44.8	39.7	17.2	12.1	3.4	5.2
	相 川	70	52.9	37.1	30.0	40.0	27.1	15.7	8.6	1.4	15.7
緑 ケ 丘	37	48.6	40.5	27.0	29.7	24.3	13.5	16.2	2.7	10.8	
住居の種類別	戸 建 て	812	72.3	44.5	36.9	42.4	33.6	12.3	13.7	3.1	5.8
	集 合 住 宅	470	11.3	34.3	25.5	9.6	17.2	32.6	8.9	4.9	25.7
	そ の 他	12	16.7	50.0	8.3	25.0	16.7	16.7	0.0	8.3	16.7

(7) 犯罪防止のために重要と考える対策

◇犯罪防止のために重要と考える対策は、「個人の防犯意識の向上」が78.6%で最も高い

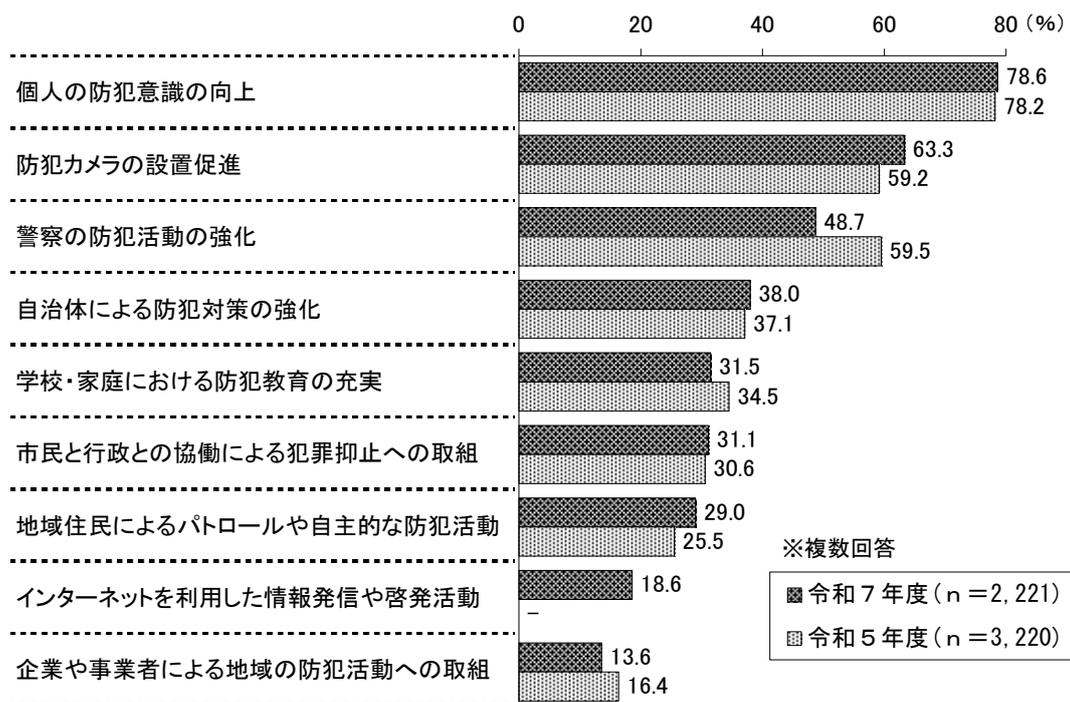
犯罪防止のために重要と考える対策は、「個人の防犯意識の向上」が78.6%で最も高く、次いで「防犯カメラの設置促進」が63.3%、「警察の防犯活動の強化」が48.7%となっている。

令和5年度調査と比較すると、「警察の防犯活動の強化」は10.8ポイント減少している。

◇居住地区別では、「個人の防犯意識の向上」は睦合南地区で82.6%と最も高い

居住地区別で見ると、犯罪防止のために重要と考える対策は、「個人の防犯意識の向上」が睦合南地区で82.6%と最も高く、次いで森の里地区で82.1%となっている。「防犯カメラの設置促進」は睦合北地区で76.3%と最も高く、「警察の防犯活動の強化」は厚木北地区で57.2%と最も高くなっている。

図表5-17 犯罪防止のために重要と考える対策（経年比較）



※「個人の防犯意識の向上」は、令和5年度では「自身の防犯対策」

※「防犯カメラの設置促進」は、令和5年度では「街頭や施設などの公共の場における防犯カメラの設置に対する補助」

※「自治体による防犯対策の強化」は、令和5年度では「自治体によるパトロールや広報啓発活動」

※「学校・家庭における防犯教育の充実」は、令和5年度では「学校における防犯指導」

※「インターネットを利用した情報発信や啓発活動」は、令和7年度から追加された選択肢

図表5-18 犯罪防止のために重要と考える対策（居住地区別）

		※複数回答 (%)									
		n	個人の防犯意識の向上	防犯カメラの設置促進	警察の防犯活動の強化	自治体による防犯対策の強化	学校・家庭における防犯教育の充実	市民と行政との協働による犯罪抑止への取組	地域住民によるパトロールや自主的な防犯活動	インターネットやネットを利用した情報発信や啓発活動	企業や事業者による地域の防犯活動への取組
全 体		2,221	78.6	63.3	48.7	38.0	31.5	31.1	29.0	18.6	13.6
居 住 地 区 別	厚 木 北	222	78.4	63.5	57.2	38.3	31.1	30.6	24.8	18.0	12.6
	厚 木 南	229	79.0	62.9	54.1	38.9	38.4	36.2	28.8	20.5	15.7
	依 知 北	138	78.3	65.9	43.5	34.8	33.3	22.5	27.5	15.9	13.0
	依 知 南	127	74.8	54.3	56.7	35.4	37.0	29.9	26.8	19.7	12.6
	睦 合 北	93	79.6	76.3	48.4	38.7	25.8	33.3	18.3	15.1	6.5
	睦 合 南	132	82.6	69.7	47.7	43.9	31.1	34.8	31.1	14.4	12.1
	睦 合 西	110	75.5	61.8	54.5	50.0	34.5	29.1	33.6	19.1	14.5
	荻 野	216	81.5	60.6	47.2	31.9	30.1	31.5	32.9	18.1	14.8
	小 鮎	126	81.7	68.3	48.4	42.1	32.5	35.7	36.5	21.4	20.6
	南 毛 利	316	76.6	65.2	40.8	37.0	29.1	31.6	28.5	21.2	16.5
	南 毛 利 南	117	81.2	62.4	39.3	35.0	24.8	32.5	28.2	17.1	13.7
	玉 川	55	81.8	60.0	56.4	34.5	40.0	40.0	30.9	20.0	10.9
	森 の 里	95	82.1	66.3	53.7	50.5	38.9	34.7	42.1	21.1	13.7
	相 川	110	78.2	60.9	45.5	38.2	23.6	20.9	22.7	17.3	10.9
緑 ケ 丘	51	74.5	58.8	54.9	17.6	23.5	19.6	21.6	21.6	3.9	

(8) 青色回転灯搭載車両による巡回を見た経験

◇青色回転灯搭載車両による巡回を見た経験は、「ある」が57.4%

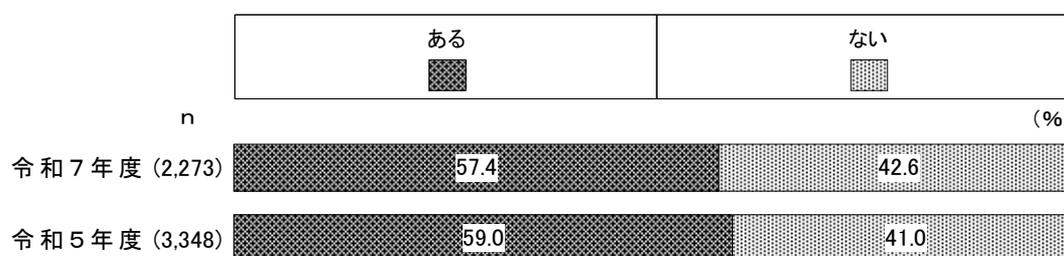
青色回転灯搭載車両による巡回を見た経験は、「ある」が57.4%、「ない」は42.6%となっている。

令和5年度調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。

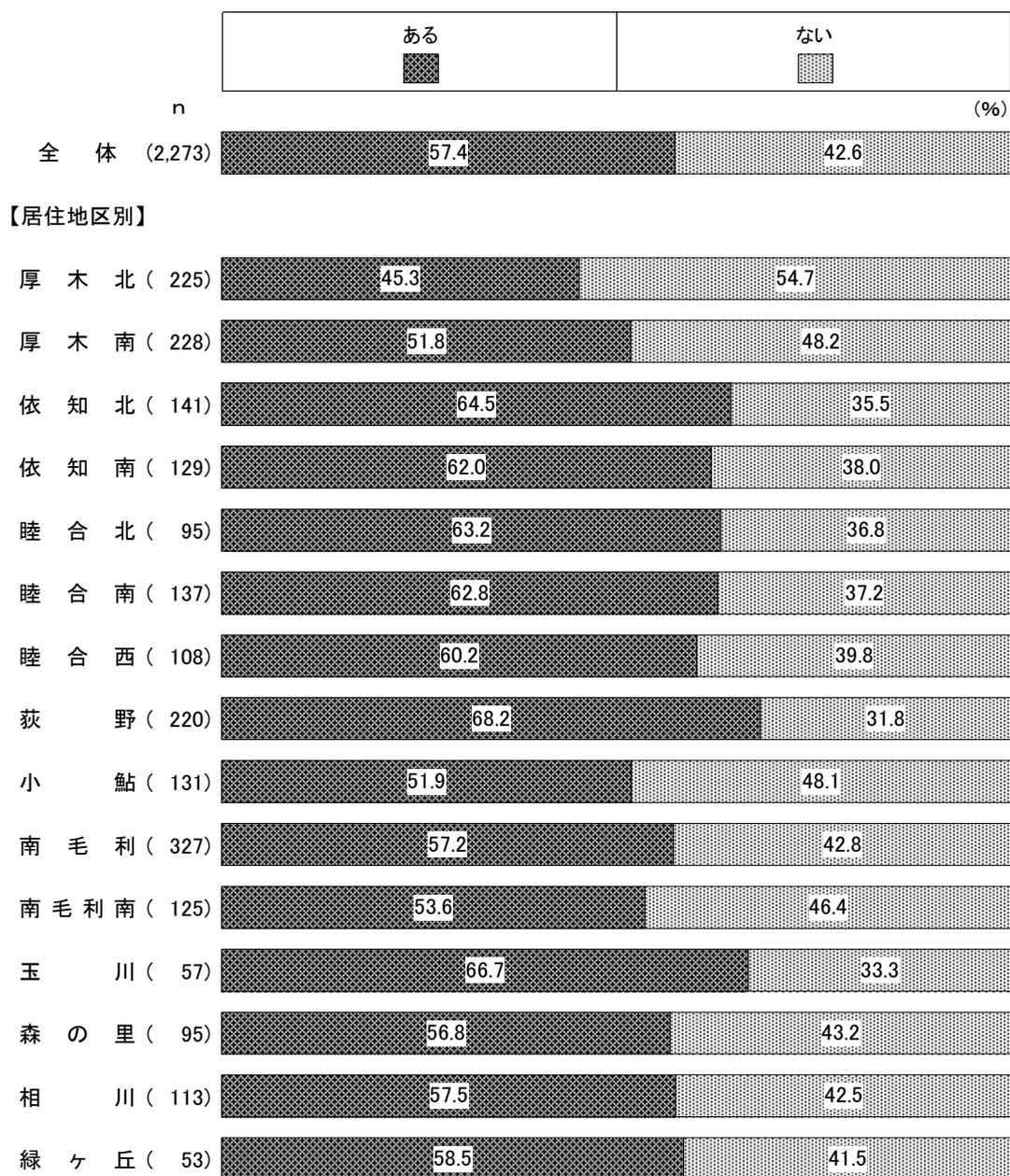
◇居住地区別では、「ある」は荻野地区で68.2%と最も高く、「ない」は厚木北地区で54.7%と最も高い

居住地区別で見ると、青色回転灯搭載車両による巡回を見た経験が「ある」は、荻野地区で68.2%と最も高く、次いで玉川地区で66.7%となっている。一方、「ない」は、厚木北地区で54.7%と最も高く、次いで厚木南地区で48.2%となっている。

図表5-19 青色回転灯搭載車両による巡回を見た経験（経年比較）



図表 5-20 青色回転灯搭載車両による巡回を見た経験（居住地区別）



(9) 青色回転灯搭載車両による巡回の安心感

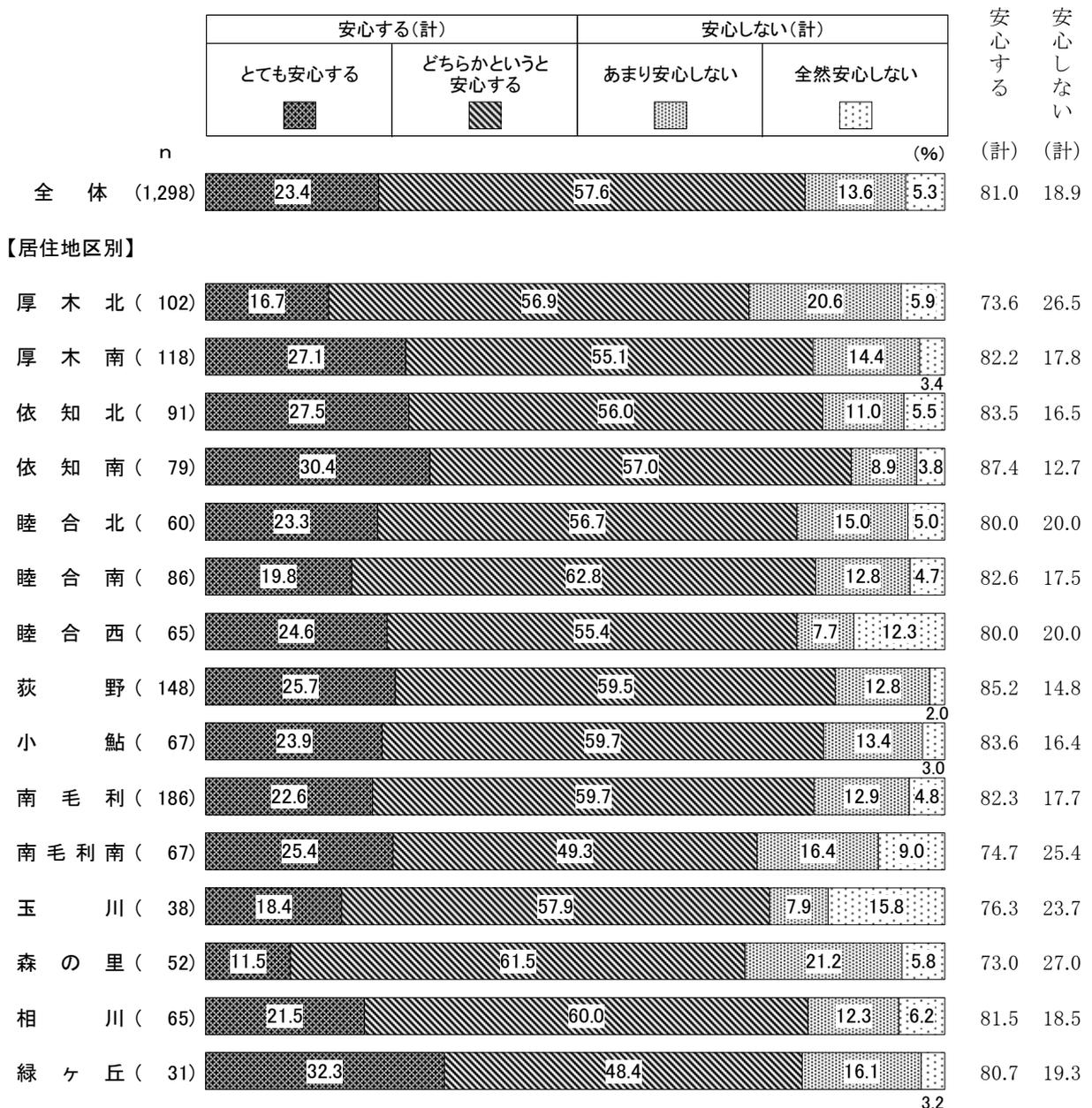
◇青色回転灯搭載車両による巡回の安心感は、『安心する(計)』が81.0%

青色回転灯搭載車両による巡回の安心感は、「とても安心する」(23.4%)と「どちらかという
と安心する」(57.6%)を合わせた『安心する(計)』は81.0%となっている。一方、「あまり
安心しない」(13.6%)と「全然安心しない」(5.3%)を合わせた『安心しない(計)』は18.9%
となっている。

◇居住地区別では、『安心する(計)』は依知南地区で87.4%と最も高い

居住地区別でみると、青色回転灯搭載車両による巡回が『安心する(計)』は、依知南地区で
87.4%と最も高く、次いで荻野地区で85.2%となっている。

図表5-21 青色回転灯搭載車両による巡回の安心感(居住地区別)



6. ストレスについて

(1) ストレスの状況

◇ストレスの状況は、「ときどき感じる」が48.1%

ストレスの状況は、「よく感じる」が17.8%、「ときどき感じる」は48.1%となっている。一方、「あまり感じない」は34.1%となっている。

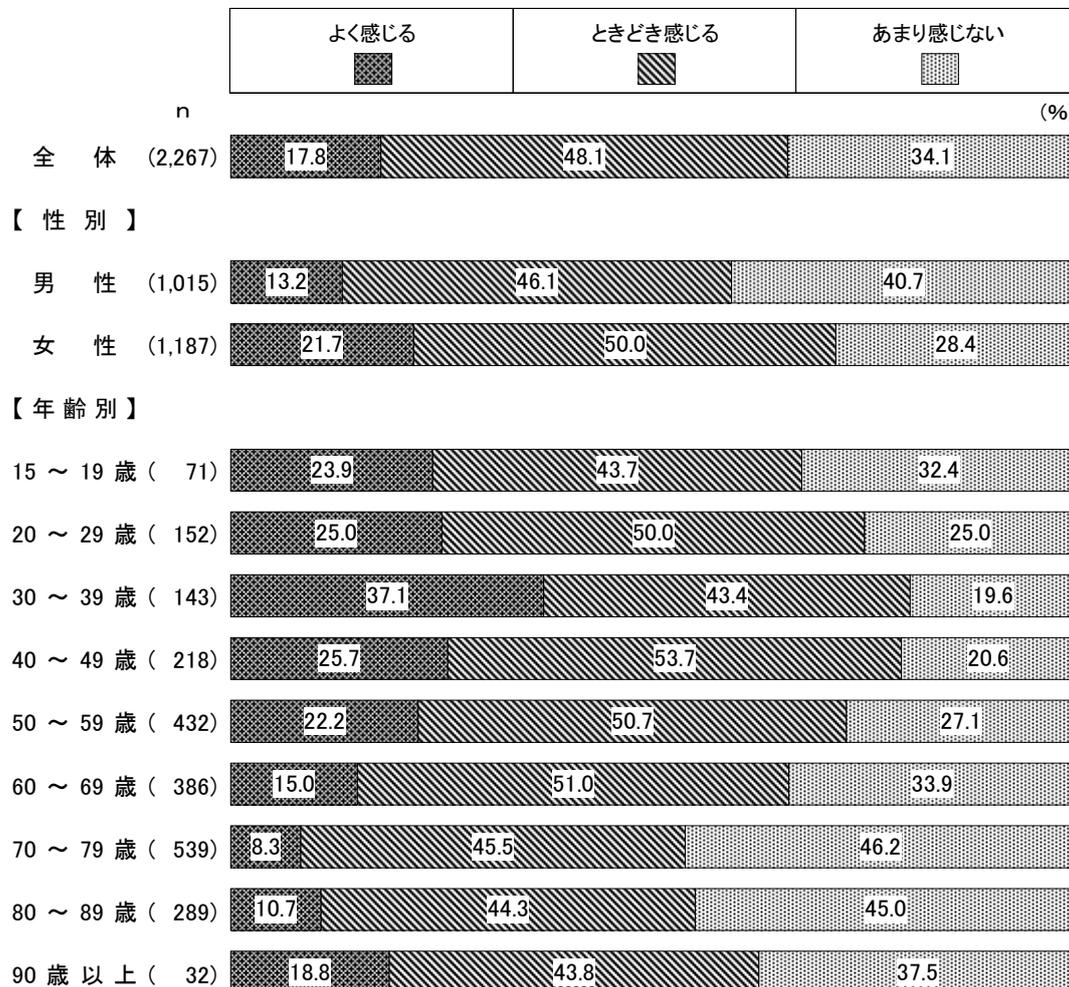
◇性別では、男性が女性より「あまり感じない」で12.3ポイント高く、女性が男性より「よく感じる」で8.5ポイント高い

性別でみると、ストレスの状況は、男性が女性より「あまり感じない」で12.3ポイント高く、女性が男性より「よく感じる」で8.5ポイント高くなっている。

◇年齢別では、「よく感じる」は30～39歳で37.1%と最も高く、「あまり感じない」は70～79歳で46.2%と最も高い

年齢別でみると、ストレスの状況は、「よく感じる」が30～39歳で37.1%と最も高く、次いで40～49歳で25.7%となっている。一方、「あまり感じない」は70～79歳で46.2%と最も高く、次いで80～89歳で45.0%となっている。

図表6-1 ストレスの状況（性別、年齢別）



(2) 生きているのが辛くなることの有無

◇生きているのが辛くなることの有無は、『ある(計)』が32.7%

生きているのが辛くなることの有無は、「全くない」(26.8%)と「ほとんどない」(40.5%)を合わせた『ない(計)』は67.3%となっている。一方、「少しある」(23.1%)、「しばしばある」(6.7%)、「いつもある」(2.9%)を合わせた『ある(計)』は32.7%となっている。

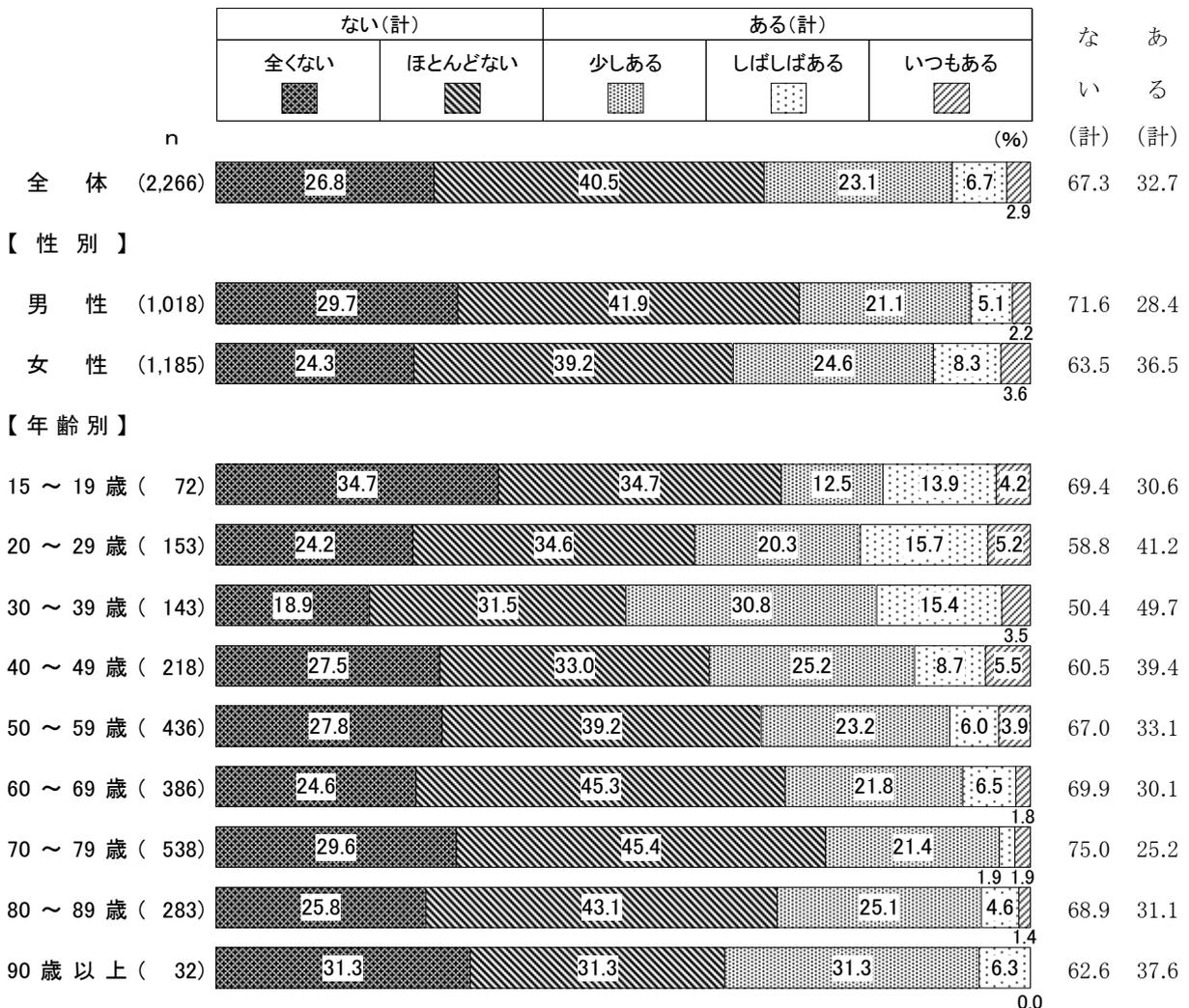
◇性別では、女性が男性より『ある(計)』で8.1ポイント高い

性別で見ると、生きているのが辛くなることの有無は、女性が男性より『ある(計)』で8.1ポイント高くなっている。

◇年齢別では、『ない(計)』は70~79歳で75.0%と最も高く、『ある(計)』は30~39歳で49.7%と最も高い

年齢別で見ると、生きているのが辛くなることの有無は、『ない(計)』が70~79歳で75.0%と最も高く、次いで60~69歳で69.9%となっている。一方、『ある(計)』は30~39歳で49.7%と最も高く、次いで20~29歳で41.2%となっている。

図表6-2 生きているのが辛くなることの有無(性別、年齢別)



(3) 自分に対しての好意的な感情

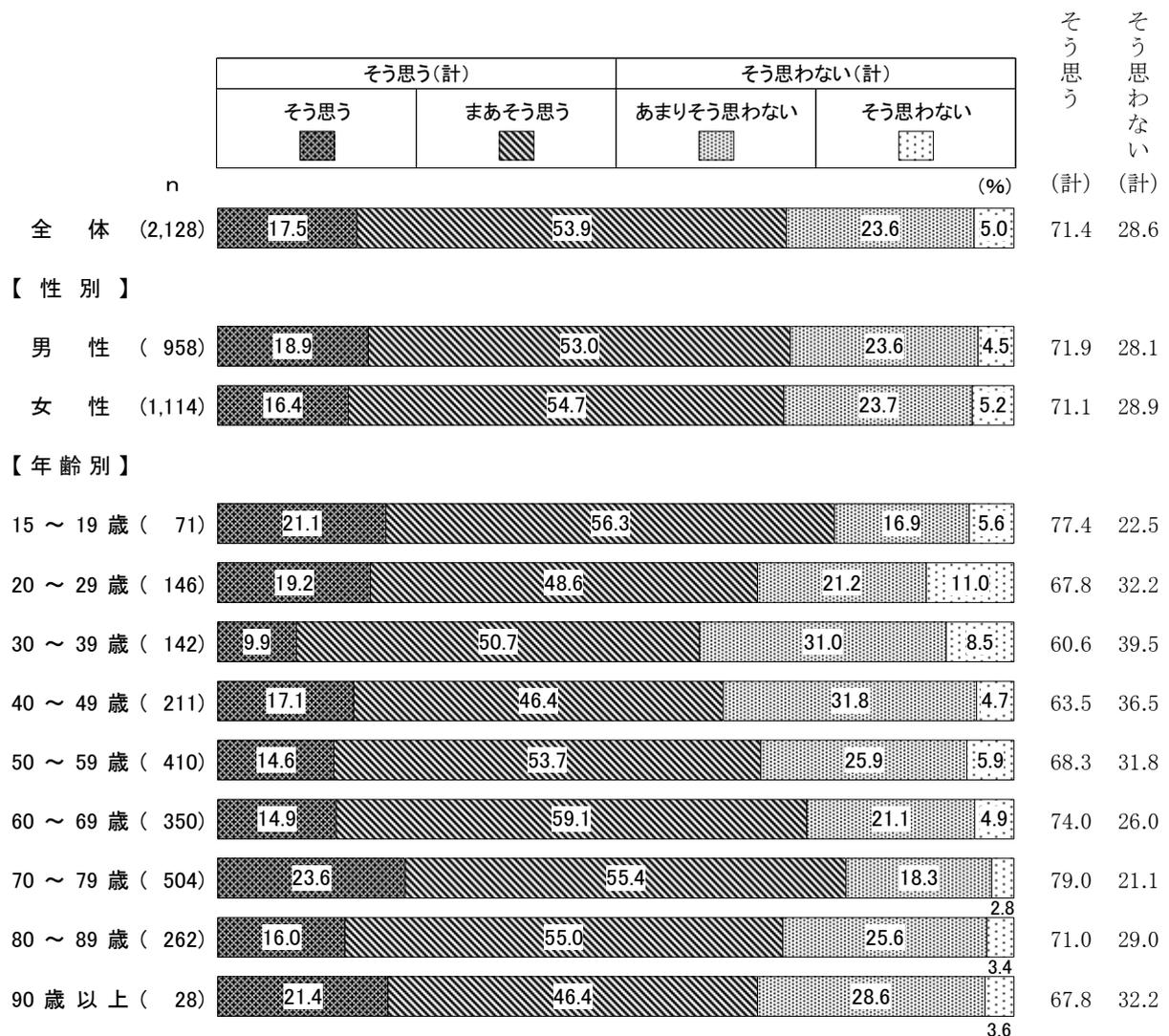
◇自分のことが好きだと思ふ人の割合は71.4%

自分のことが好きだと思ふかは、「そう思ふ」(17.5%)と「まあそう思ふ」(53.9%)を合わせた『そう思ふ(計)』は71.4%となっている。一方、「あまりそう思わない」(23.6%)と「そう思わない」(5.0%)を合わせた『そう思わない(計)』は28.6%となっている。

◇年齢別では、自分のことが好きだと思ふ人の割合は70~79歳で79.0%と最も高い

年齢別でみると、自分のことが好きだと思ふかは、『そう思ふ(計)』が70~79歳で79.0%と最も高く、次いで15~19歳で77.4%となっている。一方、『そう思わない(計)』は30~39歳で39.5%と最も高く、次いで40~49歳で36.5%となっている。

図表6-3 自分に対しての好意的な感情(性別、年齢別)



7. 高齢者について

(1) 地域とのつながり

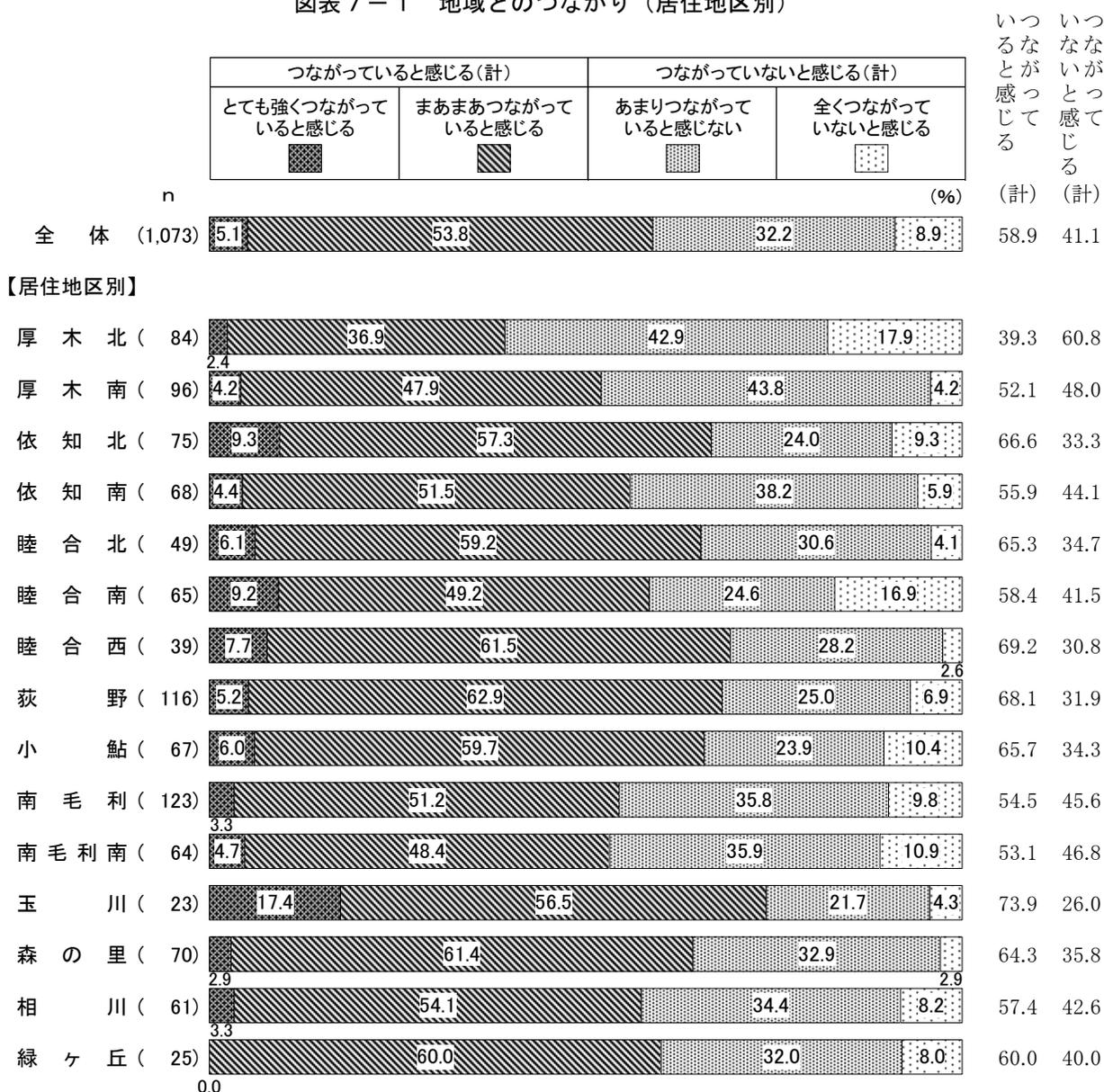
◇地域とのつながりについて、『つながっていると感じる(計)』が58.9%

地域とのつながりについて、「とても強くつながっていると感じる」(5.1%)と「まあまあつながっていると感じる」(53.8%)を合わせた『つながっていると感じる(計)』は58.9%となっている。一方、「あまりつながっていると感じない」(32.2%)と「全くつながっていないと感じる」(8.9%)を合わせた『つながっていないと感じる(計)』は41.1%となっている。

◇居住地区別では、『つながっていると感じる(計)』は玉川地区で73.9%と最も高い

居住地区別でみると、地域とのつながりについて、『つながっていると感じる(計)』は、玉川地区で73.9%と最も高く、次いで睦合西地区で69.2%となっている。一方、『つながっていないと感じる(計)』は、厚木北地区で60.8%と最も高く、次いで厚木南地区で48.0%となっている。

図表7-1 地域とのつながり(居住地区別)

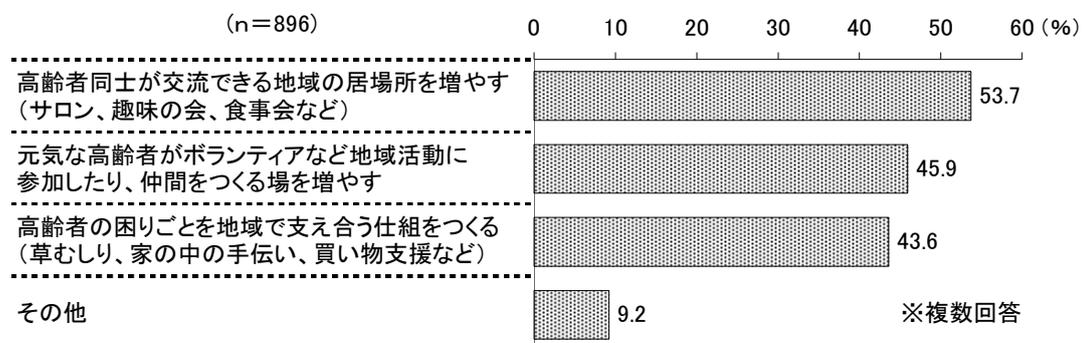


(2) 地域で高齢者がいきいきと暮らすために大切な取組

◇地域で高齢者がいきいきと暮らすために大切な取組は、「高齢者同士が交流できる地域の居場所を増やす（サロン、趣味の会、食事会など）」が53.7%で最も高い

地域で高齢者がいきいきと暮らすために大切な取組は、「高齢者同士が交流できる地域の居場所を増やす（サロン、趣味の会、食事会など）」が53.7%で最も高く、次いで「元気な高齢者がボランティアなど地域活動に参加したり、仲間をつくる場を増やす」が45.9%、「高齢者の困りごとを地域で支え合う仕組みをつくる（草むしり、家の中の手伝い、買い物支援など）」が43.6%となっている。

図表7-2 地域で高齢者がいきいきと暮らすために大切な取組

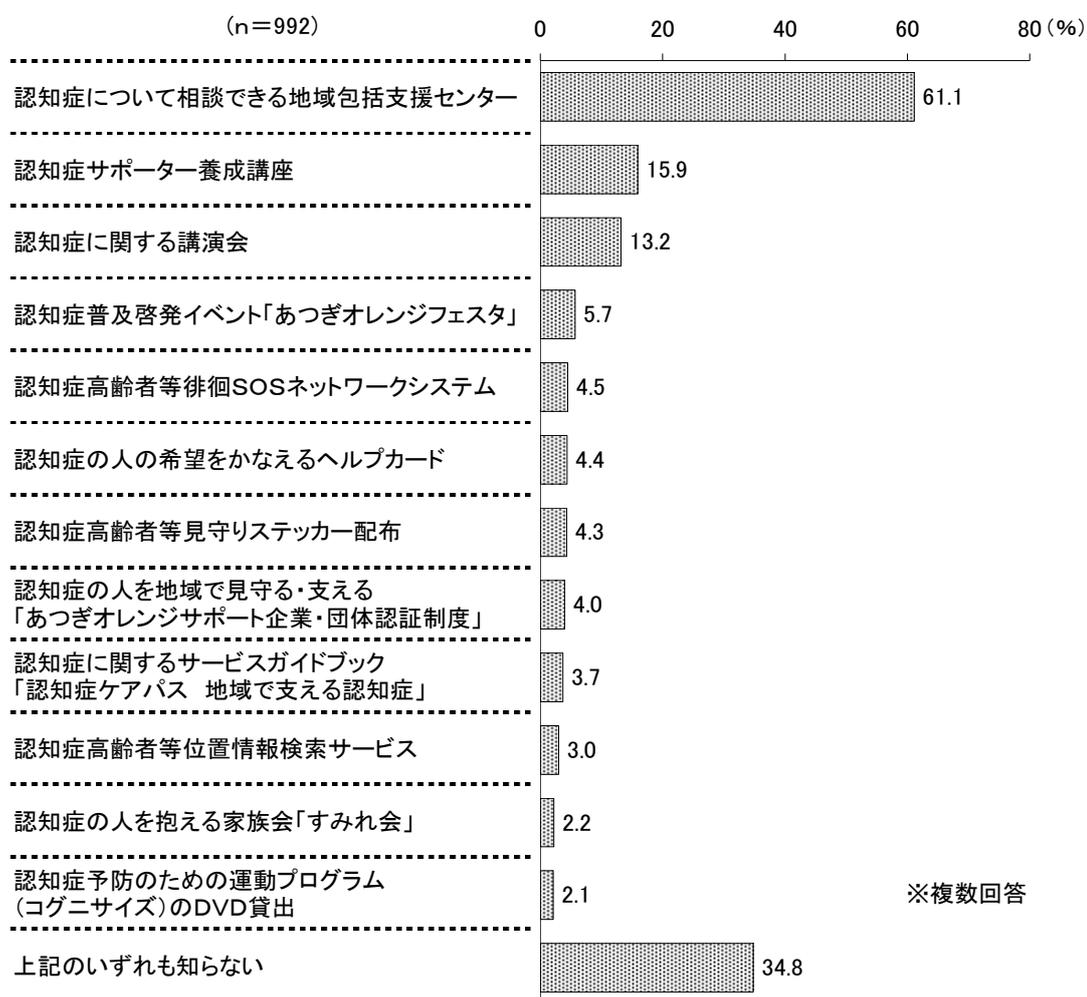


(3) 市が実施している認知症に関する取組の認知状況

◇市が実施している認知症に関する取組の認知状況は、「認知症について相談できる地域包括支援センター」が61.1%で最も高い

市が実施している認知症に関する取組の認知状況は、「認知症について相談できる地域包括支援センター」が61.1%で最も高く、次いで「認知症サポーター養成講座」が15.9%、「認知症に関する講演会」が13.2%となっている。

図表 7-3 市が実施している認知症に関する取組の認知状況



8. 自転車の利用に関する意識と事故やけがの状況

(1) 自転車の利用状況

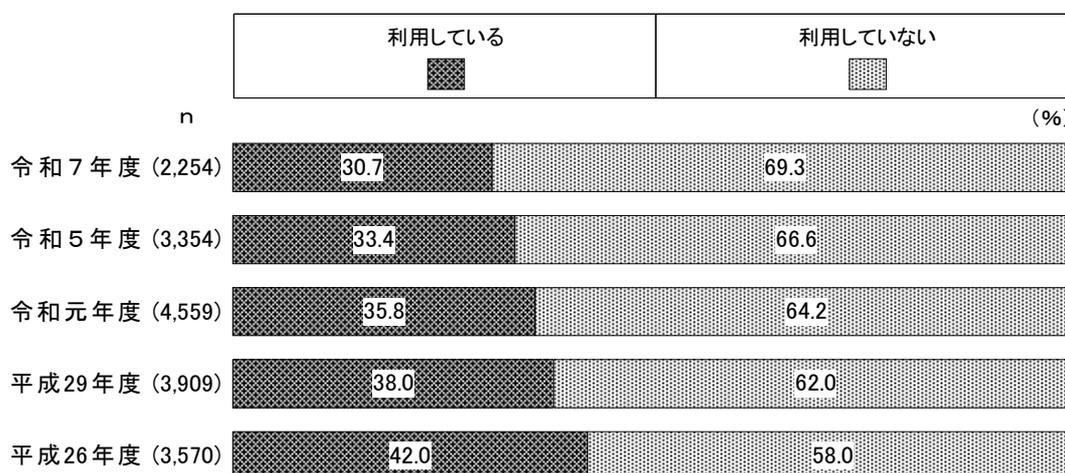
◇自転車を「利用している」が30.7%

自転車の利用状況は、「利用している」が30.7%、「利用していない」は69.3%となっている。過年度調査と比較すると、「利用していない」は平成26年度調査以降増加傾向にあり、令和5年度調査より2.7ポイント増加している。

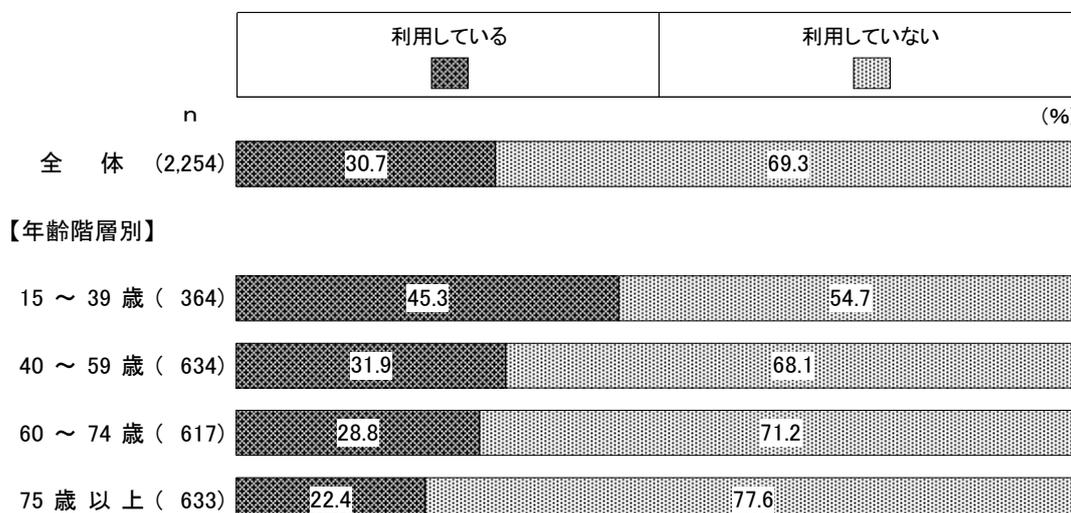
◇自転車を「利用している」は、年齢階層が下がるほど割合が高い

年齢階層別でみると、「利用している」は年齢階層が下がるほど割合が高く、15～39歳で45.3%と高くなっている。

図表8-1 自転車の利用状況（経年比較）



図表8-2 自転車の利用状況（年齢階層別）



(2) 自転車の利用目的

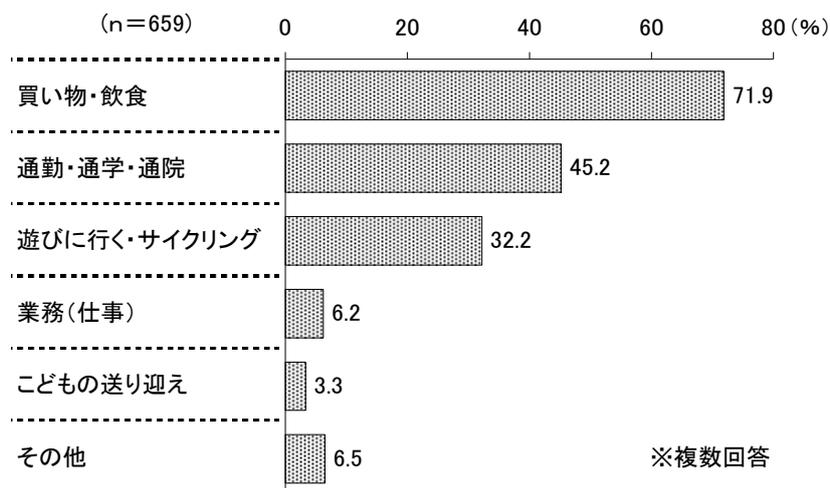
◇自転車の利用目的は「買い物・飲食」が71.9%で最も高い

自転車の利用目的は、「買い物・飲食」が71.9%で最も高く、次いで「通勤・通学・通院」が45.2%、「遊びに行く・サイクリング」が32.2%となっている。

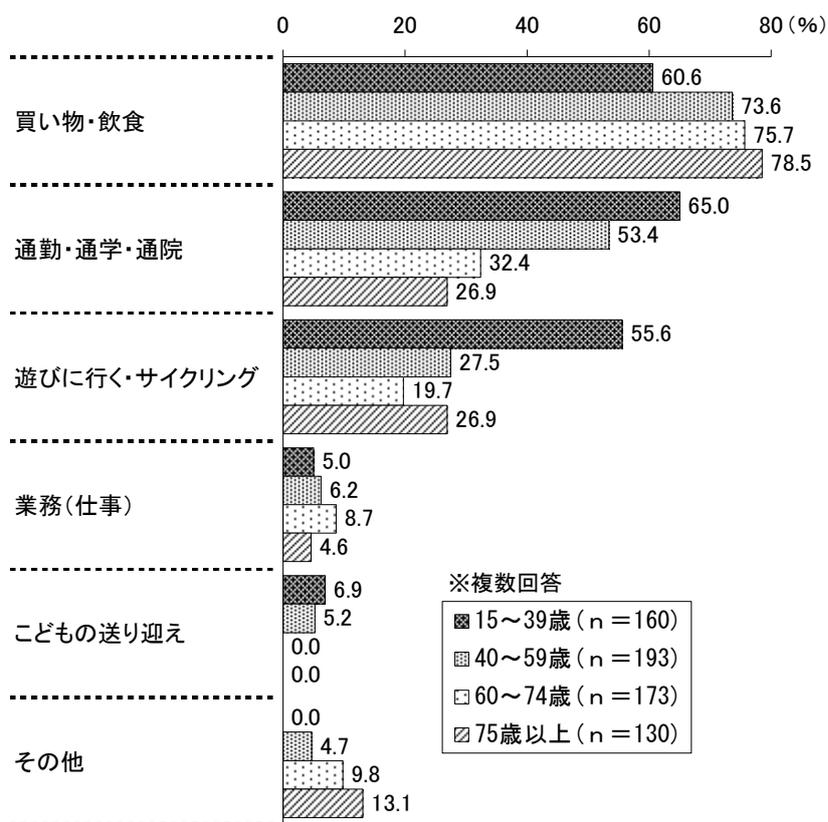
◇「買い物・飲食」は年齢階層が上がるほど割合が高く、「通勤・通学・通院」は年齢階層が下がるほど割合が高い

年齢階層別で見ると、自転車の利用目的は、「買い物・飲食」は年齢階層が上がるほど割合が高く、75歳以上で78.5%と高くなっている。一方、「通勤・通学・通院」は年齢階層が下がるほど割合が高く、15～39歳で65.0%と高くなっている。

図表8-3 自転車の利用目的（経年比較）



図表 8-4 自転車の利用目的（年齢階層別）



(3) 自転車利用時のルールの認知と実行状況

◇自転車利用時のルールの認知状況は、「自転車は車の仲間である」が93.2%で最も高い

自転車利用時のルールの認知状況は、「自転車は車の仲間である」が93.2%で最も高く、次いで「自転車は車道が原則で、左側を通行する」が87.4%、「自分が自転車を利用するときはヘルメットを着用する」が84.9%となっている。

◇自転車利用時のルールの実行状況は、「夜間はライトを点灯する」が92.2%で最も高い

自転車利用時のルールの実行状況は、「夜間はライトを点灯する」が92.2%で最も高く、次いで「飲酒運転は禁止」と「自転車を運転しながらスマホを操作してはいけない」がともに85.8%となっている。

◇年齢層により、ルールの認知、実行状況の傾向が異なる

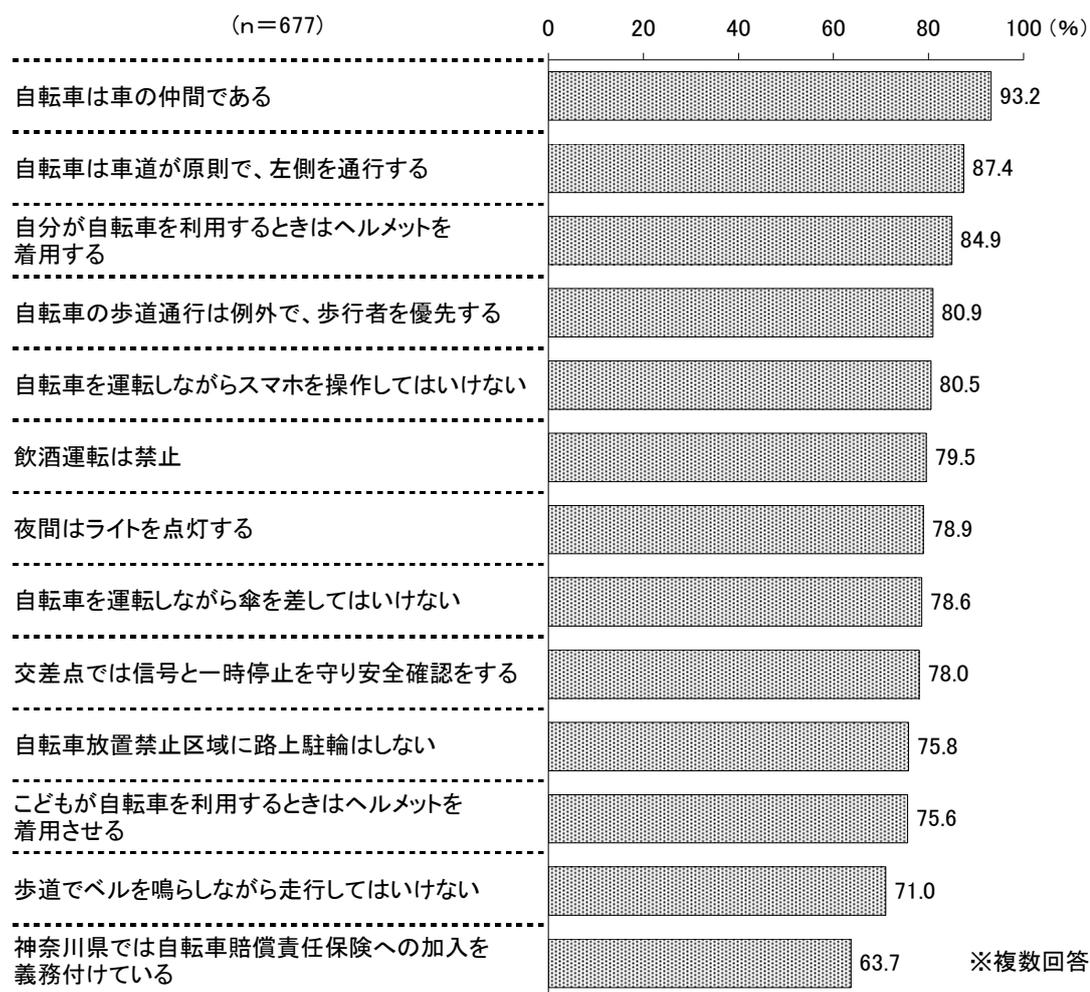
年齢階層別でみると、自転車利用時のルールの認知状況は、「自転車は車の仲間である」は年齢階層が下がるほど割合が高くなっている。一方、「自転車を運転しながらスマホを操作してはいけない」、「自転車を運転しながら傘を差してはいけない」、「交差点では信号と一時停止を守り安全確認をする」、「自転車放置禁止区域に路上駐輪はしない」、「歩道でベルを鳴らしながら走行してはいけない」は年齢階層が上がるほど割合が高くなっている。

また、自転車利用時のルールの実行状況は、「歩道でベルを鳴らしながら走行してはいけない」と「神奈川県では自転車賠償責任保険への加入を義務付けている」は年齢階層が下がるほど割合が高くなっている。

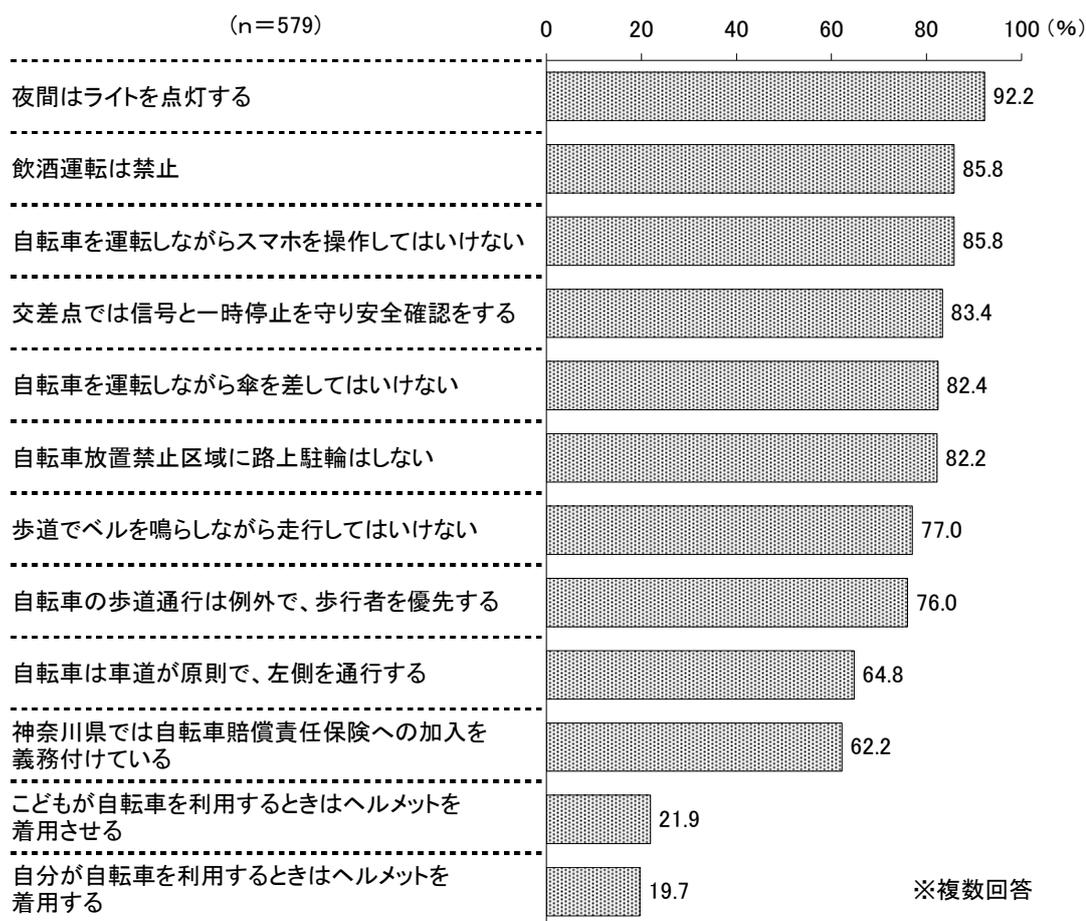
◇自転車利用時のルールで、知っているが、実行していないルールは、「自分が自転車を利用するときはヘルメットを着用する」が72.5%で最も高い

自転車利用時のルールで、知っているが、実行していないルールは、「自分が自転車を利用するときはヘルメットを着用する」が72.5%で最も高く、次いで「こどもが自転車を利用するときはヘルメットを着用させる」が60.7%、「自転車は車道が原則で、左側を通行する」が43.3%となっている。

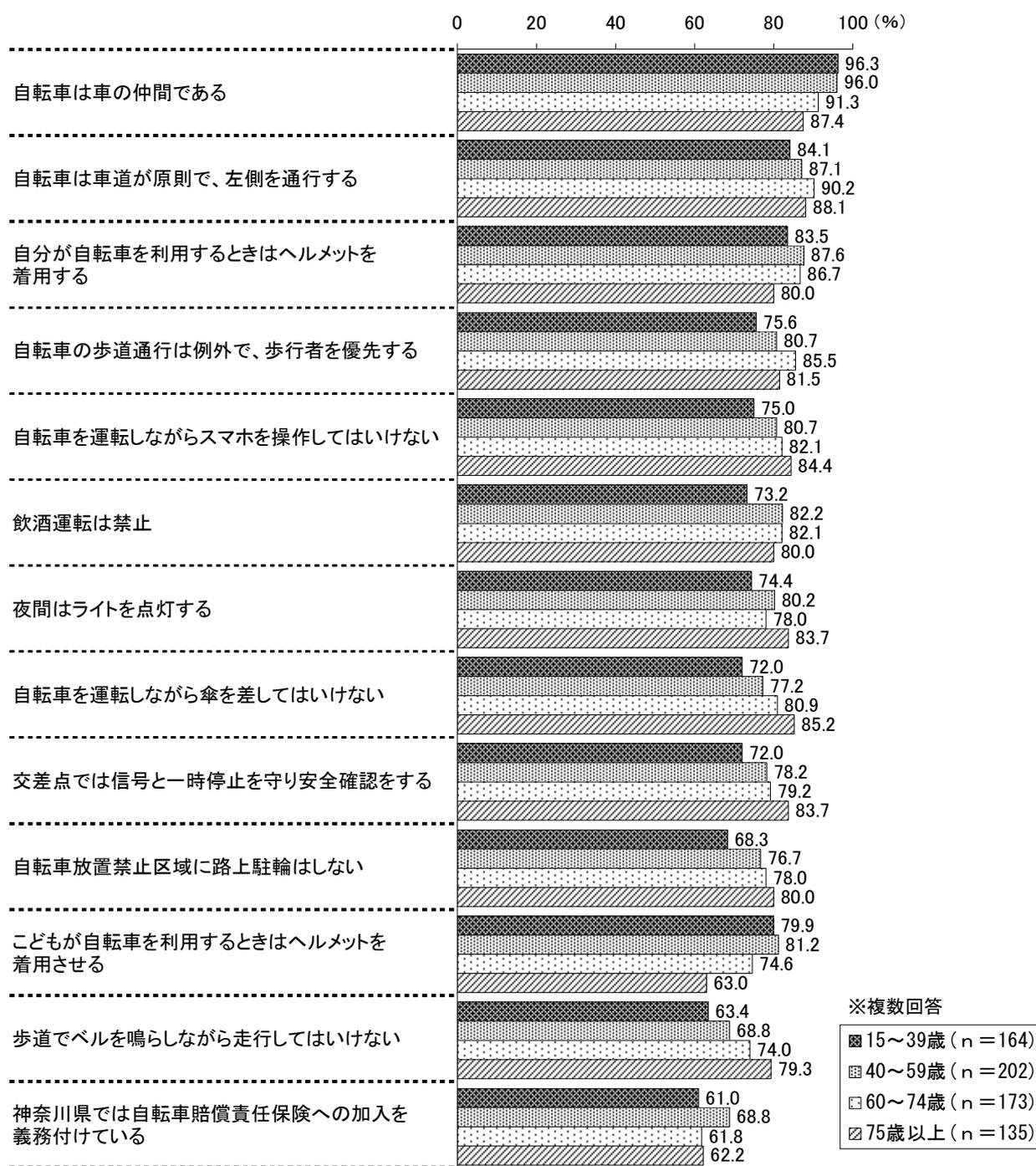
図表 8 - 5 自転車利用時のルールの認知状況



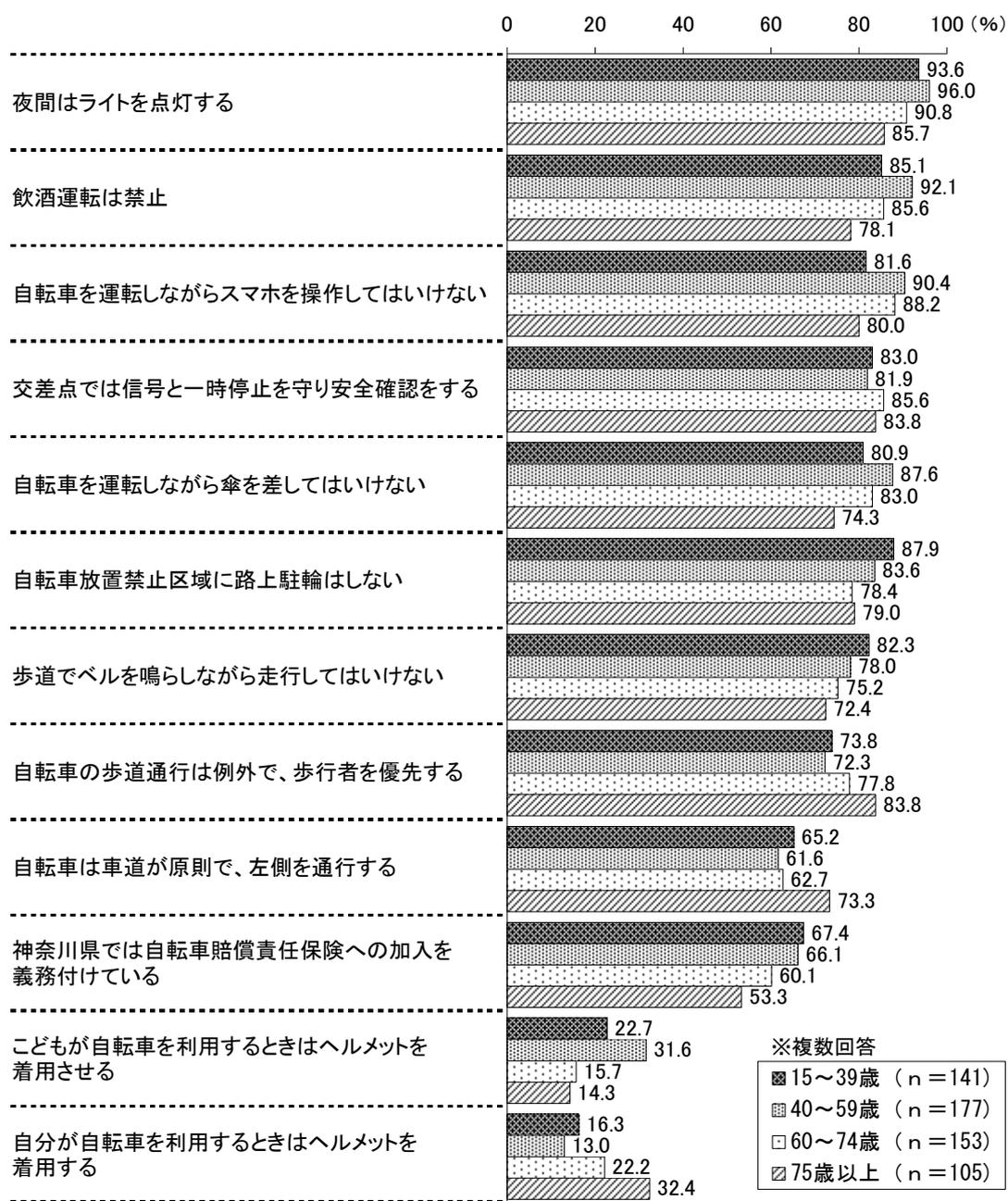
図表 8 - 6 自転車利用時のルールの実行状況



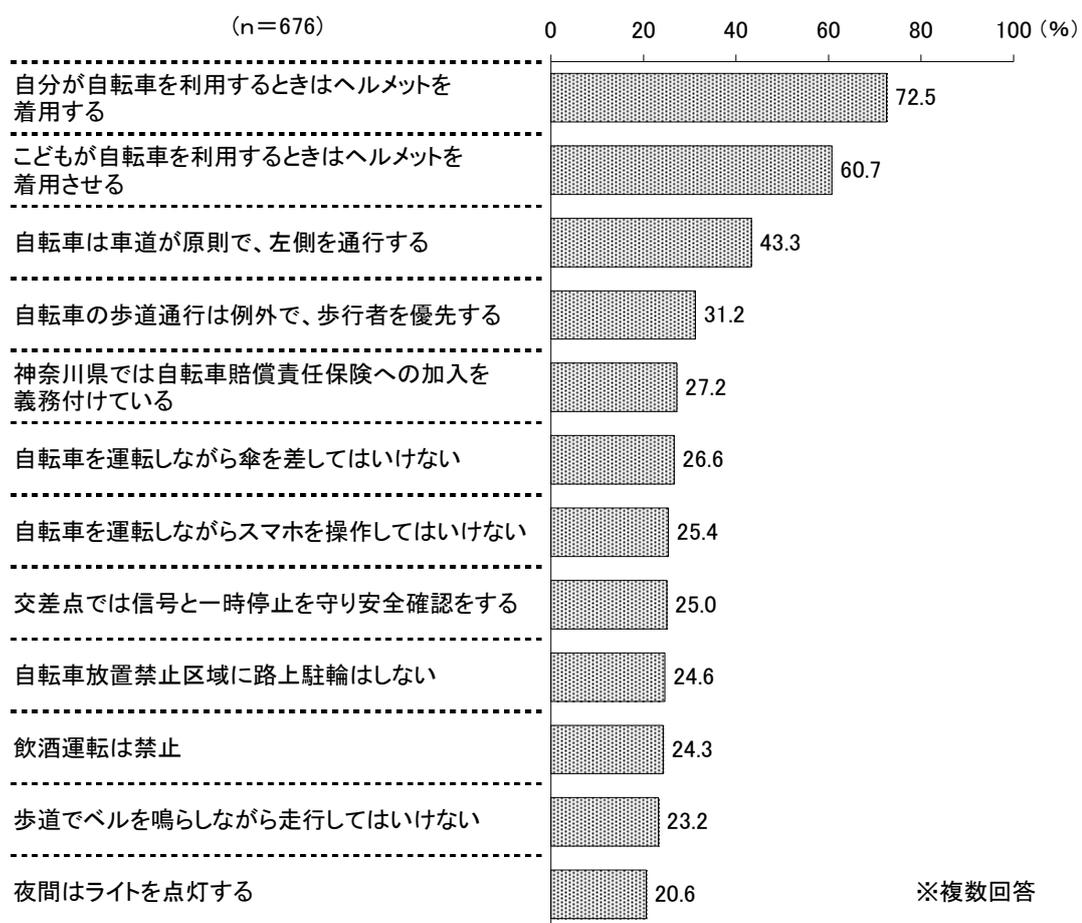
図表 8-7 自転車利用時のルール認知状況 (年齢階層別)



図表 8-8 自転車利用時のルールの実行状況（年齢階層別）



図表 8-9 自転車利用時のルール認知と実行状況（「知っているが、実行していないルール」）



(4) 自転車利用時に感じる不安や危険

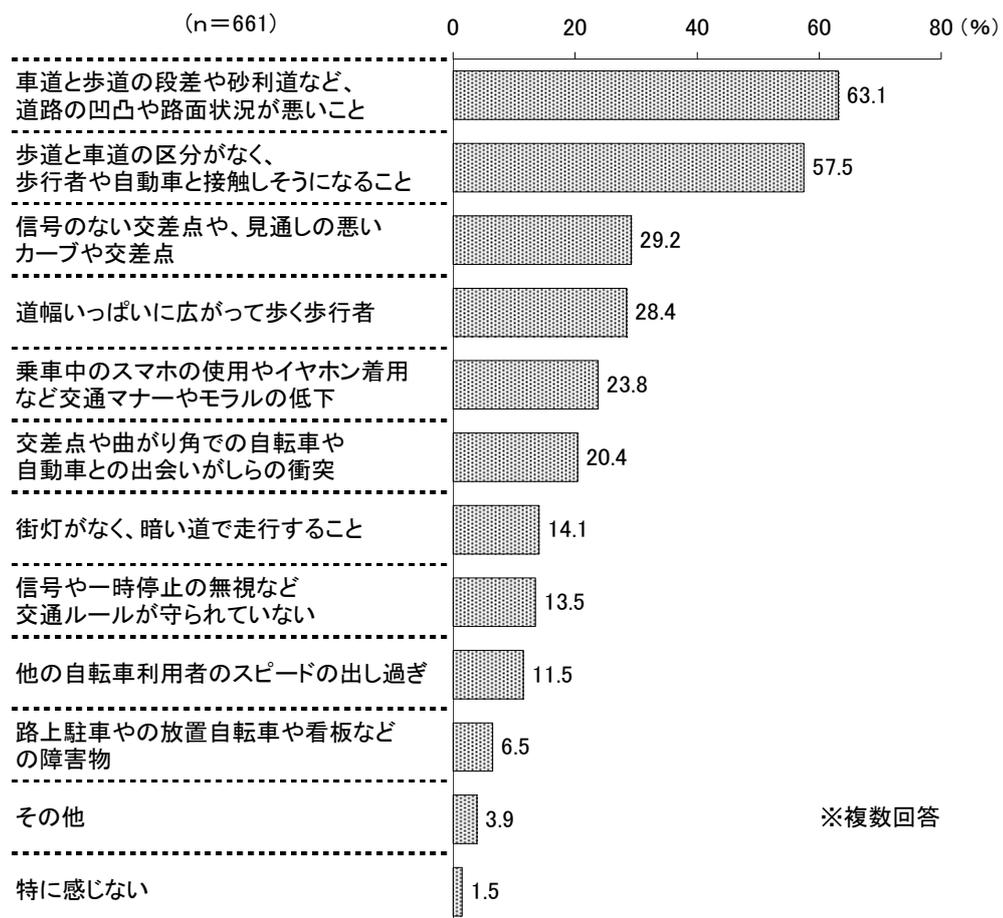
◇自転車利用時に感じる不安や危険は、「車道と歩道の段差や砂利道など、道路の凹凸や路面状況が悪いこと」が63.1%で最も高い

自転車利用時に感じる不安や危険は、「車道と歩道の段差や砂利道など、道路の凹凸や路面状況が悪いこと」が63.1%で最も高く、次いで「歩道と車道の区分がなく、歩行者や自動車と接触しそうになること」が57.5%、「信号のない交差点や、見通しの悪いカーブや交差点」が29.2%となっている。

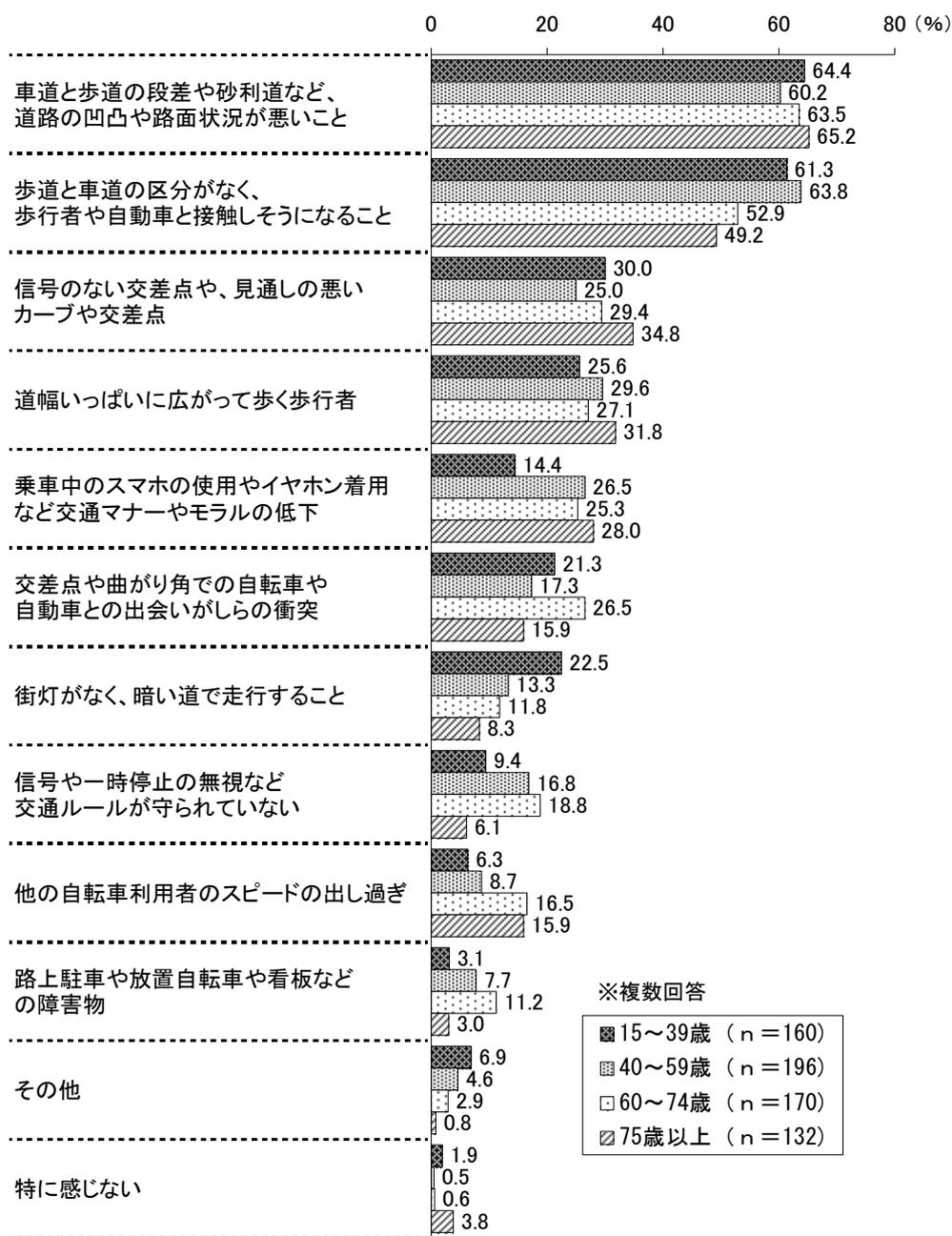
◇年齢層により、自転車利用時に感じる不安や危険の傾向が異なる

年齢階層別でみると、自転車利用時に感じる不安や危険は、「街灯がなく、暗い道で走行すること」は年齢階層が下がるほど割合が高くなっている。

図表 8-10 自転車利用時に感じる不安や危険



図表 8-11 自転車利用時に感じる不安や危険（年齢階層別）



(5) 自転車利用時のけがや事故の経験

◇過去5年間の自転車利用時のけがや事故の経験がある人は18.3%

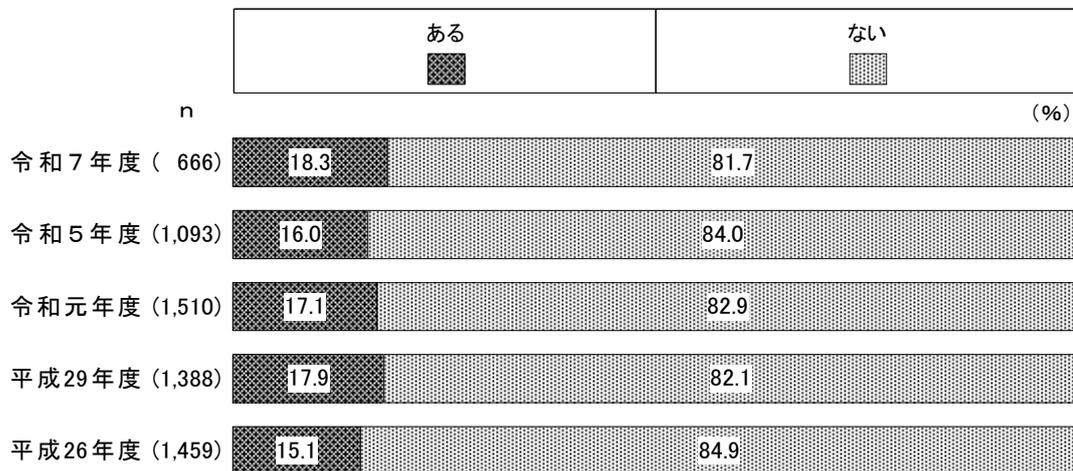
過去5年間の自転車利用時のけがや事故の経験は、「ある」が18.3%、「ない」は81.7%となっている。

過年度調査と比較すると、「ある」は令和5年度調査より2.3ポイント高くなっている。

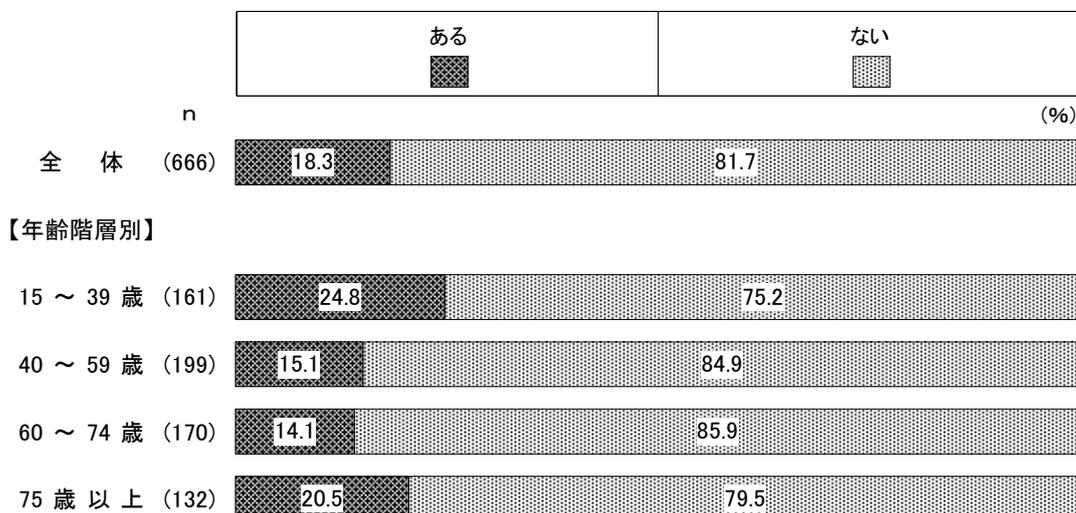
◇過去5年間の自転車利用時のけがや事故の経験がある人は、15～39歳で24.8%と最も高い

年齢階層別でみると、自転車利用時のけがや事故の経験がある人は、15～39歳で24.8%と最も高く、次いで75歳以上で20.5%となっている。一方、自転車利用時のけがや事故の経験がない人は、60～74歳で85.9%と最も高くなっている。

図表8-12 自転車利用時のけがや事故の経験（経年比較）



図表8-13 自転車利用時のけがや事故の経験（年齢階層別）



(6) 自転車利用時のけがや事故の状況と原因

◇自転車利用時のけがや事故の状況は、「自分だけ転倒した」が71.6%で最も高い

◇「自分だけ転倒した」は75歳以上で83.3%と最も高い

自転車利用時のけがや事故の状況は、「自分だけ転倒した」が71.6%で最も高く、次いで「自動車やバイクと接触・衝突した」が12.1%、「自転車同士で接触・衝突した」が9.5%となっている。

令和5年度調査と比較すると、「自動車やバイクと接触・衝突した」は3.6ポイント減少している。

年齢階層別でみると、「自分だけ転倒した」は75歳以上で83.3%と最も高く、次いで15～39歳で74.4%となっている。「自動車やバイクと接触・衝突した」は40～59歳で20.0%と最も高くなっている。

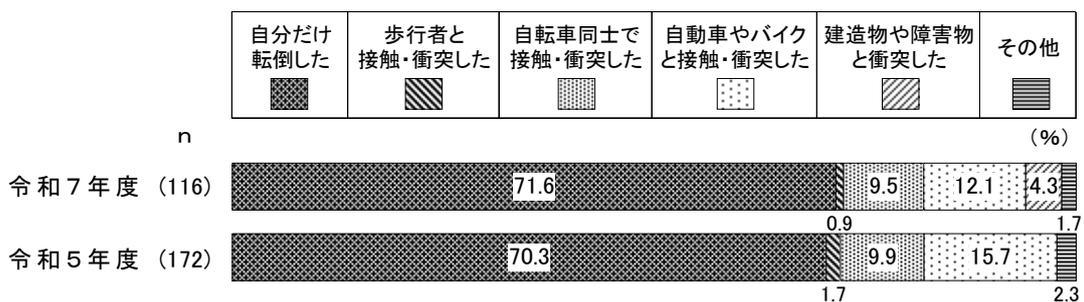
◇自転車利用時のけがや事故がおきた原因は、「道路の状況が悪かった（段差、凹凸、狭いなど）」が54.0%で最も高い

◇「道路の状況が悪かった（段差、凹凸、狭いなど）」は75歳以上で72.7%と最も高い

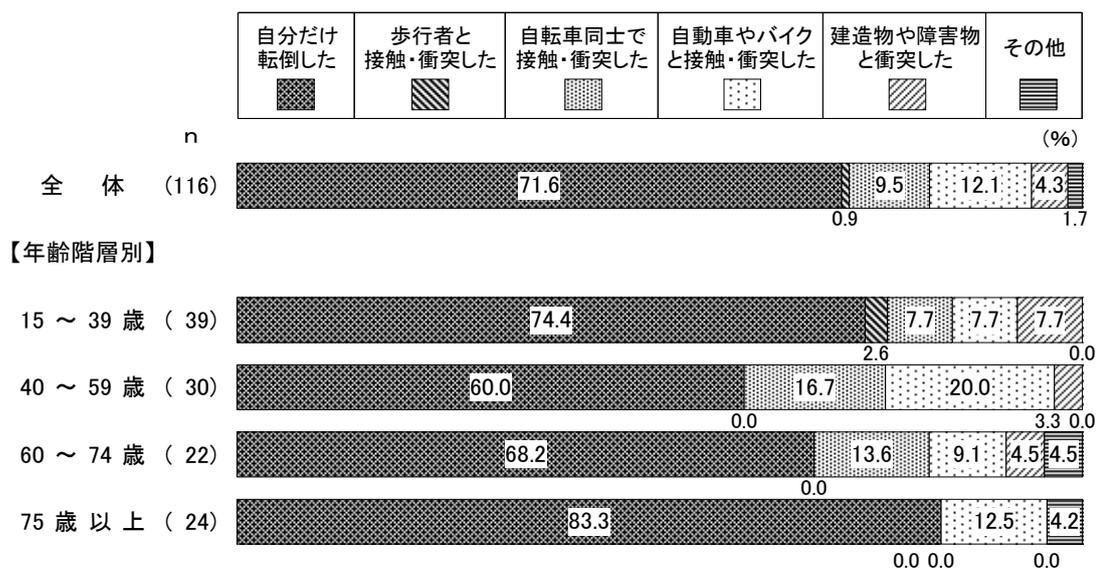
自転車利用時のけがや事故がおきた原因は、「道路の状況が悪かった（段差、凹凸、狭いなど）」が54.0%で最も高く、次いで「交差点や曲がり角での出会いがしらの衝突」と「悪天候による路面不良（雨、雪、凍結など）」がともに15.0%となっている。

年齢階層別でみると、「道路の状況が悪かった（段差、凹凸、狭いなど）」は75歳以上で72.7%と最も高く、次いで60～74歳で68.2%となっている。「交差点や曲がり角での出会いがしらの衝突」は60～74歳で27.3%と最も高くなっている。

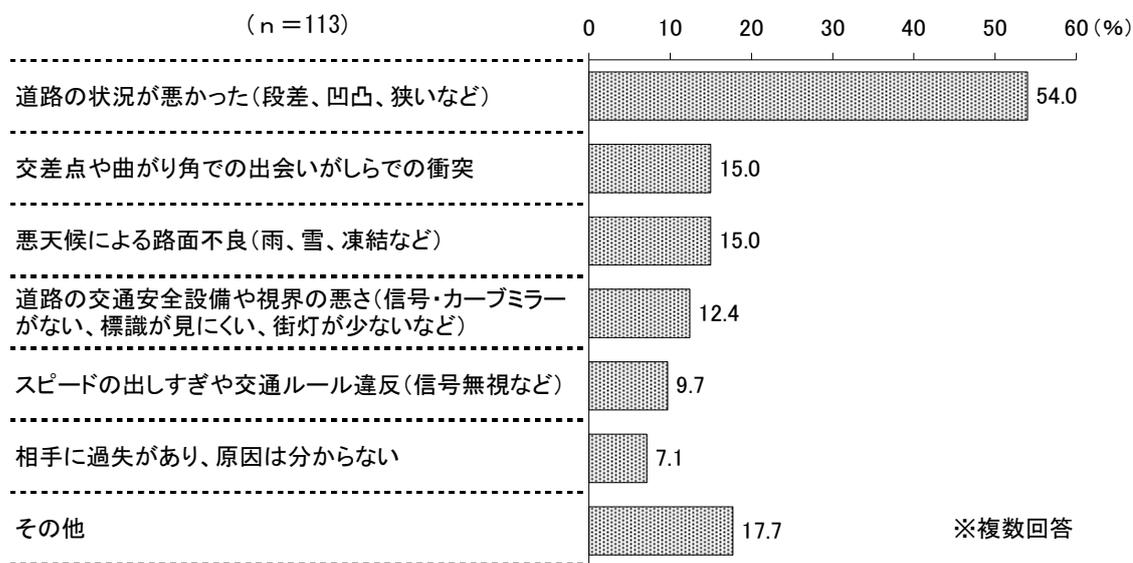
図表8-14 自転車利用時のけがや事故の状況（経年比較）



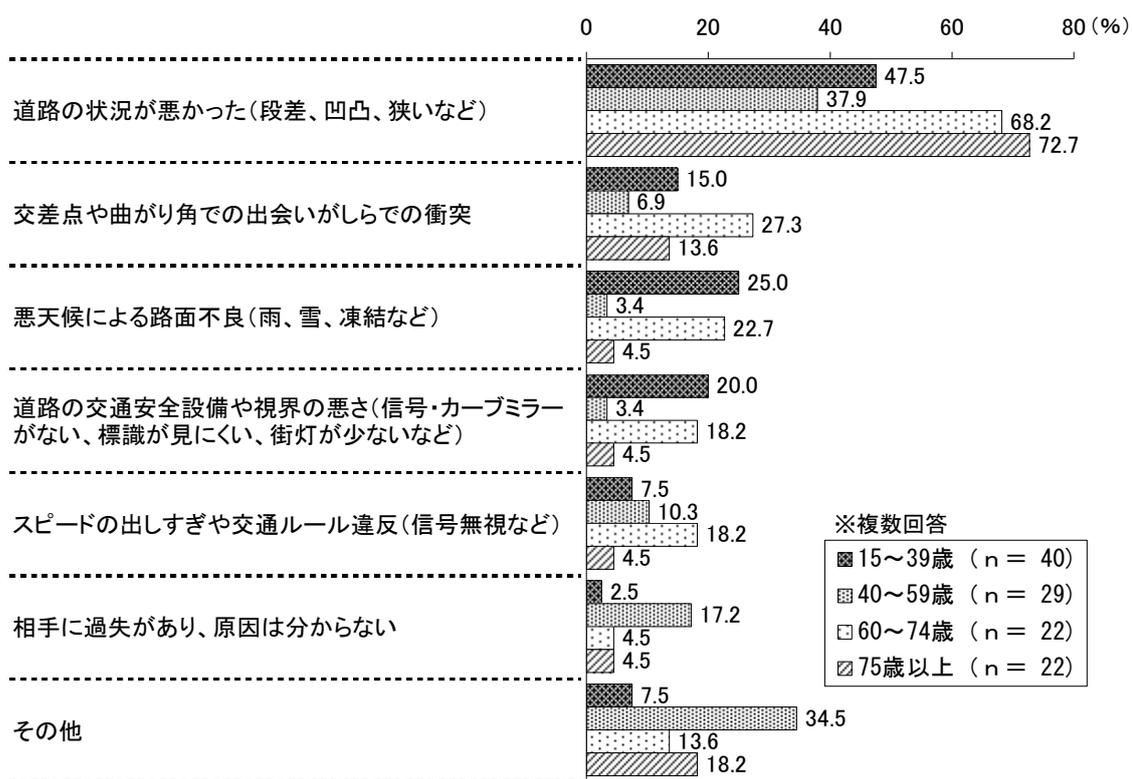
図表 8-15 自転車利用時のけがや事故の状況（年齢階層別）



図表 8-16 自転車利用時のけがや事故がおきた原因



図表 8-17 自転車利用時のけがや事故がおきた原因（年齢階層別）



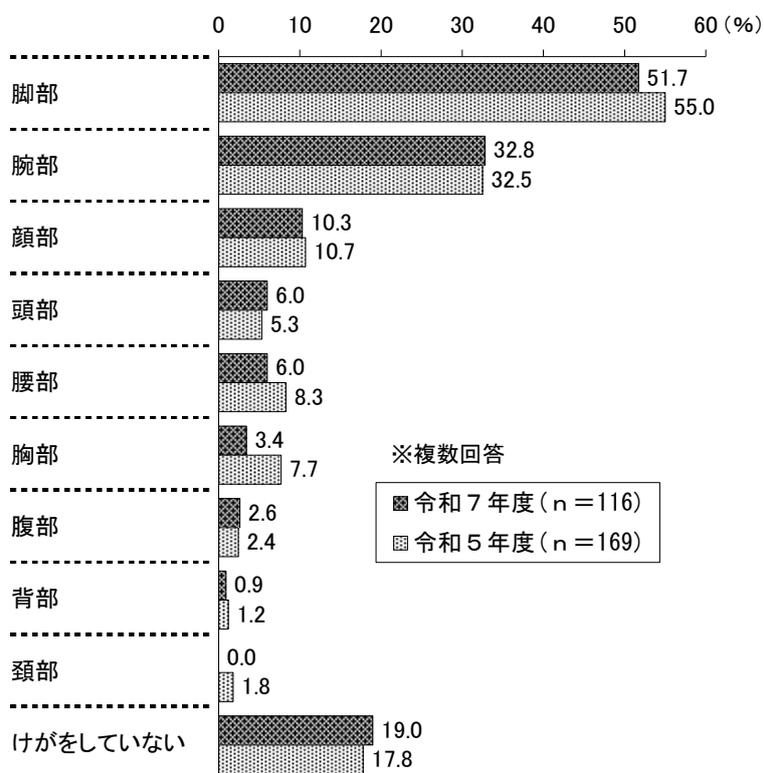
(7) 自転車利用時にけがをした体の箇所

◇自転車利用時にけがをした体の箇所は、「脚部」が51.7%で最も高い

自転車利用時にけがをした体の箇所は、「脚部」が51.7%で最も高く、次いで「腕部」が32.8%、「顔部」が10.3%となっている。

令和5年度調査と比較すると、「胸部」は4.3ポイント、「脚部」は3.3ポイント、それぞれ減少している。

図表 8-18 自転車利用時にけがをした体の箇所（経年比較）



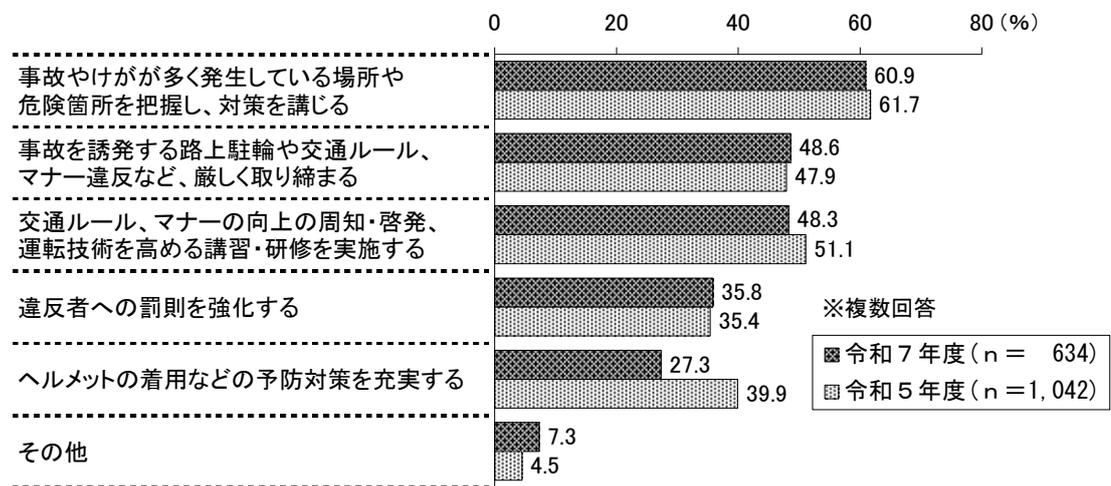
(8) 自転車利用の不安や危険を改善するために必要なこと

◇自転車利用の不安や危険を改善するために必要なことは、「事故やけがが多く発生している場所や危険箇所を把握し、対策を講じる」が60.9%で最も高い

自転車利用の不安や危険を改善するために必要なことは、「事故やけがが多く発生している場所や危険箇所を把握し、対策を講じる」が60.9%で最も高く、次いで「事故を誘発する路上駐輪や交通ルール、マナー違反など、厳しく取り締まる」が48.6%、「交通ルール、マナーの向上の周知・啓発、運転技術を高める講習・研修を実施する」が48.3%となっている。

令和5年度調査と比較すると、「交通ルール、マナーの向上の周知・啓発、運転技術を高める講習・研修を実施する」は2.8ポイント減少している。

図表8-19 自転車利用の不安や危険を改善するために必要なこと（経年比較）



※「ヘルメットの着用などの予防対策を充実する」は、令和5年度では「ヘルメットの着用や鍵かけなどの予防対策を充実する」

9. 災害についての意識

(1) 家庭で不安を感じる自然災害

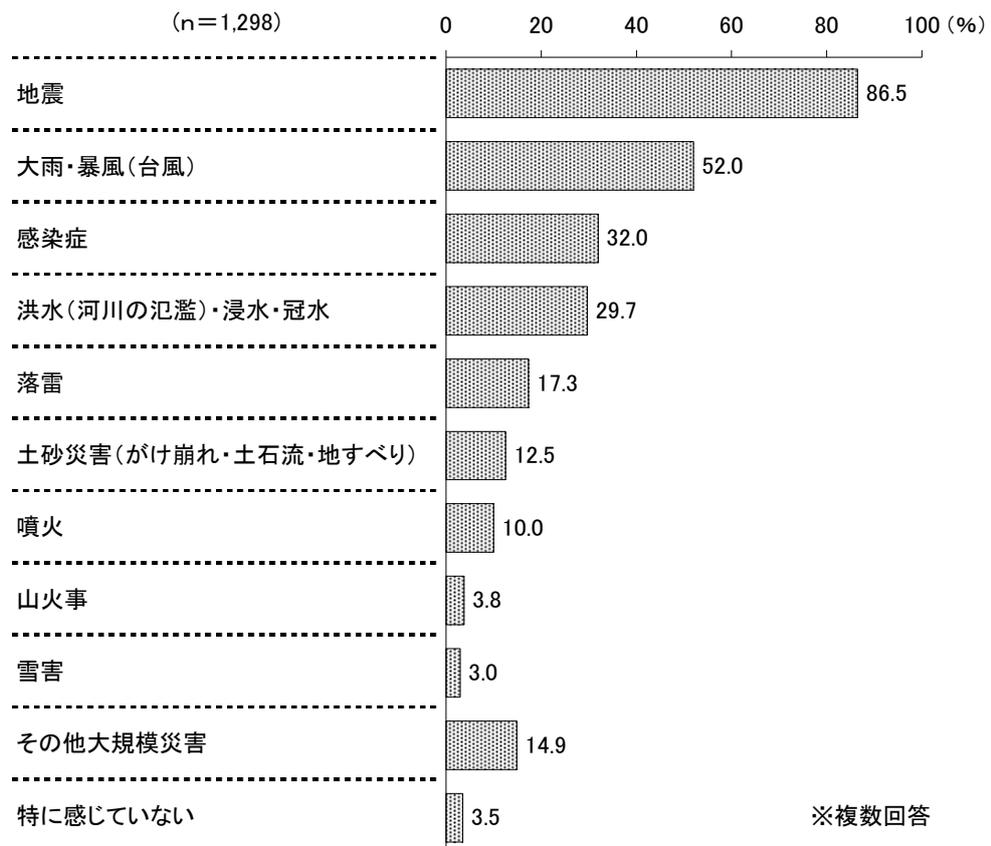
◇家庭で不安を感じる自然災害は、「地震」が86.5%で最も高い

家庭で不安を感じる自然災害は、「地震」が86.5%で最も高く、次いで「大雨・暴風（台風）」が52.0%、「感染症」が32.0%となっている。

◇居住地区別では、「地震」は睦合西地区で91.9%と最も高く、「大雨・暴風（台風）」でも睦合西地区で69.4%と最も高い

居住地区別でみると、家庭で不安を感じる自然災害は、「地震」が睦合西地区で91.9%と最も高く、「大雨・暴風（台風）」でも睦合西地区で69.4%と最も高くなっている。「洪水（河川の氾濫）・浸水・冠水」は相川地区で64.3%と最も高く、次いで厚木南地区で52.9%となっている。

図表 9-1 家庭で不安を感じる自然災害



図表9-2 家庭で不安を感じる自然災害（居住地区別）

		※複数回答 (%)											
		n	地震	大雨・暴風（台風）	感染症	洪水（河川の氾濫） ・冠水	落雷	土石流・地すべり ・がけ崩れ	噴火	山火事	雪害	その他大規模災害	特に感じていない
全 体		1,298	86.5	52.0	32.0	29.7	17.3	12.5	10.0	3.8	3.0	14.9	3.5
居 住 地 区 別	厚 木 北	141	87.9	50.4	25.5	45.4	12.1	4.3	11.3	1.4	1.4	14.2	5.0
	厚 木 南	140	90.7	47.1	30.0	52.9	15.7	3.6	10.7	-	0.7	15.0	2.1
	依 知 北	79	88.6	55.7	30.4	13.9	20.3	10.1	13.9	1.3	2.5	22.8	1.3
	依 知 南	67	82.1	53.7	35.8	28.4	22.4	9.0	7.5	4.5	4.5	19.4	6.0
	睦 合 北	52	88.5	57.7	34.6	21.2	19.2	13.5	9.6	1.9	1.9	11.5	3.8
	睦 合 南	82	84.1	46.3	35.4	50.0	11.0	1.2	9.8	-	-	17.1	2.4
	睦 合 西	62	91.9	69.4	33.9	30.6	22.6	12.9	8.1	-	3.2	22.6	1.6
	荻 野	125	82.4	52.0	30.4	7.2	20.0	24.0	5.6	7.2	2.4	8.8	5.6
	小 鮎	74	81.1	51.4	39.2	17.6	18.9	23.0	16.2	10.8	6.8	14.9	1.4
	南 毛 利	189	89.4	54.0	30.7	24.3	20.6	16.9	9.5	3.2	3.7	17.5	2.1
	南 毛 利 南	63	87.3	50.8	41.3	22.2	15.9	15.9	9.5	1.6	4.8	14.3	4.8
	玉 川	30	73.3	53.3	20.0	13.3	10.0	33.3	3.3	13.3	3.3	6.7	6.7
	森 の 里	58	84.5	50.0	37.9	1.7	15.5	25.9	19.0	20.7	3.4	17.2	5.2
	相 川	70	90.0	55.7	32.9	64.3	14.3	1.4	4.3	-	2.9	5.7	-
緑 ケ 丘	38	86.8	36.8	34.2	5.3	23.7	10.5	13.2	2.6	10.5	13.2	7.9	

(2) 家庭で重要だと思う災害時の対策や備え

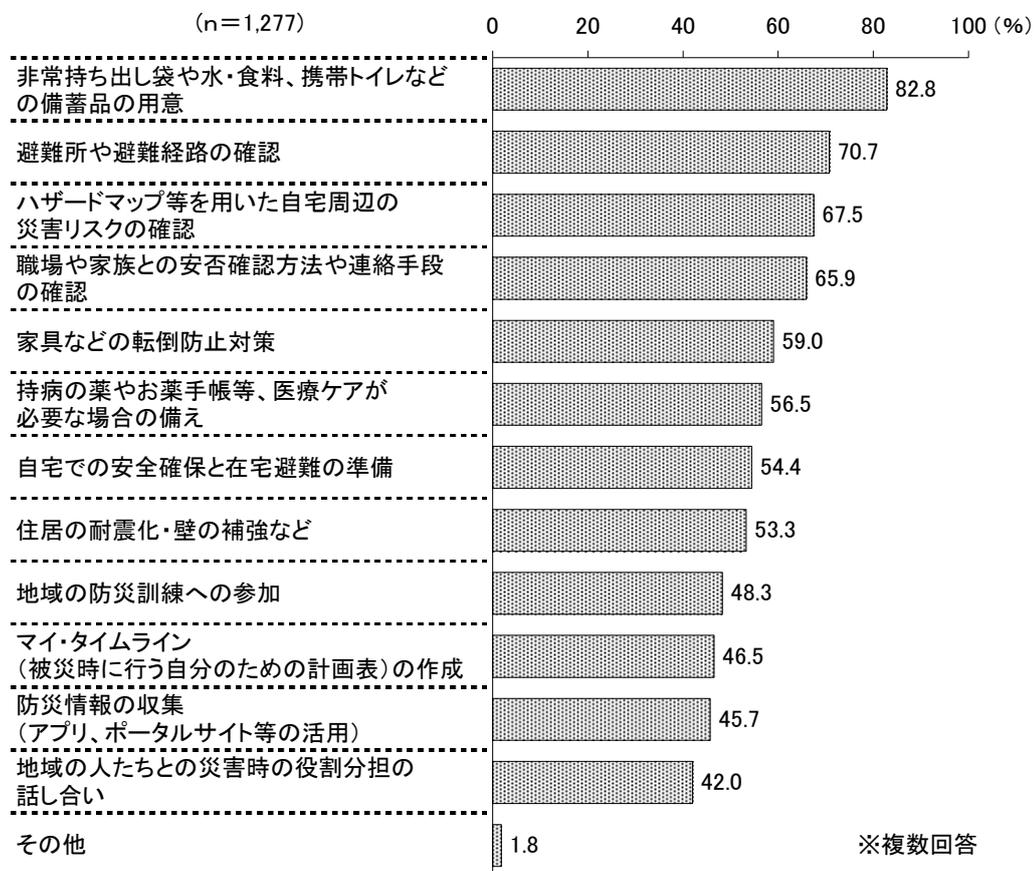
◇家庭で重要だと思う災害時の対策や備えは、「非常持ち出し袋や水・食料、携帯トイレなどの備蓄品の用意」が82.8%で最も高い

家庭で重要だと思う災害時の対策や備えは、「非常持ち出し袋や水・食料、携帯トイレなどの備蓄品の用意」が82.8%で最も高く、次いで「避難所や避難経路の確認」が70.7%、「ハザードマップ等を用いた自宅周辺の災害リスクの確認」が67.5%となっている。

◇居住地区別では、「非常持ち出し袋や水・食料、携帯トイレなどの備蓄品の用意」は玉川地区で90.0%と最も高く、「ハザードマップ等を用いた自宅周辺の災害リスクの確認」は睦合西地区で83.1%と最も高い

居住地区別でみると、家庭で重要だと思う災害時の対策や備えは、「非常持ち出し袋や水・食料、携帯トイレなどの備蓄品の用意」が玉川地区で90.0%と最も高く、次いで睦合北地区で88.0%となっている。「避難所や避難経路の確認」は睦合西地区で79.7%と最も高く、「ハザードマップ等を用いた自宅周辺の災害リスクの確認」でも睦合西地区で83.1%と最も高くなっている。

図表9-3 家庭で重要だと思う災害時の対策や備え



図表 9-4 家庭で重要だと思う災害時の対策や備え（居住地区別）

		※複数回答 (%)													
		n	非常持ち出し袋や水・食料、携帯トイレなどの備蓄品の用意	避難所や避難経路の確認	ハザードマップ等を用いた自宅周辺の災害リスクの確認	職場や家族との安否確認方法や連絡手段の確認	家具などの転倒防止対策	持病の薬やお薬手帳等、医療ケアが必要な場合の備え	自宅での安全確保と在宅避難の準備	住居の耐震化・壁の補強など	地域の防災訓練への参加	マイ・タイムライン（被災時に行う自分のための計画表）の作成	防災情報の収集（アプリ、ポータルサイト等の活用）	地域の人たちとの災害時の役割分担の話し合い	その他
全 体		1,277	82.8	70.7	67.5	65.9	59.0	56.5	54.4	53.3	48.3	46.5	45.7	42.0	1.8
居 住 地 区 別	厚 木 北	135	81.5	68.9	74.1	68.1	57.8	51.1	52.6	48.1	48.1	44.4	43.7	36.3	-
	厚 木 南	141	84.4	78.0	68.1	70.9	68.8	66.7	63.8	64.5	57.4	46.1	46.8	51.1	4.3
	依 知 北	80	78.8	73.8	76.3	63.8	67.5	60.0	58.8	51.3	52.5	55.0	51.3	47.5	1.3
	依 知 南	65	78.5	72.3	66.2	75.4	56.9	58.5	58.5	55.4	46.2	49.2	52.3	41.5	1.5
	睦 合 北	50	88.0	64.0	66.0	60.0	58.0	52.0	54.0	56.0	42.0	34.0	42.0	34.0	-
	睦 合 南	82	84.1	64.6	56.1	64.6	56.1	61.0	50.0	51.2	51.2	46.3	41.5	45.1	1.2
	睦 合 西	59	84.7	79.7	83.1	71.2	71.2	69.5	67.8	69.5	59.3	61.0	69.5	57.6	3.4
	荻 野	123	85.4	74.8	67.5	64.2	58.5	56.1	54.5	56.9	48.8	52.0	50.4	46.3	3.3
	小 鮎	72	79.2	63.9	65.3	59.7	50.0	43.1	38.9	44.4	33.3	48.6	31.9	37.5	2.8
	南 毛 利	186	81.7	74.2	68.8	67.7	55.9	56.5	55.4	52.2	45.2	40.9	44.1	37.1	2.2
	南 毛 利 南	61	78.7	57.4	62.3	67.2	57.4	50.8	49.2	47.5	49.2	45.9	39.3	41.0	-
	玉 川	30	90.0	63.3	53.3	60.0	60.0	60.0	53.3	56.7	53.3	23.3	40.0	36.7	-
	森 の 里	56	87.5	76.8	73.2	62.5	51.8	60.7	48.2	51.8	51.8	53.6	42.9	42.9	-
	相 川	70	84.3	65.7	62.9	57.1	60.0	51.4	52.9	44.3	41.4	42.9	47.1	37.1	1.4
緑 ケ 丘	38	81.6	63.2	57.9	65.8	52.6	52.6	50.0	44.7	44.7	44.7	39.5	36.8	-	

(3) 家庭で実践している災害対策

◇家庭で実践している災害対策は、「非常持ち出し袋や水・食料、携帯トイレなどの備蓄品の用意」が71.0%で最も高い

家庭で実践している災害対策は、「非常持ち出し袋や水・食料、携帯トイレなどの備蓄品の用意」が71.0%で最も高く、次いで「ハザードマップ等を用いた自宅周辺の災害リスクの確認」が50.1%、「避難所や避難経路の確認」が48.9%となっている。

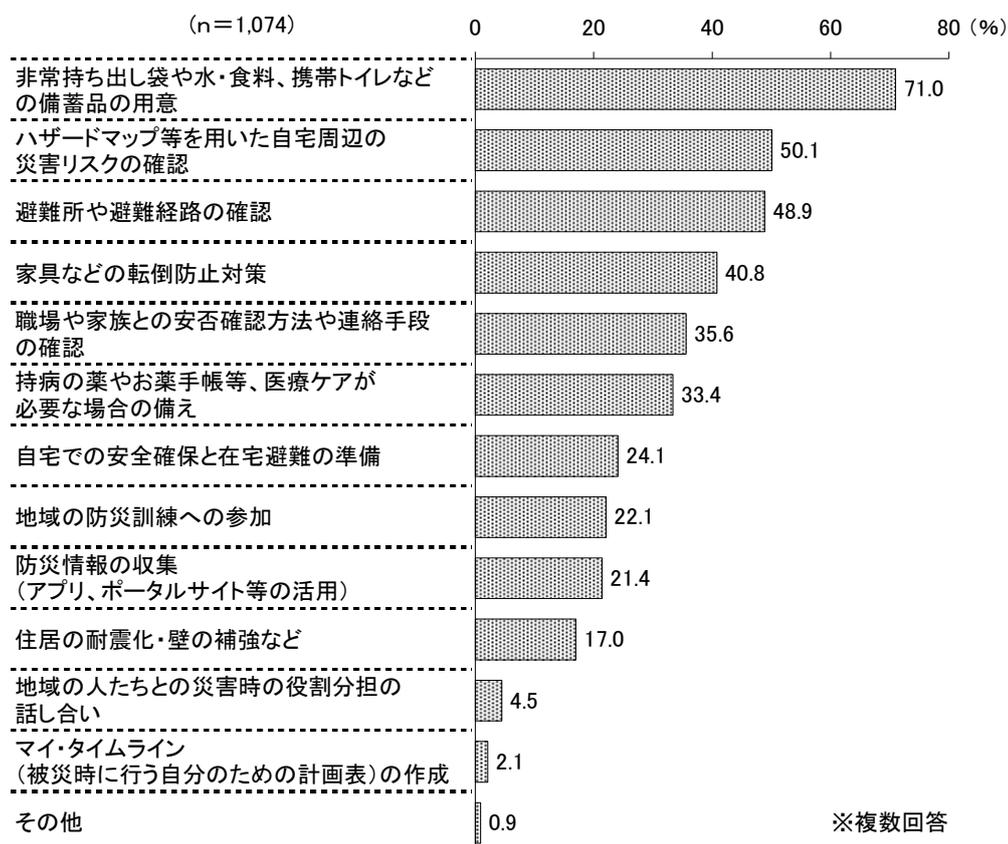
◇居住地区別では、「非常持ち出し袋や水・食料、携帯トイレなどの備蓄品の用意」は小鮎地区で83.9%と最も高く、「ハザードマップ等を用いた自宅周辺の災害リスクの確認」は南毛利南地区で66.7%と最も高い

居住地区別でみると、家庭で実践している災害対策は、「非常持ち出し袋や水・食料、携帯トイレなどの備蓄品の用意」が小鮎地区で83.9%と最も高く、次いで睦合北地区で82.6%となっている。「ハザードマップ等を用いた自宅周辺の災害リスクの確認」は南毛利南地区で66.7%と最も高く、「避難所や避難経路の確認」は睦合西地区で61.8%と最も高くなっている。

◇災害時の対策や備えとして重要だと思うが、実践していない災害対策は、「マイ・タイムライン（被災時に行う自分のための計画表）の作成」が50.0%で最も高い

災害時の対策や備えとして重要だと思うが、実践していない災害対策は、「マイ・タイムライン（被災時に行う自分のための計画表）の作成」が50.0%で最も高く、次いで「職場や家族との安否確認方法や連絡手段の確認」が47.7%、「住居の耐震化・壁の補強など」が47.3%となっている。

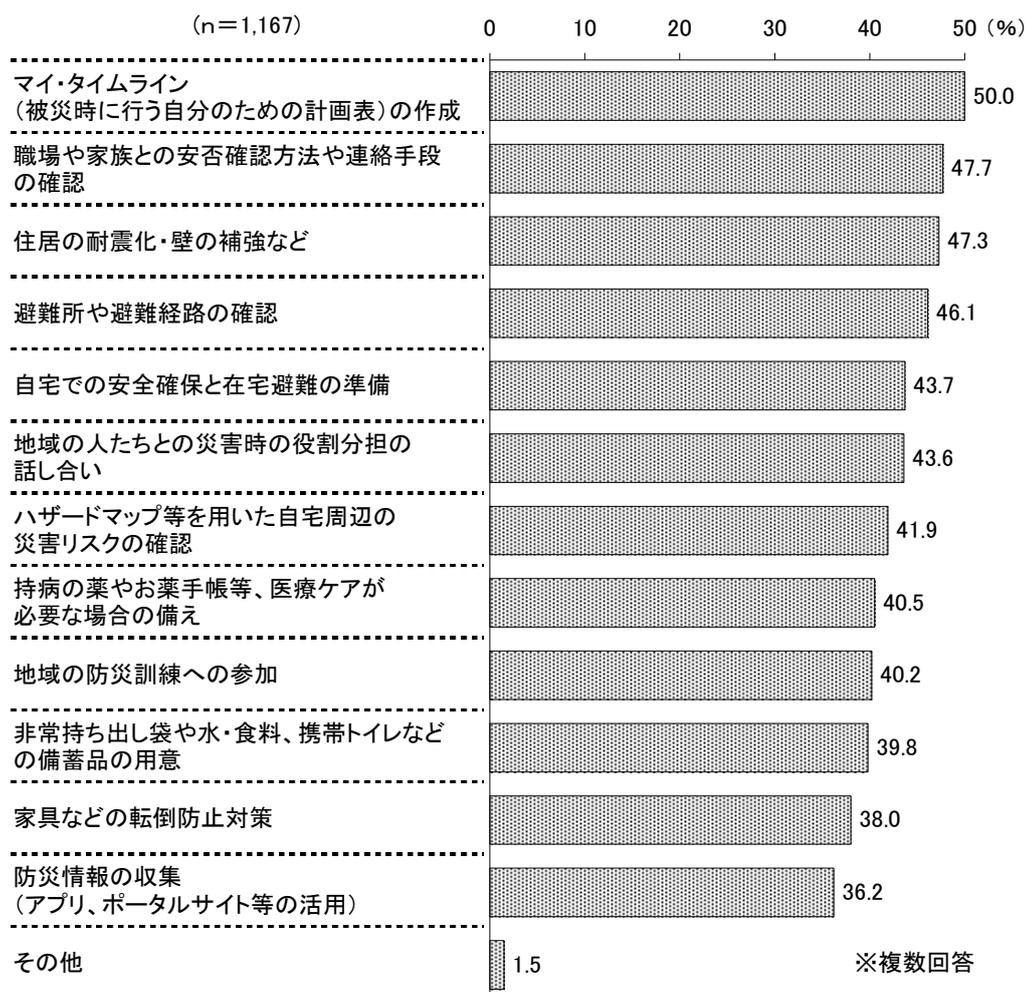
図表 9-5 家庭で実践している災害対策



図表9-6 家庭で実践している災害対策（居住地区別）

		※複数回答 (%)													
		n	非常持ち出し袋や水・食料、携帯トイレなどの備蓄品の用意	ハザードマップ等を用いた自宅周辺の災害リスクの確認	避難所や避難経路の確認	家具などの転倒防止対策	職場や家族との安否確認方法や連絡手段の確認	持病の薬やお薬手帳等、医療ケアが必要な場合の備え	自宅での安全確保と在宅避難の準備	地域の防災訓練への参加	防災情報の収集（アプリ、ポータルサイト等の活用）	住居の耐震化・壁の補強など	地域の人たちとの災害時の役割分担の話し合い	マイ・タイムライン（被災時に行う自分のための計画表）の作成	その他
全 体		1,074	71.0	50.1	48.9	40.8	35.6	33.4	24.1	22.1	21.4	17.0	4.5	2.1	0.9
居 住 地 区 別	厚 木 北	112	79.5	56.3	46.4	38.4	33.9	31.3	19.6	16.1	21.4	11.6	6.3	0.9	-
	厚 木 南	117	70.9	54.7	53.8	46.2	43.6	39.3	37.6	16.2	22.2	20.5	4.3	5.1	1.7
	依 知 北	64	70.3	35.9	40.6	34.4	37.5	31.3	26.6	21.9	12.5	20.3	1.6	3.1	1.6
	依 知 南	57	68.4	42.1	45.6	33.3	22.8	21.1	14.0	28.1	21.1	14.0	5.3	1.8	1.8
	睦 合 北	46	82.6	45.7	52.2	41.3	34.8	32.6	19.6	21.7	28.3	19.6	6.5	8.7	-
	睦 合 南	66	68.2	50.0	53.0	39.4	42.4	47.0	24.2	19.7	16.7	19.7	1.5	-	1.5
	睦 合 西	55	65.5	60.0	61.8	32.7	38.2	25.5	23.6	14.5	34.5	18.2	7.3	3.6	1.8
	荻 野	100	70.0	47.0	44.0	38.0	44.0	37.0	20.0	26.0	23.0	9.0	4.0	1.0	2.0
	小 鮎	56	83.9	48.2	57.1	42.9	28.6	33.9	21.4	28.6	16.1	8.9	3.6	-	-
	南 毛 利	158	70.9	50.0	51.3	48.1	35.4	35.4	27.8	21.5	20.9	19.6	3.8	1.9	-
	南 毛 利 南	51	68.6	66.7	56.9	39.2	33.3	29.4	29.4	35.3	31.4	19.6	3.9	-	2.0
	玉 川	29	65.5	48.3	48.3	37.9	31.0	27.6	31.0	37.9	17.2	24.1	3.4	-	-
	森 の 里	50	78.0	48.0	40.0	42.0	14.0	34.0	18.0	22.0	18.0	16.0	2.0	2.0	-
	相 川	61	59.0	45.9	37.7	42.6	27.9	18.0	14.8	19.7	16.4	14.8	4.9	-	1.6
	緑 ケ 丘	30	63.3	50.0	56.7	43.3	40.0	46.7	23.3	30.0	16.7	23.3	6.7	6.7	-

図表9-7 家庭で実践している災害対策（「重要だと思うが、実践していない災害対策」）



(4) 家庭の食料備蓄量

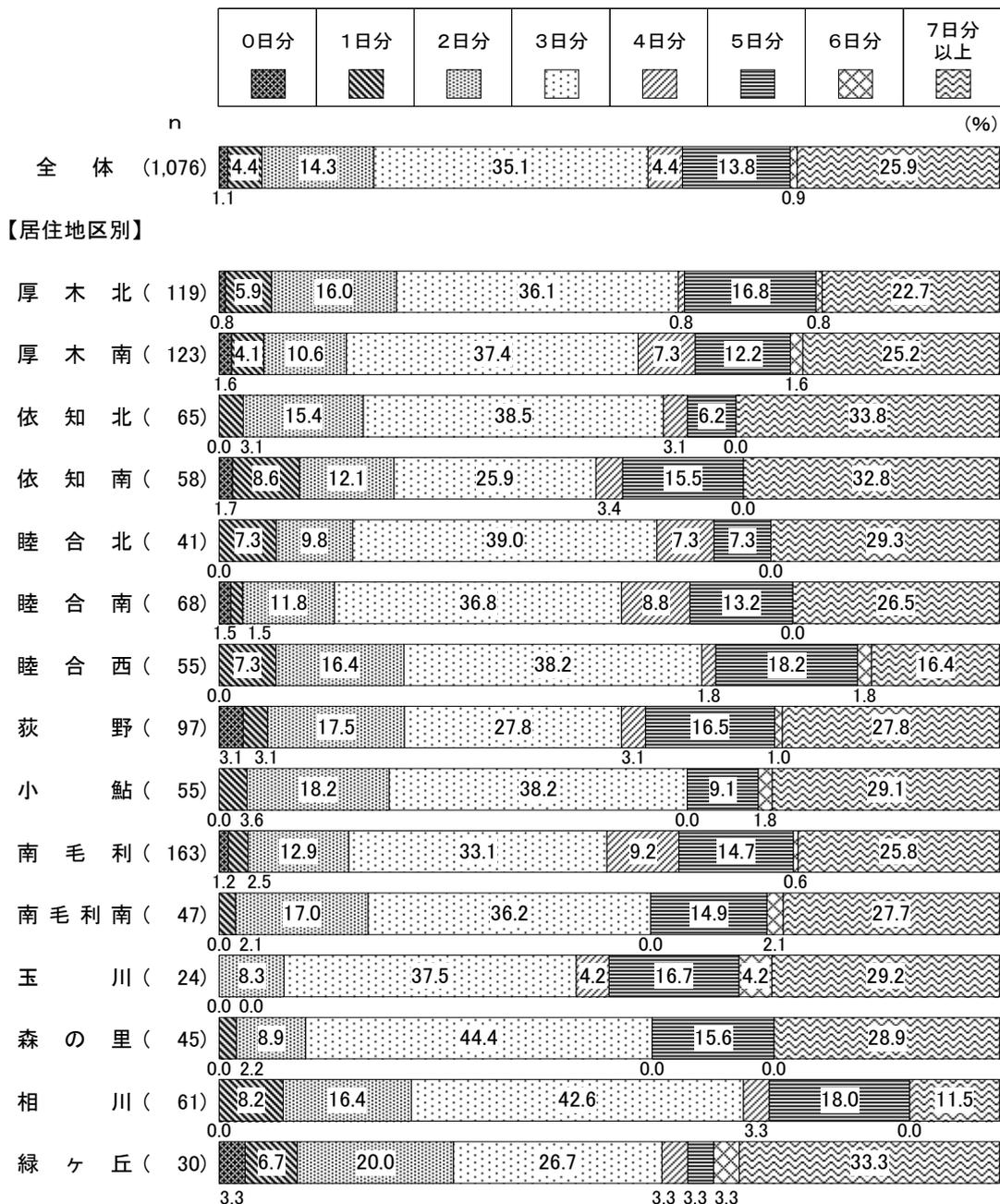
◇家庭の食料備蓄量は、「3日分」が35.1%で最も高い

家庭の食料備蓄量は、「3日分」が35.1%で最も高く、次いで「7日分以上」が25.9%となっており、備蓄している人の割合は98.9%となっている。

◇居住地区別では、「7日分以上」は依知北地区で33.8%と最も高い

居住地区別でみると、家庭の食料を7日分以上備蓄しているのは、依知北地区で33.8%と最も高く、次いで緑ヶ丘地区で33.3%となっている。

図表9-8 家庭の食料備蓄量（居住地区別）



(5) 災害発生時の情報伝達手段の認知状況

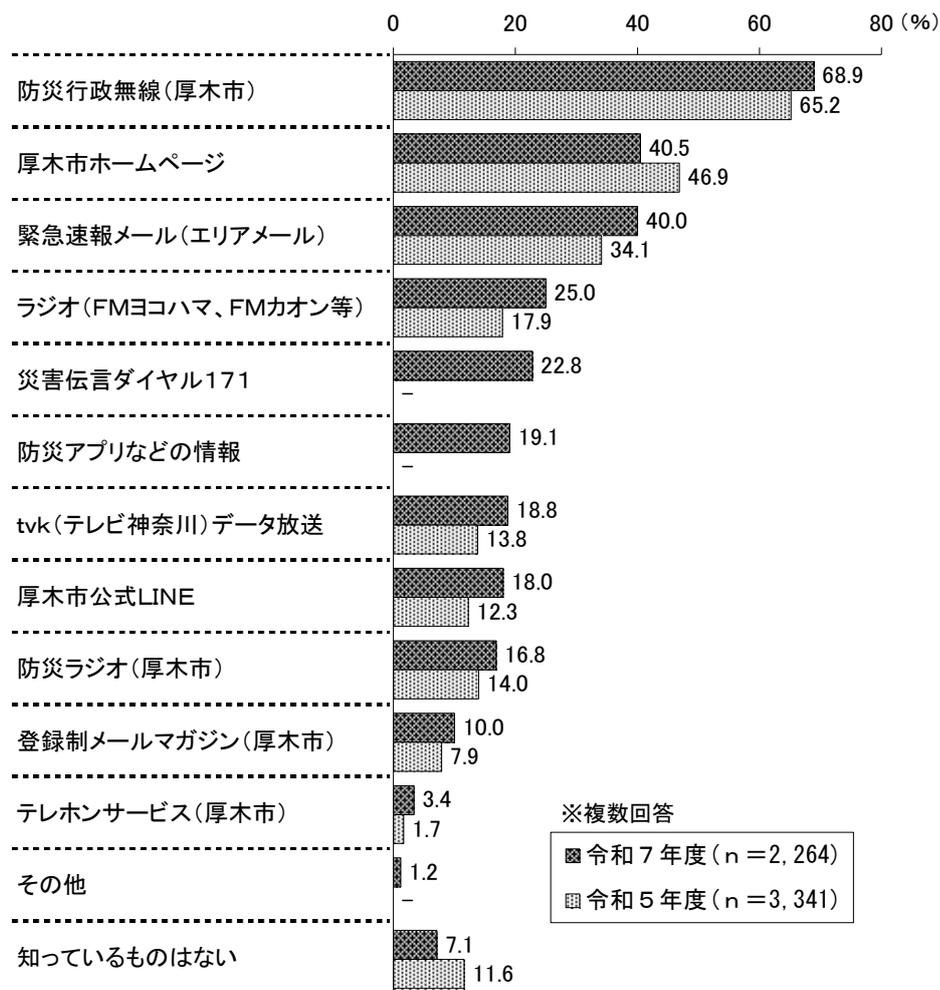
◇災害発生時の情報伝達手段の認知状況は、「防災行政無線（厚木市）」が68.9%で最も高い

災害発生時の情報伝達手段の認知状況は、「防災行政無線（厚木市）」が68.9%で最も高く、次いで「厚木市ホームページ」が40.5%、「緊急速報メール（エリアメール）」が40.0%となっている。

令和5年度調査と比較すると、「ラジオ（FMヨコハマ、FMカオン等）」は7.1ポイント、「緊急速報メール（エリアメール）」は5.9ポイント、それぞれ増加している。一方、「厚木市ホームページ」は6.4ポイント減少している。

年齢階層別でみると、「防災行政無線（厚木市）」は60～74歳で76.2%と最も高くなっている。「緊急速報メール（エリアメール）」は40～59歳で50.0%と最も高くなっている。「防災アプリなどの情報」と「tvk（テレビ神奈川）データ放送」は年齢階層が下がるほど割合が高くなっている。

図表9-9 災害発生時の情報伝達手段の認知状況（経年比較）



※「災害伝言ダイヤル171」、「防災アプリなどの情報」、「その他」は、令和7年度から追加された選択肢

図表 9-10 災害発生時の情報伝達手段の認知状況（年齢階層別）

※複数回答（%）

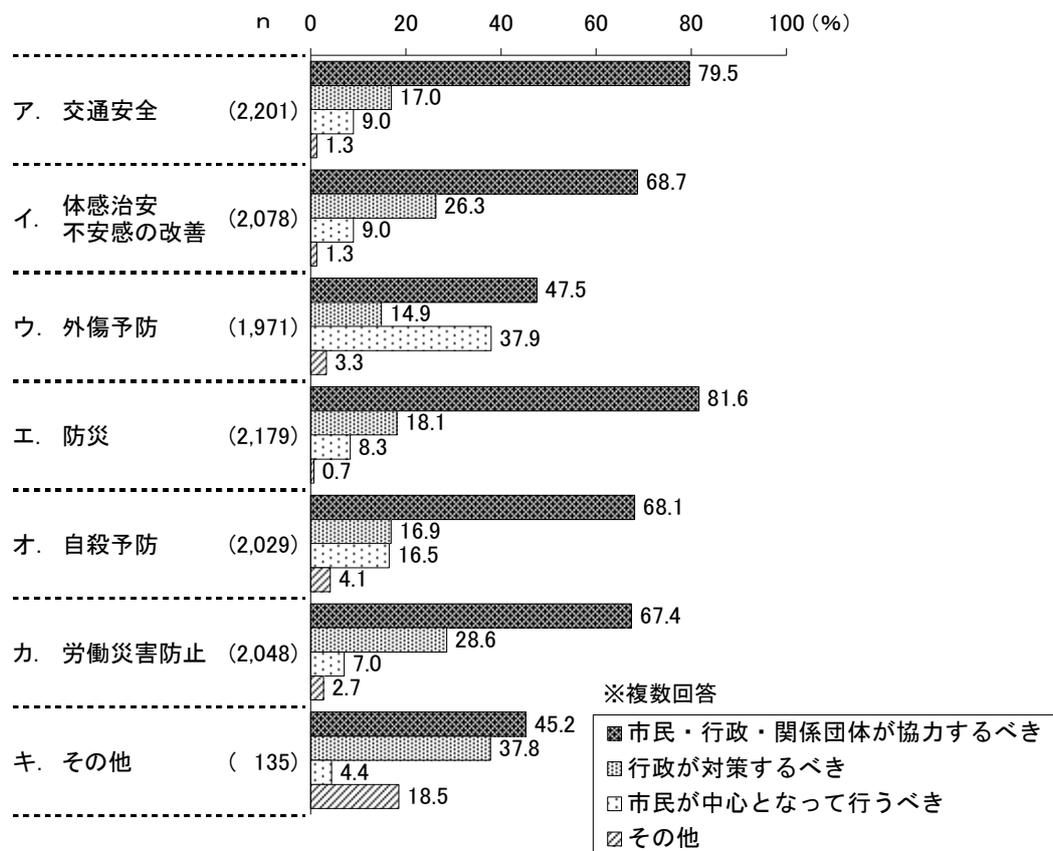
		n	防災行政無線 （厚木市）	厚木市ホーム ページ	緊急速報メール （エリアメール）	FMカオ （FMヨコハマ、 FMカオ等）	ラジオ （FMヨコハマ、 FMカオ等）	災害伝言ダイヤル 171	防災アプリなどの 情報	tvk（テレビ神奈川） データ放送	厚木市公式LINE	防災ラジオ （厚木市）	登録制メールマガジン （厚木市）	テレホンサービス （厚木市）	その他	知っているもの はない
全 体		2,264	68.9	40.5	40.0	25.0	22.8	19.1	18.8	18.0	16.8	10.0	3.4	1.2	7.1	
年齢階層別	15～39歳	371	48.8	41.0	37.5	28.8	22.1	24.0	20.8	18.6	13.7	5.1	1.9	0.8	8.9	
	40～59歳	658	68.1	49.1	50.0	34.0	27.8	22.3	18.7	24.5	11.1	16.6	2.6	1.1	3.6	
	60～74歳	625	76.2	45.0	45.1	25.0	23.5	20.3	18.4	19.0	19.4	11.8	3.5	1.3	5.8	
	75歳以上	605	74.5	26.3	25.5	12.7	17.2	11.6	18.2	9.4	22.5	3.8	5.0	1.5	10.9	

(6) 市民・行政・関係団体が一体となって活動を推し進めるべき分野

◇市民・行政・関係団体が一体となって活動を推し進めるべき分野は、「防災」が81.6%で最も高い

市民・行政・関係団体が一体となって活動を推し進めるべき分野は、「防災」が81.6%で最も高く、次いで「交通安全」が79.5%、「体感治安不安感の改善」が68.7%となっている。

図表9-11 市民・行政・関係団体が一体となって活動を推し進めるべき分野



Ⅲ 調査票と集計結果

世帯票

世帯を代表される方、どなたかお一人の方が、世帯を代表してご記入ください。

あなたの世帯とお住まいについてお聞きします

- 問1. お住まいの地区は、次のどこですか。(1つに○) n=1,278
1. 厚木北 (11.0) 2. 厚木南(11.1) 3. 依知北(6.3) 4. 依知南(5.3) 5. 睦合北(4.1)
 6. 睦合南 (6.5) 7. 睦合西(4.9) 8. 荻野 (9.8) 9. 小鮎 (5.8) 10. 南毛利(14.9)
 11. 南毛利南(4.9) 12. 玉川 (2.4) 13. 森の里(4.5) 14. 相川 (5.5) 15. 緑ヶ丘(3.0)
- 問2. 現在のお住まいに住んで何年になりますか。(1つに○) n=1,302
1. 1年未満 (3.7) 2. 1年以上5年未満 (11.0) 3. 5年以上10年未満 (10.4)
 4. 10年以上15年未満 (8.2) 5. 15年以上20年未満 (7.5) 6. 20年以上 (59.2)
- 問3. 家族構成を教えてください。(1つに○) n=1,301
1. 夫婦 (35.3) 2. 親子(二世帯) (32.9) 3. 親子孫(三世帯) (4.0)
 4. 単身 (26.1) 5. その他 () (1.8)
- 問4. あなたのお住まいの種類は次のうちどれですか。(1つに○) n=1,300
1. 戸建て (62.7) 2. 集合住宅 (36.4) 3. その他 () (0.9)
- 問5. あなたのお住まいは、犯罪被害に巻き込まれないために、どのような対策をとっていますか。(当てはまるものすべてに○) n=1,299
1. 夜間に門灯・玄関灯をつける (41.0) 2. センサーライトの設置 (30.4)
 3. 防犯カメラの設置 (19.7) 4. 窓や玄関の防犯対策 (二重ロック、防犯フィルム等) (32.6)
 5. 雨戸やシャッターの利用 (49.8) 6. 自動車の盗難対策 (11.8)
 7. 特殊詐欺対策(留守番電話設定、迷惑電話防止機能付電話機の設置等) (27.6) 8. その他 () (3.8)
 9. 特になにもしていない (13.1)

災害についてお聞きします

- 問6. あなたのご家庭では、どのような自然災害に不安を感じていますか。(当てはまるものすべてに○) n=1,298
1. 地震(86.5) 2. 大雨・暴風(台風)(52.0) 3. 洪水(河川の氾濫)・浸水・冠水(29.7)
 4. 土砂災害(がけ崩れ・土石流・地すべり)(12.5) 5. 噴火(10.0) 6. 雪害(3.0)
 7. 落雷(17.3) 8. 山火事(3.8) 9. 感染症(32.0) 10. その他大規模災害(14.9)
 11. 特に感じていない(3.5)
- 問7. あなたのご家庭で、災害時の対策や備えとして、重要と思うもの及び実践しているものは何ですか。(当てはまるものすべてに○) n=1,277 n=1,074

	災害時の対策や備え	重要と思う	実践している
1	非常持ち出し袋や水・食料、携帯トイレなどの備蓄品の用意	82.8	71.0
2	ハザードマップ等を用いた自宅周辺の災害リスクの確認	67.5	50.1
3	避難所や避難経路の確認	70.7	48.9
4	マイ・タイムライン(被災時に行う自分のための計画表)の作成	46.5	2.1

	災害時の対策や備え	重要と思う	実践している
5	職場や家族との安否確認方法や連絡手段の確認	65.9	35.6
6	地域の防災訓練への参加	48.3	22.1
7	地域の人たちとの災害時の役割分担の話し合い	42.0	4.5
8	住居の耐震化・壁の補強など	53.3	17.0
9	家具などの転倒防止対策	59.0	40.8
10	防災情報の収集（アプリ、ポータルサイト等の活用）	45.7	21.4
11	自宅での安全確保と在宅避難の準備	54.4	24.1
12	持病の薬やお薬手帳等、医療ケアが必要な場合の備え	56.5	33.4
13	その他（ ）	1.8	0.9

問8. 災害に備える食糧備蓄は、普段の食料を多めに保管し古いものから順に消費する「ローリングストック」が推奨されていますが、もし今、災害が起こった場合、現在ご家庭にある食料で家族が何日くらい生活できますか。大体の日数をご記入ください。

日くらい

お子さん（0～15歳未満）がいる方にお聞きします
（2人以上いる方は年齢が一番下のお子さんについてお答えください）

問9. お子さんの年齢をご記入ください。（数字を記入ください） 歳

問10. 過去1年の間に、お子さんが自宅以外で、事故やけがをしたことがありますか。複数回ある場合は、一番大きなけがをした場合について、お答えください。（当てはまるものすべてに○） n=106

1. 水辺の事故（海、川、プール等の溺れ） (0.9)
2. 転落（階段、ベランダ、窓等） (1.9)
3. 転倒（道路、歩道などでのつまづきやすべり等） (33.0)
4. 交通事故（歩行中、自転車・自動車乗車中、公共交通機関利用中等） (4.7)
5. 遊具・運動中の事故 (9.4)
6. 衝突（人や物等） (8.5)
7. 挟まれ（ドアや窓等） (7.5)
8. 動物・昆虫によるけが（咬傷、刺傷等） (0.9)
9. 火傷・熱傷（花火・火遊び、高温の液体や物体による火傷等） (2.8)
10. 刃物・鋭利な物によるけが（包丁、カッター、ガラス等） (3.8)
11. その他（ ） (2.8)
12. 事故やけがはなかった (51.9)

問11. 過去1年の間に、お子さんが自宅で、事故やけがをしたことがありますか。複数回ある場合は、一番大きなけがをした場合について、お答えください。（当てはまるものすべてに○） n=102

1. 高所からの墜落（ベランダ、窓、階段等） (2.0)
2. 低い場所からの転落（ベッド、椅子等） (4.9)
3. 異物誤飲（たばこ、おもちゃ、医薬品等） (-)
4. 熱傷・火傷（火気、熱湯、暖房器具等） (2.9)
5. 溺水（風呂、家庭用プール等） (-)
6. 転倒（廊下、浴室、玄関等） (10.8)
7. 刃物・鋭利な物によるけが（はさみ等） (-)
8. 挟まれ（ドア、窓、家具等） (9.8)
9. 他人からの加害（兄弟やこども同士のけんか等） (-)
10. 窒息（食べ物や異物が気管に詰まった、就寝中の窒息など） (-)
11. 動物・昆虫によるけが（咬傷、刺傷等） (2.9)
12. その他（ ） (2.0)
13. 事故やけがはなかった (70.6)

個人票

15歳以上の方お一人ずつご記入ください。世帯票を記入された方もご記入ください。

あなたの基本的なことについてお聞きします

問1. 性別（1つに○） n=2, 294

1. 男性 (46.2) 2. 女性 (53.2) 3. その他 (-) 4. 答えたくない (0.6)

問2. 年齢（令和7年8月1日現在で、1つに○） n=2, 345

1. 15～19歳 (3.2) 2. 20～24歳 (3.7) 3. 25～29歳 (3.0) 4. 30～34歳 (3.0)
 5. 35～39歳 (3.2) 6. 40～44歳 (4.4) 7. 45～49歳 (5.0) 8. 50～54歳 (9.6)
 9. 55～59歳 (9.3) 10. 60～64歳 (7.8) 11. 65～69歳 (8.9) 12. 70～74歳 (10.4)
 13. 75～79歳 (13.4) 14. 80～84歳 (9.4) 15. 85～89歳 (4.1) 16. 90歳以上 (1.6)

厚木市での暮らしについてお聞きします

問3. あなたは、厚木市のセーフコミュニティの取組をどの程度ご存知ですか。（1つに○） n=2, 133

1. セーフコミュニティの考え方や活動を知っている ⇒問4へ (9.9)
 2. セーフコミュニティという言葉は聞いたことがある ⇒問4へ (45.9)
 3. セーフコミュニティという言葉も活動も知らない ⇒問5へ (44.2)

問4. あなたは、市民と行政等が協力して安心安全に取り組む活動を、今後も継続して推進していく必要があると思いますか。（1つに○） n=1, 178

1. 必要がある (71.0) 2. どちらかという必要がある (24.7)
 3. どちらともいえない (3.3) 4. あまり必要がない (0.7) 5. 必要ない (0.3)

問5. あなたのお住まいの地区は、安心して安全だと思えますか。（1つに○） n=2, 227

1. そう思う (15.1) 2. どちらかといえばそう思う (50.5) 3. どちらともいえない (24.6)
 4. どちらかといえば思わない (7.2) 5. まったくそう思わない (2.7)

問6. あなたは、ご近所の方とどの程度お付き合いがありますか。（1つに○） n=2, 305

1. 互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度 (11.0)
 2. 互いに相談しあうことはないが、世間話や立ち話をする程度 (38.3)
 3. 会話はほとんどしないが、会ったらあいさつはする程度 (43.5)
 4. ほとんど付き合いがなく、あいさつもめったにしない程度 (7.2)

事故やけがについてお聞きします

問7. **自宅以外での**、事故やけがの状況についてお聞きします。

7-1. 過去1年の間に自宅以外でけがをして手当てを受けたことがありますか。軽傷、重傷を問わずお答えください。（該当する欄に○あるいは数字を記入） n=2, 171

	該当するものに○	けがをした回数
1. けがはしていない ⇒問8へ	87.7	/
2. けがをしたが、医療機関へは行かなかった	4.9	回
3. けがをして、医療機関に通院した	6.8	回
4. けがをして、医療機関に入院した	1.2	回

7-2. 7-1 で、過去1年の間に「自宅以外」で「けがをした」と回答した方にお聞きします。

けがをした原因はなんですか。(当てはまるものすべてに○) n=244

1. 交通事故 (7.0)
2. 労働災害 (8.2)
3. 運動中の事故 (9.0)
4. 加害 (-)
5. 転倒 (54.1)
6. 転落 (2.5)
7. ぶつかる・打撲 (17.2)
8. 切傷・刺傷 (8.2)
9. 虫刺、咬傷(ハチ、動物等) (2.5)
10. 挟まれ・加圧 (1.2)
11. その他 () (9.0)

7-3. 7-1 の「過去1年の間に自宅以外でけがをした」場所はどこですか。

(当てはまるものすべてに○) n=245

1. 道路・歩道 (51.8)
2. 商業・飲食・娯楽施設 (4.1)
3. 勤務先 (13.1)
4. スポーツ施設 (9.0)
5. 駅 (2.0)
6. 学校 (2.4)
7. 駐車場・車庫 (6.9)
8. その他 () (13.9)

問8. 自宅での、事故やけがの状況についてお聞きします。

8-1. 過去1年の間に自宅でけがをして手当てを受けたことがありますか。複数回ある場合は、一番大きなけがをした場合について、お答えください。(1つに○) n=2,032

	該当するものに○	けがをした回数
1. けがはしていない ⇒問9へ	90.5	
2. けがをしたが、医療機関へは行かなかった	4.8	回
3. けがをして、医療機関に通院した	4.1	回
4. けがをして、医療機関に入院した	0.7	回

8-2. 8-1 で、過去1年の間に自宅で「けがをした」と回答した方にお聞きします。一番大きなけがをした原因はなんですか。(1つに○) n=180

1. 転倒 (38.3)
2. 転落・墜落 (6.1)
3. 切傷・刺傷 (17.2)
4. 加害 (-)
5. ぶつかる・打撲 (21.7)
6. 虫刺・咬傷(ハチ・動物など) (7.2)
7. 異物誤飲 (-)
8. 窒息 (-)
9. 火傷 (5.6)
10. 挟まれ・加圧 (0.6)
11. その他 () (3.3)

8-3. 「過去1年の間に自宅で一番大きなけがをした」場所はどこですか。(1つに○) n=160

1. 居室 (21.9)
2. 寝室 (8.1)
3. 庭・敷地内 (20.0)
4. 玄関 (5.0)
5. 階段 (14.4)
6. 廊下 (1.9)
7. 台所 (21.9)
8. 浴室 (2.5)
9. トイレ (-)
10. その他 () (4.4)

犯罪被害や不安などについてお聞きします

問9. あなたは厚木市の治安について、1年前と比べてよくなったと思いますか、悪くなったと思いますか。(1つに○) n=2,155

1. よくなった (5.7)
2. どちらかというよくなった (39.3)
3. どちらかというよ悪くなった (48.3)
4. 悪くなった (6.8)

問10. 問9の回答のように感じる地域は、次のどこですか。(当てはまるものすべてに○)

n=2,130

1. 本厚木駅周辺 (61.0)
2. 愛甲石田駅周辺 (4.1)
3. 自宅周辺 (43.7)
4. その他(具体的に:) (6.6)

問 11. あなたは、日頃、ご自身やご家族の犯罪被害の状況や犯罪被害などにあうのではないかと感じる不安についてお答えください。(それぞれの項目について、当てはまる番号のうち1つに○)

項目	n	被害にあった	かなり不安	やや不安	不安はない	該当しない
ア. 暴行や傷害などの暴力的な犯罪にあう不安	2,164	0.3	9.6	54.9	35.3	
イ. 自宅にどろぼう(空き巣など)に入られる不安	2,232	3.2	24.1	53.8	18.9	
ウ. ひったくりにあう不安	2,179	0.1	12.8	53.1	34.1	
エ. 自転車を盗まれる不安	2,171	2.9	11.6	29.6	23.9	32.1
オ. 自動車やオートバイを盗まれる不安	2,160	1.4	14.2	40.2	22.9	21.3
カ. 自動車内の部品や金品を盗まれる不安	2,158	1.1	14.6	41.4	23.9	19.0
キ. 痴漢にあう不安	2,115	0.8	8.1	29.6	61.4	
ク. オレオレ詐欺等の特殊詐欺や悪質商法などの詐欺犯罪にあう不安	2,225	0.9	25.1	44.7	29.3	
ケ. 自宅や自動車などが落書きをされたり、壊されたりする不安	2,167	1.5	12.1	44.9	41.5	
コ. 不審者に声をかけられるなどの不安	2,168	0.6	12.3	46.3	40.8	
サ. こどもが不審者に声をかけられたり、連れ去られたりする不安	2,144	0.4	13.8	27.2	19.5	39.0
シ. 人につきまとわれたり、のぞかれたりする不安	2,144	0.9	11.2	43.6	44.3	
ス. インターネットを利用した犯罪の被害にあう不安	2,197	1.2	29.4	41.6	18.3	9.4
セ. 凶悪犯罪(殺人、放火、強盗、強姦)にまきこまれる不安	2,176	0.1	15.5	52.8	31.5	
ソ. いやがらせやいたずらなどをされる不安	2,181	0.8	14.2	48.2	36.8	
タ. その他 ()	385	3.9	10.9	12.7	72.5	

問 12. あなたがお住まいの地区の状況について、不安に感じることはありますか。(当てはまるものすべてに○) n=1, 950

1. 空き家や空き店舗、使われていない倉庫がある (23. 8)
2. 繁華街での客引き、キャッチセールスが目に付く (17. 4)
3. 夜、街灯がなく暗く人通りの少ない道がある (39. 0)
4. 木や茂みなど管理が行き届いていない場所がある (29. 3)
5. スプレーによる落書きがある (8. 0)
6. ごみやタバコの吸殻が散乱している (19. 5)
7. 路上への違法駐車や放置自転車がある (12. 0)
8. 少年などのたむろ、たまり場がある (10. 0)
9. 近所づきあいのない人がいる (23. 2)
10. ゴミ出しルールや騒音を出すなど、地域のルールやマナーを守らない人がいる (35. 0)
11. 近所にトラブルを起こす人がいる (7. 9)
12. 路上喫煙をする人がいる (23. 3)
13. 悪質な訪問販売や勧誘がある (14. 6)
14. その他 () (6. 7)

問 13. あなた個人は、犯罪被害に巻き込まれないために、どのような対策をとっていますか。(当てはまるものすべてに○) n=2, 296

1. 外出時に玄関や窓に鍵をかける (94. 1)
2. 留守にするときには隣近所に声をかける (6. 4)
3. 自転車の防犯登録・盗難対策をしている (29. 1)
4. 防犯ブザー等の防犯グッズを携帯している (3. 4)
5. 地域パトロール活動へ参加している (5. 9)
6. 市が発信している防犯情報「ケータイSOSネット」に登録している (4. 4)
7. インターネット利用時のセキュリティ対策をしている
(パスワード管理、不審なサイトへのアクセス禁止等) (35. 5)
8. その他 () (3. 0)
9. 特になにもしていない (3. 1)

問 14. あなたは、犯罪を抑止するための対策として、どの様な活動が重要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○) n=2, 221

1. 個人の防犯意識の向上 (78. 6)
2. 地域住民によるパトロールや自主的な防犯活動 (29. 0)
3. 自治体による防犯対策の強化 (38. 0)
4. 防犯カメラの設置促進 (63. 3)
5. 市民と行政との協働による犯罪抑止への取組 (31. 1)
6. 警察の防犯活動の強化 (48. 7)
7. 企業や事業者による地域の防犯活動への取組 (13. 6)
8. 学校・家庭における防犯教育の充実 (31. 5)
9. インターネットを利用した情報発信や啓発活動 (18. 6)

問 15. あなたは、市内の自治会などが、青色回転灯を搭載した車両で巡回をしているのを見たことがありますか。(1つに○) n=2, 273

1. ある (57. 4) ⇒問 16へ 2. ない (42. 6) ⇒問 17へ

問 16. 問 15で「ある」と答えた方にお聞きします。自治会などの青色回転灯を搭載した車両で巡回しているのを見ると、どのように感じますか。(1つに○) n=1, 298

1. とても安心する (23. 4)
2. どちらかというと安心する (57. 6)
3. あまり安心しない (13. 6)
4. 全然安心しない (5. 3)

ストレスについてお聞きします

- 問 17. 過去1年で、ふだんの生活で悩みや不安、ストレスを感じていますか。(1つに○) n=2, 267
1. よく感じる (17.8) 2. ときどき感じる (48.1) 3. あまり感じない (34.1)
- 問 18. 過去1年で、憂鬱で生きているのが辛くなることはありませんか。(1つに○) n=2, 266
1. 全くない (26.8) 2. ほとんどない (40.5) 3. 少しある (23.1)
4. しばしばある (6.7) 5. いつもある (2.9)
- 問 19. 自分のことが好きだと思いますか。(1つに○) n=2, 128
1. そう思う (17.5) 2. まあそう思う (53.9)
3. あまりそう思わない (23.6) 4. そう思わない (5.0)

高齢者についてお聞きします

- 問 20. 65歳以上の方にお聞きします。あなたはお住まいの地域とのつながりについて、どのように感じていますか。(1つに○) n=1, 073
1. とても強くつながっていると感じる (5.1)
2. まあまあつながっていると感じる (53.8)
3. あまりつながっていると感じない (32.2)
4. 全くつながっていないと感じる (8.9)
- 問 21. あなたはお住まいの地域で、より多くの高齢者がいきいきと暮らすために、どのような取組が大切だと思いますか。(当てはまるものすべてに○) n=896
1. 高齢者同士が交流できる地域の居場所を増やす (サロン、趣味の会、食事会など) (53.7)
2. 高齢者の困りごとを地域で支え合う仕組みをつくる (草むしり、家の中の手伝い、買い物支援など) (43.6)
3. 元気な高齢者がボランティアなど地域活動に参加したり、仲間をつくる場を増やす (45.9)
4. その他 () (9.2)
- 問 22. 厚木市が実施している認知症に関する取組について、あなたをご存知のものをすべてお選びください。(当てはまるものすべてに○) n=992
1. 認知症について相談できる地域包括支援センター (61.1)
2. 認知症サポーター養成講座 (15.9)
3. 認知症普及啓発イベント「あつぎオレンジフェスタ」 (5.7)
4. 認知症の人の希望をかなえるヘルプカード (4.4)
5. 認知症の人を地域で見守る・支える「あつぎオレンジサポート企業・団体認証制度」 (4.0)
6. 認知症に関するサービスガイドブック「認知症ケアパス 地域で支える認知症」 (3.7)
7. 認知症の人を抱える家族会「すみれ会」 (2.2)
8. 認知症予防のための運動プログラム(コグニサイズ)のDVD貸出 (2.1)
9. 認知症高齢者等徘徊SOSネットワークシステム (4.5)
10. 認知症高齢者等位置情報検索サービス (3.0)
11. 認知症高齢者等見守りステッカー配布 (4.3)
12. 認知症に関する講演会 (13.2)
13. 上記のいずれも知らない (34.8)

自転車の利用についてお聞きします

- 問 23. あなたは自転車を利用していますか。(どちらかに○) n=2, 254
1. 利用している (30.7) ⇒問 24へ 2. 利用していない (69.3) ⇒問 30へ
- 問 24. どのようなときに自転車を利用していますか。(当てはまるものすべてに○) n=659
1. 通勤・通学・通院 (45.2) 2. 買い物・飲食 (71.9)
3. 遊びに行く・サイクリング (32.2) 4. こどもの送り迎え (3.3)
5. 業務(仕事) (6.2) 6. その他 () (6.5)

問 25. 自転車利用時のルールについて、知っていますか。また、実行していますか。(当てはまるものすべてに○)

n=677

n=579

自転車利用時のルール	知っている	実行している
1. 自転車は車の仲間である	93.2	
2. 自転車は車道が原則で、左側を通行する	87.4	64.8
3. 自転車の歩道通行は例外で、歩行者を優先する	80.9	76.0
4. 交差点では信号と一時停止を守り安全確認をする	78.0	83.4
5. 夜間はライトを点灯する	78.9	92.2
6. 飲酒運転は禁止	79.5	85.8
7. 自分が自転車を利用するときはヘルメットを着用する	84.9	19.7
8. こどもが自転車を利用するときはヘルメットを着用させる	75.6	21.9
9. 自転車を運転しながら傘を差してはいけない	78.6	82.4
10. 自転車を運転しながらスマホを操作してはいけない	80.5	85.8
11. 歩道でベルを鳴らしながら走行してはいけない	71.0	77.0
12. 自転車放置禁止区域に路上駐輪はしない	75.8	82.2
13. 神奈川県では自転車賠償責任保険への加入を義務付けている	63.7	62.2

問 26. 普段、自転車を利用しているときに、どのようなことで不安や危険を感じますか。

(最も当てはまるもの3つまで○)

n=661

1. 車道と歩道の段差や砂利道など、道路の凹凸や路面状況が悪いこと (63.1)
2. 歩道と車道の区分がなく、歩行者や自動車と接触しそうになること (57.5)
3. 信号のない交差点や、見通しの悪いカーブや交差点 (29.2)
4. 街灯がなく、暗い道で走行すること (14.1)
5. 道幅いっぱいになって歩く歩行者 (28.4)
6. 交差点や曲がり角での自転車や自動車との出会いがしらの衝突 (20.4)
7. 他の自転車利用者のスピードの出し過ぎ (11.5)
8. 路上駐車やの放置自転車や看板などの障害物 (6.5)
9. 信号や一時停止の無視など交通ルールが守られていない (13.5)
10. 乗車中のスマホの使用やイヤホン着用など交通マナーやモラルの低下 (23.8)
11. その他 () (3.9)
12. 特に感じない (1.5)

問 27. 自転車を利用して、過去5年間に、転倒や接触、衝突などによる、けがや事故の経験がありますか。(どちらかに○)

n=666

1. ある (18.3) ⇒ 問 28へ 2. ない (81.7) ⇒ 問 29へ

問 28. 過去5年間に、自転車を利用しておきた最も大きなけがや事故についてお聞きします。

28-1. けがや事故の状況は。(1つに○) n=116

- | | | | |
|------------------|--------|--------------------|--------|
| 1. 自分だけ転倒した | (71.6) | 2. 歩行者と接触・衝突した | (0.9) |
| 3. 自転車同士で接触・衝突した | (9.5) | 4. 自動車やバイクと接触・衝突した | (12.1) |
| 5. 建造物や障害物と衝突した | (4.3) | 6. その他() | (1.7) |

28-2. けがや事故がおこった原因は。(当てはまるものすべてに○) n=113

- | | |
|---|--------|
| 1. 道路の状況が悪かった(段差、凹凸、狭いなど) | (54.0) |
| 2. 道路の交通安全設備や視界の悪さ
(信号・カーブミラーがない、標識が見にくい、街灯が少ないなど) | (12.4) |
| 3. 交差点や曲がり角での出会いがしらでの衝突 | (15.0) |
| 4. スピードの出しすぎや交通ルール違反(信号無視など) | (9.7) |
| 5. 悪天候による路面不良(雨、雪、凍結など) | (15.0) |
| 6. 相手に過失があり、原因は分からない | (7.1) |
| 7. その他() | (17.7) |

28-3. けがをした体の箇所は。(当てはまるものすべてに○) n=116

- | | | | | | | | | | |
|--------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|
| 1. 頭部 | (6.0) | 2. 顔部 | (10.3) | 3. 頸部 | (-) | 4. 胸部 | (3.4) | 5. 背部 | (0.9) |
| 6. 腰部 | (6.0) | 7. 腹部 | (2.6) | 8. 腕部 | (32.8) | 9. 脚部 | (51.7) | | |
| 10. けがをしていない | (19.0) | | | | | | | | |

問 29. 自転車利用の不安や危険を改善するために必要なことはどのようなことでしょうか。
(当てはまるものすべてに○) n=634

- | | |
|--|--------|
| 1. 事故やけがが多く発生している場所や危険箇所を把握し、対策を講じる | (60.9) |
| 2. 交通ルール、マナーの向上の周知・啓発、運転技術を高める講習・研修を実施する | (48.3) |
| 3. 事故を誘発する路上駐輪や交通ルール、マナー違反など、厳しく取り締まる | (48.6) |
| 4. 違反者への罰則を強化する | (35.8) |
| 5. ヘルメットの着用などの予防対策を充実する | (27.3) |
| 6. その他() | (7.3) |

災害についてお聞きします

問 30. あなたが、災害発生時の情報伝達手段として、知っているものを選んでください。
(当てはまるものすべてに○) n=2,264

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1. 防災行政無線(厚木市) | (68.9) |
| 2. 厚木市ホームページ | (40.5) |
| 3. 登録制メールマガジン(厚木市) | (10.0) |
| 4. 緊急速報メール(エリアメール) | (40.0) |
| 5. t v k(テレビ神奈川)データ放送 | (18.8) |
| 6. ラジオ(FMヨコハマ、FMカオン等) | (25.0) |
| 7. 防災ラジオ(厚木市) | (16.8) |
| 8. テレホンサービス(厚木市) | (3.4) |
| 9. 厚木市公式LINE | (18.0) |
| 10. 災害伝言ダイヤル171 | (22.8) |
| 11. 防災アプリなどの情報 | (19.1) |
| 12. その他() | (1.2) |
| 13. 知っているものはない | (7.1) |

厚木市に必要な対策についてお聞きします

問 31. 市民・行政・関係団体が一体となって活動を推し進めるべきと考える分野について教えてください。(それぞれの項目について、当てはまる番号すべてに○)

項目	n	市民・行政・ 関係団体が協力 するべき	行政が対策 するべき	市民が中心 となって 行うべき	その他
ア. 交通安全	2,201	79.5	17.0	9.0	1.3 ()
イ. 体感治安不安 感の改善	2,078	68.7	26.3	9.0	1.3 ()
ウ. 外傷予防	1,971	47.5	14.9	37.9	3.3 ()
エ. 防災	2,179	81.6	18.1	8.3	0.7 ()
オ. 自殺予防	2,029	68.1	16.9	16.5	4.1 ()
カ. 労働災害防止	2,048	67.4	28.6	7.0	2.7 ()
キ. その他 ()	135	45.2	37.8	4.4	18.5 ()

安全・健康・コミュニティに関する調査 報告書

令和8年1月

□発行／厚木市 市民交流部 暮らし交通安全課 暮らし安全係
〒243-8511 厚木市中町3丁目17番17号
電話 (046) 225-2865 (直通)

□実施／株式会社エスピー研
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3丁目11番20号
電話 (03) 3239-0071 (代表)